

令和7年度 市民意識調査 結果報告書

～「個性きらめき 魅力あふれる ホットなまち 岸和田」の実現をめざして～



2025（令和7年）年12月

岸和田市

目 次

第1章 調査の概要

1-1. 調査の目的	1
1-2. 調査方法と回収結果	
(1) 調査地区	2
(2) 調査対象	2
(3) 抽出方法	2
(4) 調査方法	2
(5) 調査期間	2
(6) 調査内容	2
(7) 回収結果	4
(8) 調査主体	4
(9) 集計・分析	4
1-3. 利用上の注意	5

第2章 回答者の属性

2-1. 母集団と回答者の比較	
(1) 性別（問30）	7
(2) 年齢（問31）	7
(3) 居住地域（問32）	8
2-2. 回答者の内訳	
(1) 職業（問33）	10
(2) 勤務地・通学地（問34）	10
(3) 出生地（問35）	10
(4) 居住年数（問36）	11
(5) 家族構成（問37）	11
(6) 同居家族人数（問37-1）	11
(7) 養育中の子どもの有無（問38）	12
(8) 養育中の子どもの内訳（問38-1）	12
(9) 65歳以上の高齢者との同居の有無（問39）	12
(10) 長期的な病気や障害の有無（問40）	13
(11) 日常生活への支障の度合い（問40-1）	13
(12) 町会・自治会への加入の有無（問41）	13

第3章 岸和田市のまち・住みやすさ

3-1. 岸和田市の住みやすさ（問1）	15
3-2. 住みやすさの経年比較	16
3-3. 住みやすさの属性分析	
(1) 性別（問30）	17

(2) 年齢4区分別 (問 31)	17
(3) 居住地域別 (問 32)	18
(4) 職業別 (問 33)	19
(5) 勤務地・通学地別 (問 34)	20
(6) 出生地別 (問 35)	20
(7) 居住年数別 (問 36)	21
(8) 家族構成別 (問 37)	21
(9) 同居家族人数別 (問 37-1)	22
(10) 養育中の子どもの有無別 (問 38)	22
(11) 養育中の子どもの内訳別 (問 38-1)	23
(12) 65 歳以上の高齢者との同居の有無別 (問 39)	23
(13) 長期的な病気や障害の有無別 (問 40)	24
(14) 日常生活への支障の度合い別 (問 40-1)	24
(15) 町会・自治会への加入の有無別 (問 41)	25
3-4. 今後の居住継続意向 (問 2)	26
3-5. 居住継続意向の属性分析	
(1) 性別 (問 30)	27
(2) 年齢4区分別 (問 31)	27
(3) 居住地域別 (問 32)	28
(4) 職業別 (問 33)	29
(5) 勤務地・通学地別 (問 34)	30
(6) 出生地別 (問 35)	30
(7) 居住年数別 (問 36)	31
(8) 家族構成別 (問 37)	31
(9) 同居家族人数別 (問 37-1)	32
(10) 養育中の子どもの有無別 (問 38)	32
(11) 養育中の子どもの内訳別 (問 38-1)	33
(12) 65 歳以上の高齢者との同居の有無別 (問 39)	33
(13) 長期的な病気や障害の有無別 (問 40)	34
(14) 日常生活への支障の度合い別 (問 40-1)	34
(15) 町会・自治会への加入の有無別 (問 41)	35
3-6. 住み続けたいと思う理由 (問 2-1)	36
3-7. 住み続けたいと思う理由の属性分析 (上位 3 項目)	
(1) 1 位の項目: 住み慣れていて愛着がある	37
(2) 2 位の項目: 買い物や外食が便利	38
(3) 3 位の項目: 学校や仕事、家族、家 (家賃など) の都合	39
3-8. 住み続けたくないと思う理由 (問 2-2)	40
3-9. 住み続けたくないと思う理由の属性分析 (上位 3 項目)	
(1) 1 位の項目: まちのイメージが良くない	41
(2) 2 位の項目: 子どもの教育環境が良くない	42

(3) 3位の項目：交通の便が良くない	43
3-10. 岸和田のまちへの誇り（問3）	44
3-11. 「問2の住み続けたい」と「他の設問」と相関関係	
(1) 相関関係の高い上位10項目	45
(2) 1位と相関関係の高い項目との相関	46
(3) 2位と相関関係の高い項目との相関	46

第4章 日常生活などの状況

(1) スポーツや運動の有無（問4）	47
(2) 芸術・文化活動の有無（問5）	47
(3) 郷土の歴史や文化財との接触（問6）	47
(4) 自分の経験や特技での地域参加（問7）	48
(5) ボランティア活動や自治活動への参加（問8）	48
(6) 町会・自治会活動の認知（問9）	48
(7) ごみ拾いや美化活動の有無（問10）	49
(8) ごみの減量化やリサイクルへの取組（問11）	49
(9) 省エネルギーの取組や再生可能エネルギーの活用の有無（問12）	49
(10) かかりつけ医の有無（問13）	50
(11) 健康診断受診の有無（問14）	50
(12) 地元商店や商店街での買い物の有無（問15）	50
(13) 地元産の食品の優先購入（問16）	51
(14) 自由に使える余暇時間確保の有無（問17）	51
(15) 災害時の非常持出し品や食糧準備の有無（問18）	51
(16) 緊急避難場所の認知（問19）	52
(17) 消費者トラブル遭遇の有無（問20）	52
(18) 騒音や大気汚染の被害の有無（問21）	52
(19) 規則正しい食生活の心がけの有無（問22）	53
(20) 地域巡回バスの認知（問23）	53
(21) 地域巡回バス利用の有無（問24）	53
(22) 地区市民協議会活動の認知（問25）	54
(23) デジタル技術を活用して行政手続きを行ったかの有無（問26）	54

第5章 総合計画の施策と達成度

5-1. 第1期基本計画の施策体系と関係設問	55
5-2. 各施策の基準値と現在値の比較評価	58

第6章 個別目標の方向性についての重要度と満足度

6-1. 重要度の高い項目（上位10施策）・低い項目（下位10施策）	63
6-2. 基本目標別の重要度	
(1) 基本目標『岸和田の次世代を育むまち』の重要度	65
(2) 基本目標『健康で自分らしく生きられるまち』の重要度	66
(3) 基本目標『安全で安心して暮らせるまち』の重要度	67

(4) 基本目標『人と自然が共生した住みよいまち』の重要度	67
(5) 基本目標『にぎわいと活力を創造するまち』の重要度	68
6-3. 重要度（上位5項目）の属性分析	
(1) 1位の項目：保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる 環境づくり	69
(2) 2位の項目：医療体制の充実による、必要なときに必要な医療が 受けられる環境づくり	70
(3) 3位の項目：妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減	71
(4) 4位の項目：高齢者が自分らしく生活できる環境づくり	72
(5) 5位の項目：拠点とのアクセス性の向上	73
6-4. 「満足率」及び「不満率」が高い施策（上位10施策）	
(1) 「満足率」が高い施策	74
(2) 「不満率」が高い施策	74
(3) 満足度（「満足率」－「不満率」）の分析	75

第7章 重点施策候補の抽出

7-1. 重要度・満足度からみた施策の分析	
(1) 抽出の考え方	77
(2) 重点化領域の分析	78
(3) 重要度の高い項目（上位3位）の重点化領域の分析	85

第8章 子育て世代の意向分析

8-1. 意向分析の方法	89
8-2. 意向分析の結果	
(1) 「岸和田は、子どもを生き育てやすい」の意向(問27-1-ウ)	90
(2) 「子育てに関する不安を相談できる機会や場がある」の意向(問27-2-タ)	90
(3) 「働きながら子育てができる環境が整っている」の意向(問27-2-チ)	91
(4) 「子どもが安全に遊ぶことができる」の意向(問27-2-ツ)	91
(5) 「子どもの個性や能力にあった教育が行われている」の意向(問27-2-テ)	92
(6) 「困ったときに近くに相談できる人や場所がある」の意向(問27-2-ヒ)	92
(7) 「保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくり」の 意向(問28-3)	93
(8) 「登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくり」の 意向(問28-6)	93
(9) 「子ども一人ひとりが輝くための適切な教育支援」の意向(問28-10)	93

第9章 自由意見のまとめ

9-1. 自由意見のまとめ方	95
----------------	----

9-2. 基本目標別自由意見のまとめ

(1) 岸和田の次世代を育むまち	96
(2) 健康で自分らしく生きられるまち	98
(3) 安全で安心して暮らせるまち	99
(4) 人と自然が共生した住みよいまち	99
(5) にぎわいと活力を創造するまち	100
(6) みんなでつくる持続可能なまち	101

資料編

資料(1) 問4から問27までの単純集計結果(無回答を除いた集計結果)	103
資料(2) アンケート調査票	108

第1章 調査の概要

第1章 調査の概要

1-1. 調査の目的

本調査は、市内に在住している15歳以上75歳未満の市民を対象に、地域の課題や市が取り組んでいる施策に対する市民意識を調査・分析し、今後の岸和田市のまちづくりの参考資料とするためのものです。

平成17年から平成19年にかけては、「第3次岸和田市総合計画」の施策体系下を実施され、平成22年から令和3年にかけては、「第4次岸和田市総合計画（岸和田市まちづくりビジョン）」の施策体系下を実施しました。令和4年以降は令和5年4月にスタートした総合計画「将来ビジョン・岸和田」の施策体系下を実施しています。

本調査は、限られた財源の中、効果的・効率的に資源配分をしていくための参考資料とするためのもので、調査の結果は、行政サービスの検討・向上につなげるとともに、様々な計画や予算に反映させることを目的としています。

具体的には、市民の声を積極的に市政に反映させ、市民との協働によるまちづくりをさらに推進するため、市民自身の思いや居住地域についてどう感じているか、市民がこれまで取り組んできた施策に満足しているか（満足度）、今後、市がどのような施策に力を注いでいくべきであると感じているか（重要度）、また、その取組の成果を図る『物差し』としての指標（成果指標）とするものです。

1－2.調査方法と回収結果

(1) 調査地区

大阪府岸和田市全域

(2) 調査対象

市内在住の15歳以上75歳未満の男女約4,000人

(3) 抽出方法

岸和田市住民基本台帳（令和7年4月30日現在）から無作為に抽出

(4) 調査方法

アンケート用紙と返信用封筒を同封して郵送

郵送回収、または、インターネット回答

(5) 調査期間

令和7年5月14日～6月6日

(6) 調査内容

本調査の設問項目を次頁に示します。

■調査内容

Ⅰ 岸和田のまちについて	
問 1	岸和田市の住みやすさ
問 2	今後の居住継続意向
問 2-1	住み続けたいと思う理由
問 2-2	住み続けたくないと思う理由
問 2-3	まちのイメージ評価の理由
問 3	岸和田のまちへの誇り
Ⅱ 日常生活などについて	
問 4	スポーツや運動の有無
問 5	芸術・文化活動の有無
問 6	郷土の歴史や文化財との接触
問 7	自分の経験や特技での地域参加
問 8	ボランティア活動や自治活動への参加
問 9	町会・自治会活動の認知
問 10	ごみ拾いや美化活動の有無
問 11	ごみの減量化やリサイクルへの取組み
問 12	省エネルギーの取組や再生可能エネルギーの活用の有無
問 13	かかりつけ医の有無
問 14	健康診断受診の有無
問 15	地元商店や商店街での買い物の有無
問 16	地元産の食品の優先購入
問 17	自由に使える余暇時間の確保の有無
問 18	災害時の非常持出し品や食糧準備の有無
問 19	緊急避難場所の認知
問 20	消費者トラブル遭遇の有無
問 21	騒音や大気汚染の被害の有無
問 22	規則正しい食生活の心がけの有無
問 23	地域巡回バスの認知
問 24	地域巡回バス利用の有無
問 25	地区市民協議会活動の認知
問 26	デジタル技術を活用して行政手続きを行ったかの有無
Ⅲ あなた自身の感じ方について	
問 27-1	自身や岸和田市への思い
問 27-2	住んでいる地域（小学校区）への思い
Ⅳ 市の取組に対する満足度について	
問 28	市の取組に対する満足度 個別目標の方向性
Ⅴ 今後のまちづくりについて	
問 29	今後のまちづくりで特に重要だと思うものの
Ⅵ あなたのことについて	
問 30	性別
問 31	年齢
問 32	居住地域
問 33	職業
問 34	勤務地・通学地
問 35	出生地
問 36	居住年数
問 37	家族構成
問 37-1	同居家族人数
問 38	養育中の子どもの有無
問 38-1	養育中の子どもの内訳
問 39	65 歳以上の高齢者との同居の有無
問 40	長期的病気や障害の有無
問 40-1	日常生活への支障の度合い
問 41	町会・自治会への加入の有無
Ⅶ 最後に	
自由意見	

(7) 回収結果

抽出数	実送付数	有効回答数	有効回答率
4,000 人	3,976 人	1,308 人	32.9%
有効回答数の内訳		郵送回収 987 人	構成比 75.5%
		ネット回答 321 人	構成比 24.5%

※郵送返戻等の理由により、抽出数と実送付数との間に差が生じます。

(8) 調査主体

岸和田市総合政策部企画課

(9) 集計・分析

株式会社ユーエヌ土地利用研究所

1-3. 利用上の注意

(1) 調査結果

- (1) 結果は百分率で示しています。百分率は小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100%と一致しない場合があります。
- (2) 一部の人を対象とする質問では、質問該当者を分母にして算出しています。
- (3) 複数回答の百分率の合計は、100%を超えます。
- (4) 二重回答や判読不能の回答などは、無回答に含めています。
- (5) 標本数(サンプル数)の表記として「n」を使用しています。

(2) 標本誤差の信頼区間

本調査は標本調査のため、統計上の誤差(標本誤差)が生じます。標本誤差は、母集団と得られた標本数(サンプル数)の結果によって異なります。信頼度95%における誤差は、下記の表のとおりです。

例えば、1,308人の回答者がいる中で、Aという選択肢を選んだ回答者が50%だったとすると、標本誤差は±2.7%であるため、誤差を考慮した場合、同種の調査を100回実施すれば95回までは、この回答率は47.3%~52.7%の間に入るだろうと推定できるということになります。

■主要な回答者の比率における信頼区分

			総数	地域別						男女別		年代別						
				都市中核 地域	岸和田 北部地域	葛城の谷 地域	岸和田 中部地域	久米田 地域	牛滝の谷 地域	男性	女性	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
母集団			132,886	33,504	24,541	23,355	14,679	19,658	17,149	65,672	67,214	8,947	20,283	18,750	21,915	29,327	22,216	11,448
サンプル数			1,308	336	230	210	145	173	159	583	655	86	175	170	199	288	247	128
回答者の 比率	50%	50%	2.7	5.3	6.5	6.8	8.1	7.5	7.8	4.1	3.8	10.6	7.4	7.5	6.9	5.8	6.2	8.7
	45%	55%	2.7	5.3	6.4	6.7	8.1	7.4	7.7	4.0	3.8	10.5	7.4	7.5	6.9	5.7	6.2	8.6
	40%	60%	2.7	5.2	6.3	6.6	8.0	7.3	7.6	4.0	3.8	10.4	7.3	7.4	6.8	5.7	6.1	8.5
	35%	65%	2.6	5.1	6.2	6.5	7.8	7.1	7.4	3.9	3.7	10.1	7.1	7.2	6.6	5.5	5.9	8.3
	30%	70%	2.5	4.9	5.9	6.2	7.5	6.8	7.1	3.7	3.5	9.7	6.8	6.9	6.4	5.3	5.7	7.9
	25%	75%	2.3	4.6	5.6	5.9	7.0	6.5	6.7	3.5	3.3	9.2	6.4	6.5	6.0	5.0	5.4	7.5
	20%	80%	2.2	4.3	5.2	5.4	6.5	6.0	6.2	3.2	3.1	8.5	5.9	6.0	5.6	4.6	5.0	6.9
	15%	85%	1.9	3.8	4.6	4.8	5.8	5.3	5.6	2.9	2.7	7.5	5.3	5.4	5.0	4.1	4.5	6.2
	10%	90%	1.6	3.2	3.9	4.1	4.9	4.5	4.7	2.4	2.3	6.3	4.4	4.5	4.2	3.5	3.7	5.2
	5%	95%	1.2	2.3	2.8	2.9	3.5	3.2	3.4	1.8	1.7	4.6	3.2	3.3	3.0	2.5	2.7	3.8

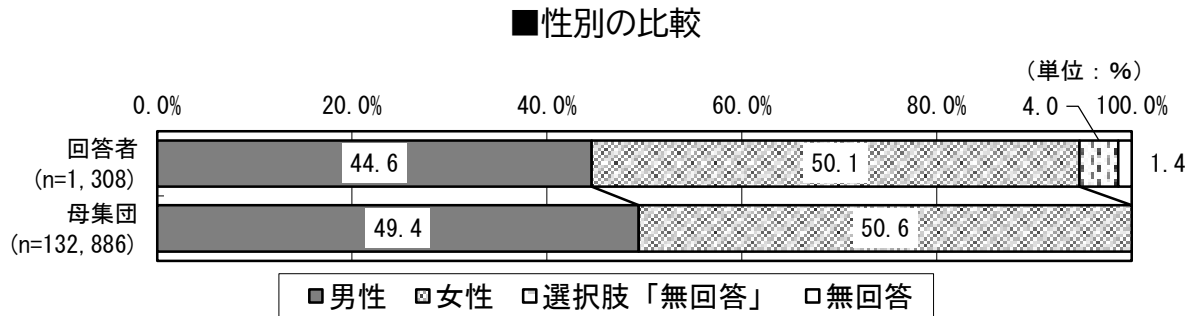
第2章 回答者の属性

第2章 回答者の属性

2-1. 母集団※と回答者の比較

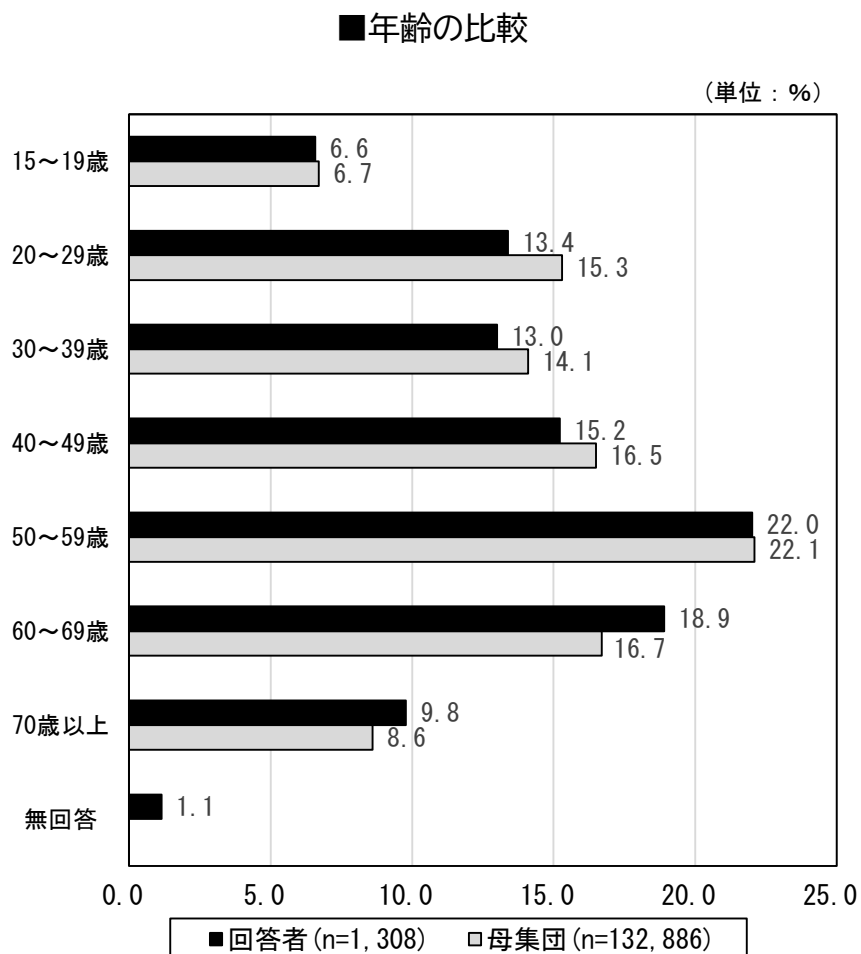
(1) 性別 (問 30)

性別についてみると、「男性」(44.6%)、「女性」(50.1%)と「女性」の方がやや高くなっています。



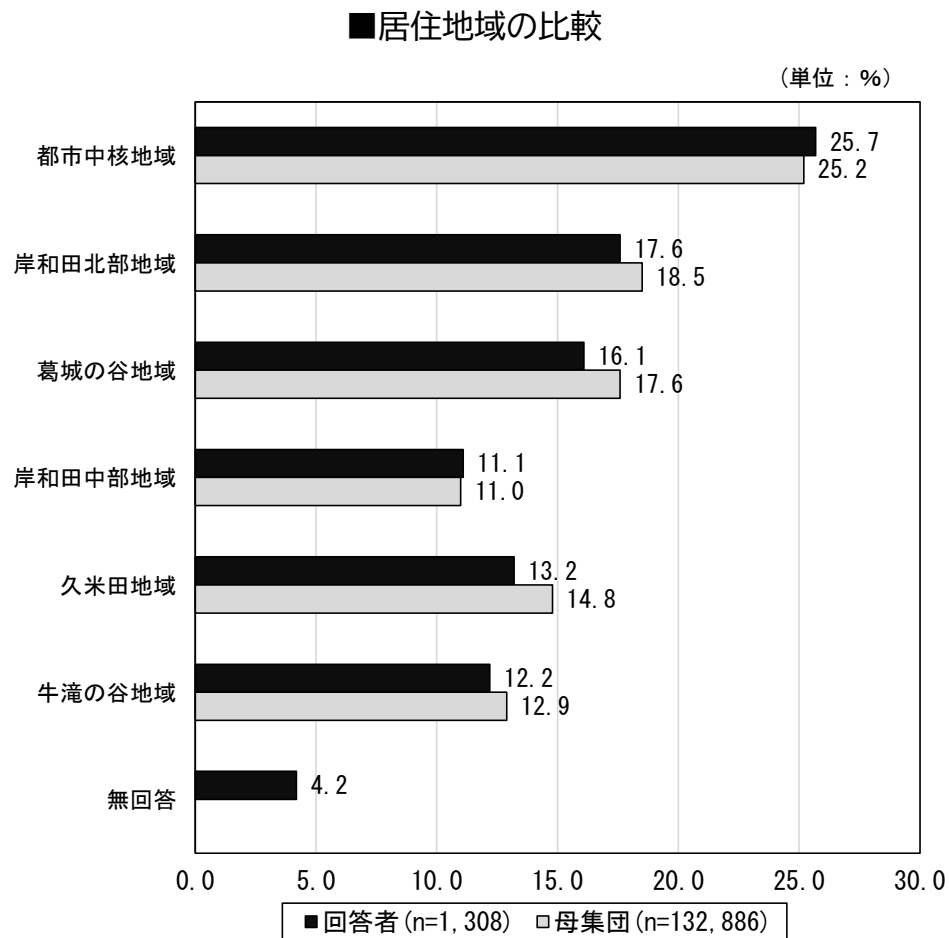
(2) 年齢 (問 31)

年齢階層についてみると、「50～59歳」が22.0%と最も高くなっています。



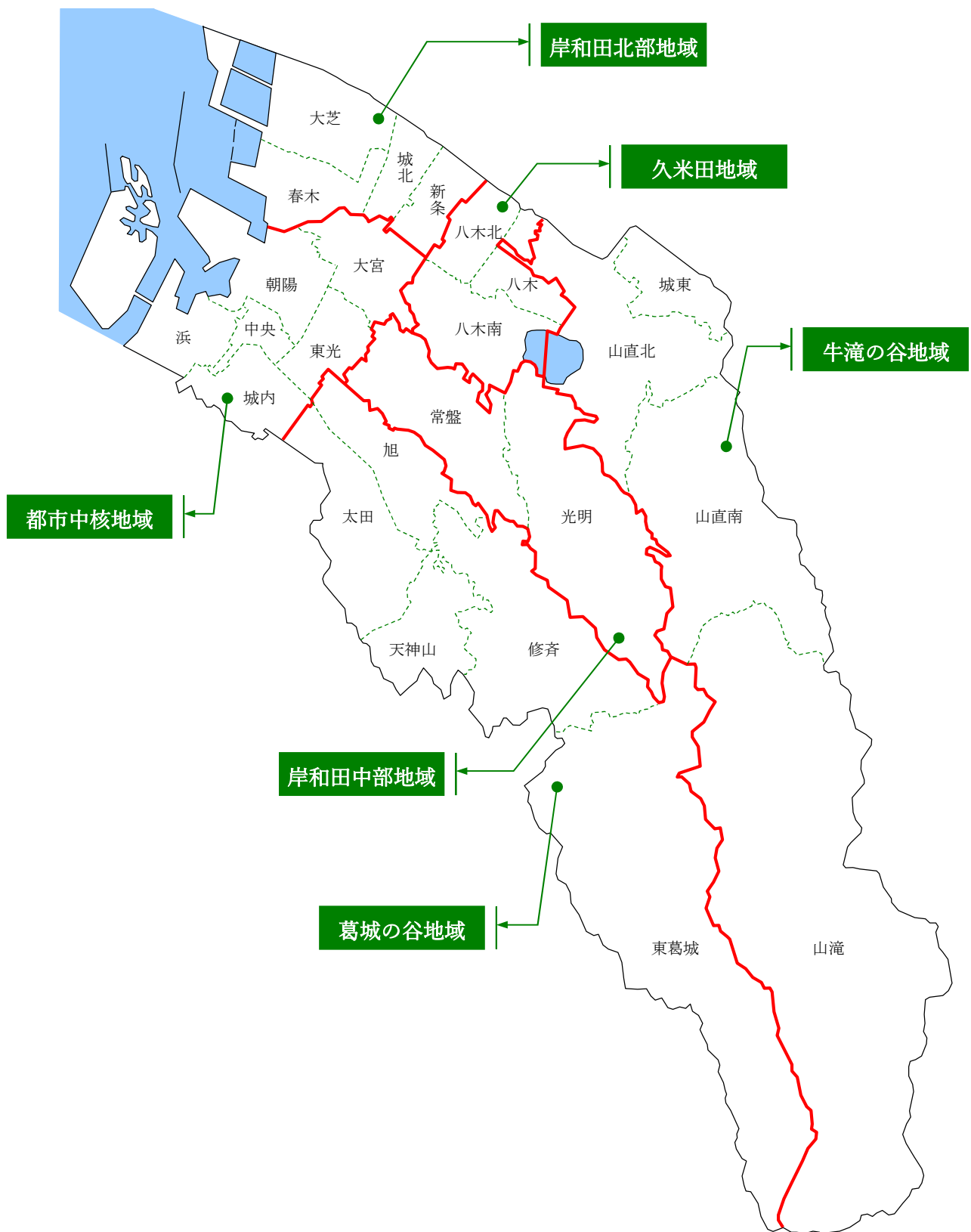
(3) 居住地域 (問 32)

居住地域についてみると、「都市中核地域」(25.7%) が最も高く、次いで「岸和田北部地域」(17.6%)、「葛城の谷地域」(16.1%) の順となっています。



※母集団とは、アンケート対象者抽出の基準となった、令和7年4月30日現在の15歳以上75歳未満の岸和田市住民基本台帳に記載されている人口の合計をいいます。

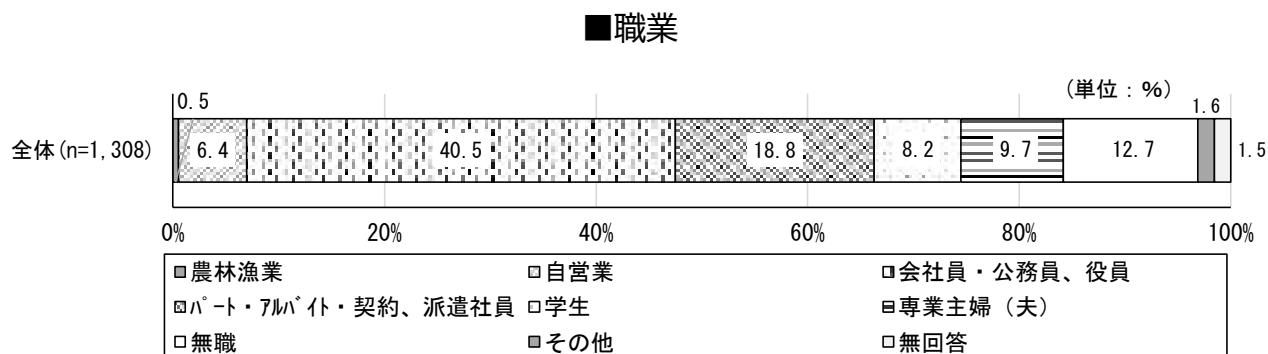
■岸和田市内各町と圏域の関係



2-2. 回答者の内訳

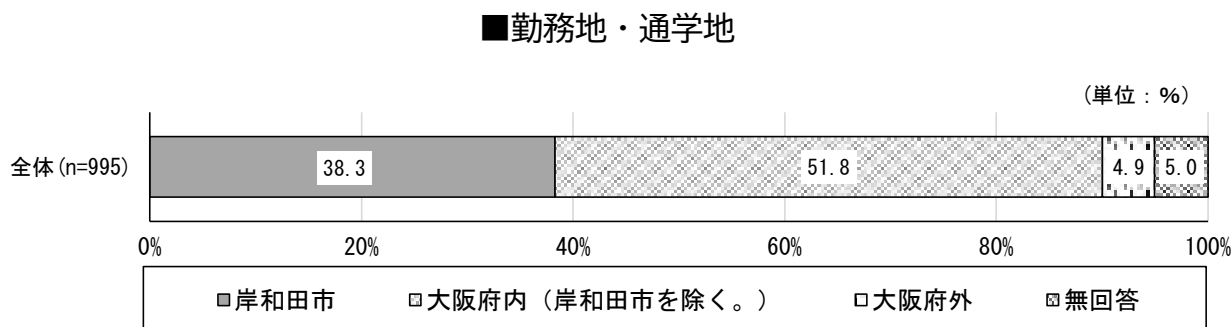
(1) 職業 (問 33)

職業についてみると、「会社員・公務員、役員」(40.5%)が最も高く、次いで「パート・アルバイト・契約、派遣社員」(18.8%)、「無職」(12.7%)の順となっています。



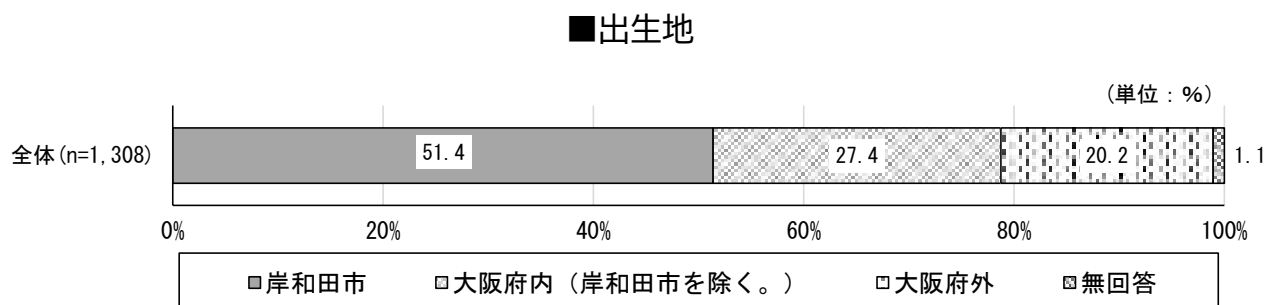
(2) 勤務地・通学地 (問 34)

勤務地・通学地についてみると、「大阪府内 (岸和田市を除く。)」(51.8%)が最も高く、次いで「岸和田市」(38.3%)、「大阪府外」(4.9%)の順となっています。



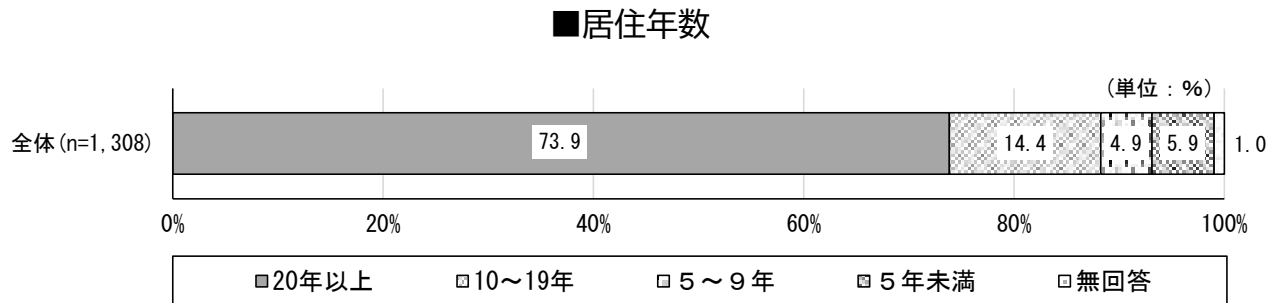
(3) 出生地 (問 35)

出生地についてみると、「岸和田市」(51.4%)が最も高く、次いで「大阪府内 (岸和田市を除く。)」(27.4%)、「大阪府外」(20.2%)の順となっています。

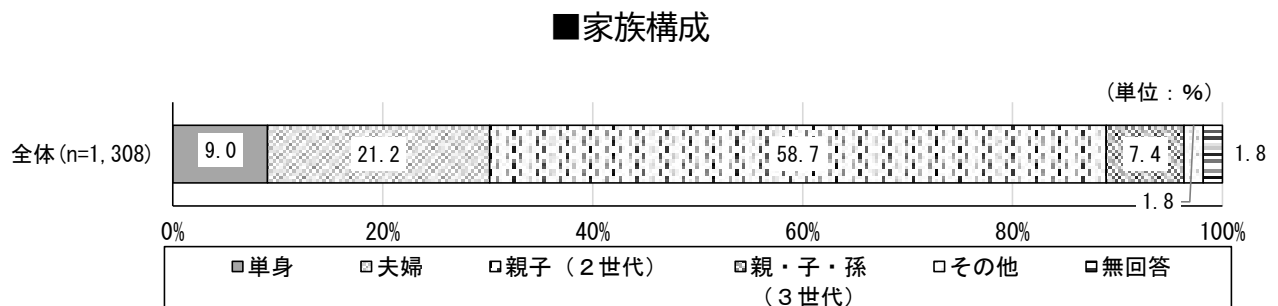


(4) 居住年数 (問 36)

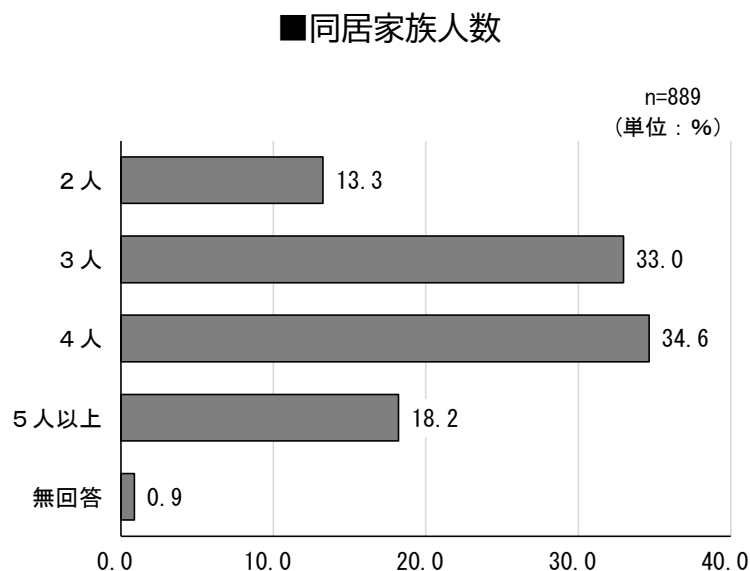
居住年数についてみると、「20 年以上」(73.9%) が最も高く、次いで「10～19 年」(14.4%)、「5 年未満」(5.9%) の順となっています。

**(5) 家族構成 (問 37)**

家族構成についてみると、「親子 (2 世代)」(58.7%) が最も高く、次いで「夫婦」(21.2%)、「単身」(9.0%) の順となっています。

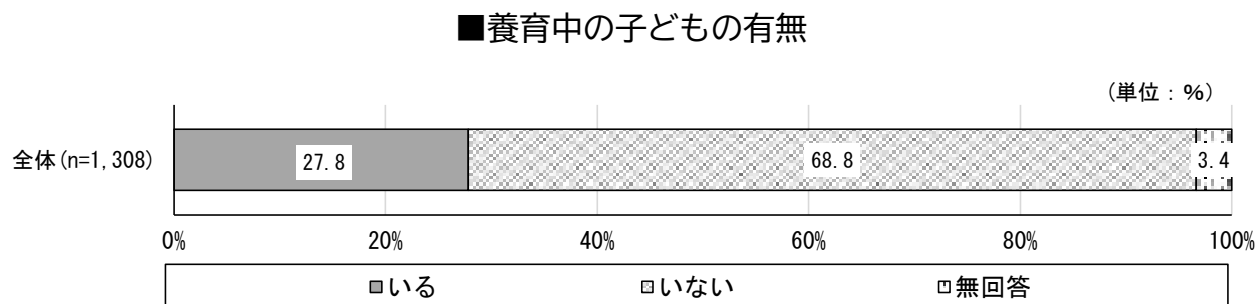
**(6) 同居家族人数 (問 37-1)**

家族構成が「単身」、「夫婦」以外の同居家族人数についてみると、「4 人」(34.6%) が最も高く、次いで「3 人」(33.0%)、「5 人以上」(18.2%) の順となっています。

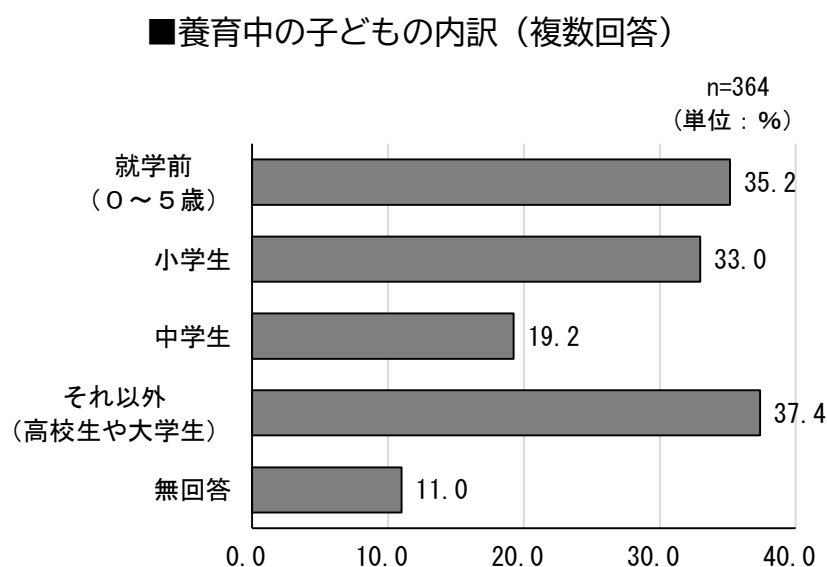


(7) 養育中の子どもの有無 (問 38)

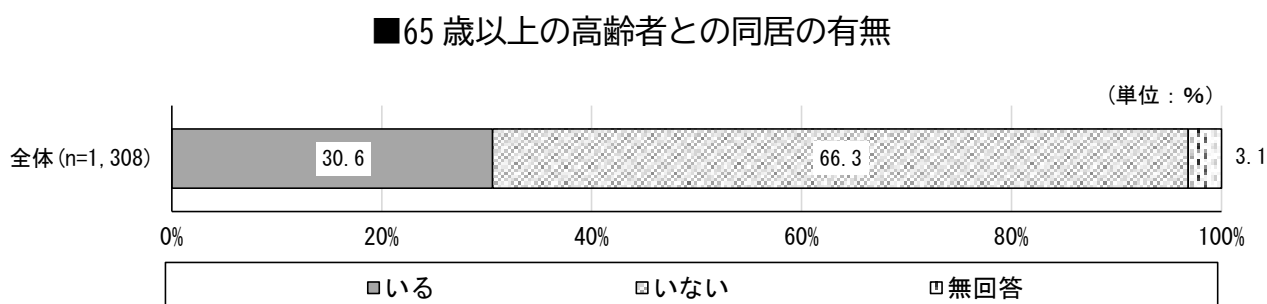
養育中の子どもの有無についてみると、「いる」(27.8%)、「いない」(68.8%)と約3：7の割合になっています。

**(8) 養育中の子どもの内訳 (問 38-1)**

養育中の子どもの内訳についてみると、「それ以外（高校生や大学生）」(37.4%)が最も高く、次いで「就学前（0～5歳）」(35.2%)、「小学生」(33.0%)の順となっています。

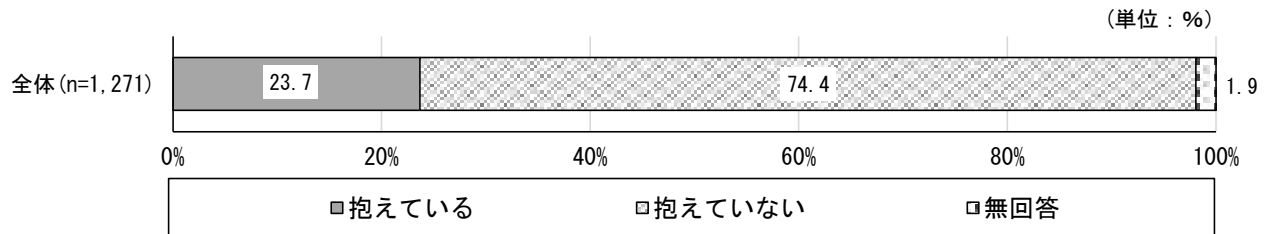
**(9) 65歳以上の高齢者との同居の有無 (問 39)**

65歳以上の高齢者との同居の有無についてみると、「いる」(30.6%)、「いない」(66.3%)と約3：7の割合になっています。

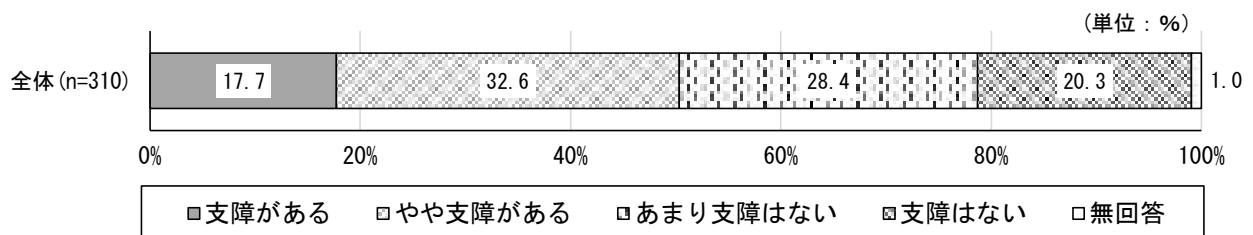


(10) 長期的な病気や障害の有無 (問 40)

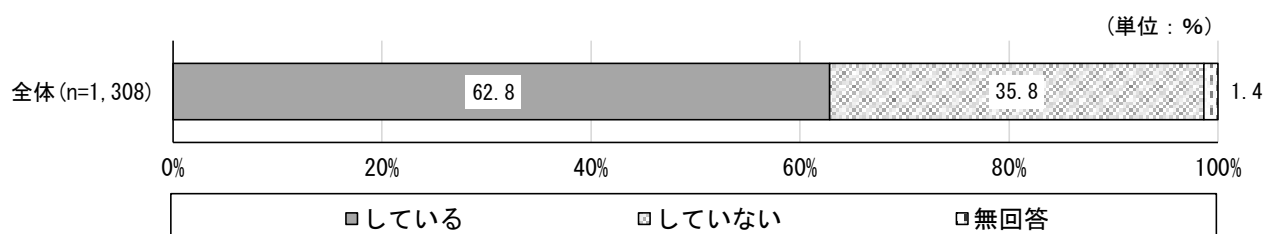
長期的な病気や障害の有無についてみると、「抱えている」(23.7%)、「抱えていない」(74.4%)と後者は前者の約3倍となっています。

■ 長期的な病気や障害の有無**(11) 日常生活への支障の度合い (問 40-1)**

長期的な病気や障害による日常生活への支障の度合いについてみると、「やや支障がある」(32.6%)が最も高く、次いで「あまり支障はない」(28.4%)、「支障はない」(20.3%)の順となっています。

■ 日常生活への支障の度合い**(12) 町会・自治会への加入の有無 (問 41)**

町会・自治会への加入の有無についてみると、「している」(62.8%)、「していない」(35.8%)と「していない」が約3割半となっています。

■ 町会・自治会への加入の有無

第3章 岸和田市のまち・住みやすさ

第3章 岸和田市のまち・住みやすさ

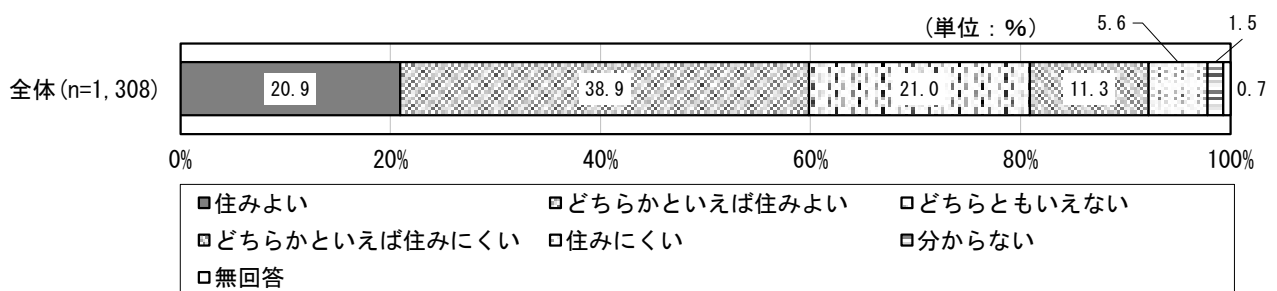
3-1. 岸和田市の住みやすさ

岸和田市の住みやすさ〔問1〕についてみると、「どちらかといえば住みよい」（38.9%）が最も高く、次いで「どちらともいえない」（21.0%）、「住みよい」（20.9%）の順となっています。

“住みよい”（「住みよい」「どちらかといえば住みよい」の合計）は59.8%となっており、全体の約6割の人が岸和田市は“住みよい”と感じています。

一方、“住みにくい”（「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」の合計）は16.9%となっており、約1割半の人が、岸和田市は“住みにくい”と感じています。

■ 岸和田市の住みやすさ

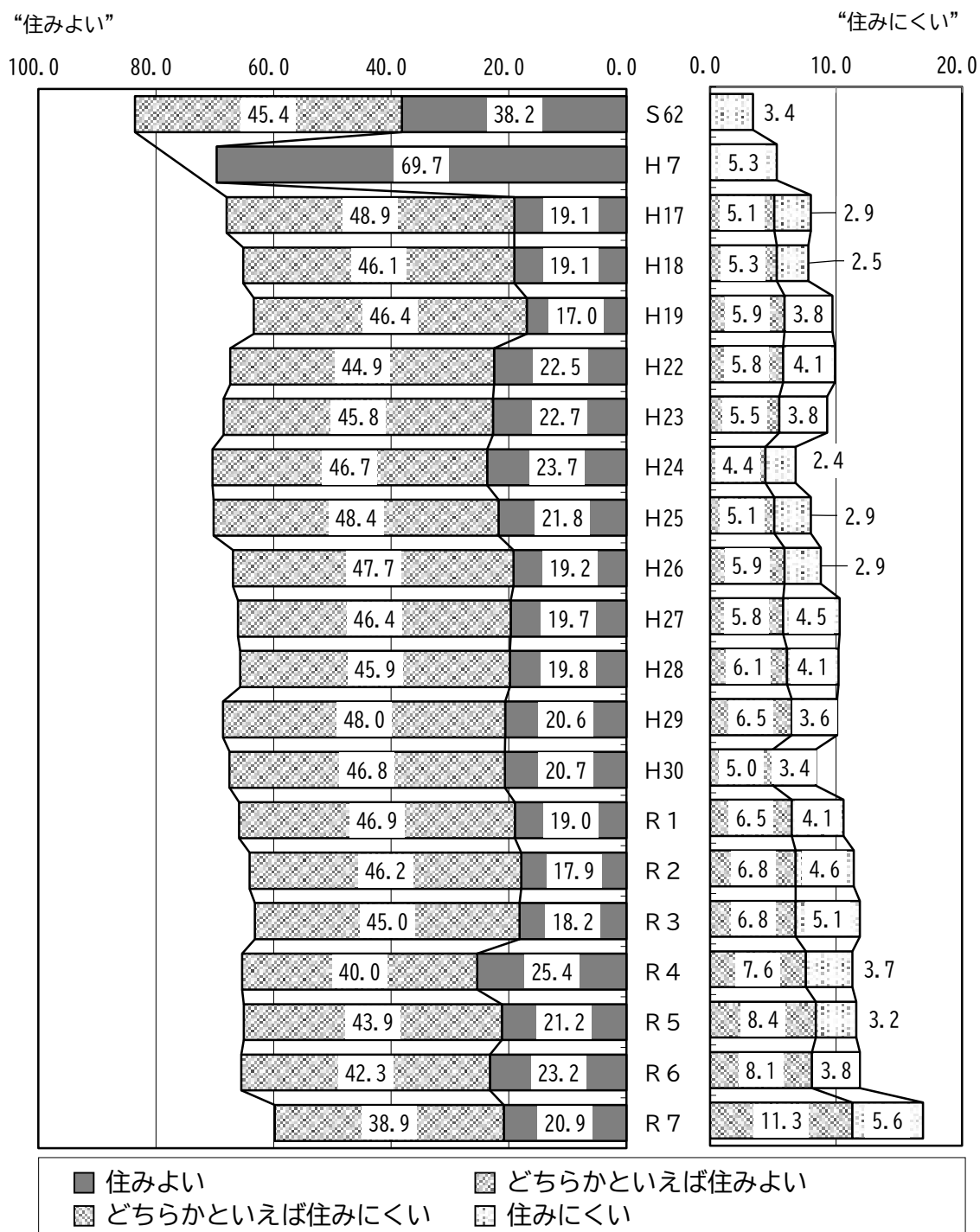


3-2.住みやすさの経年比較

昭和62年では83.6%と8割を超える人が、岸和田市を“住みよい”と感じていました。その後は増減があるものの、令和7年は“住みよい”と感じている人が59.8%と約6割になっています。

一方、岸和田市を“住みにくい”と感じている人は、昭和62年では3.4%であったものの、その後、増加を続け、平成22年では1割に迫る数値となりました。その後は約1割で推移していましたが、令和元年からは1割を越え、令和7年には16.9%と約1割半になっています。

■岸和田市の住みやすさの経年比較



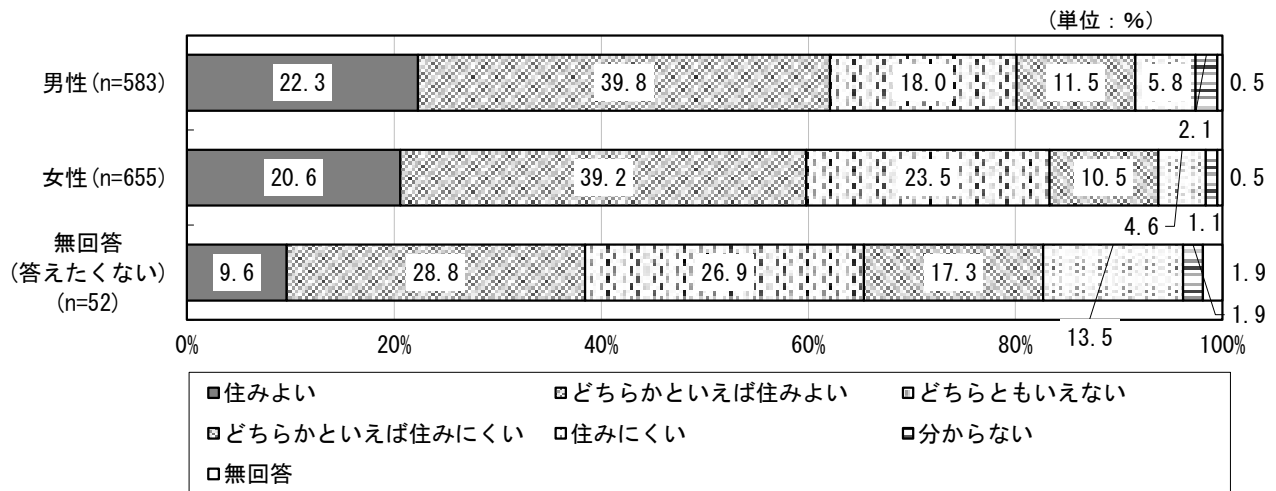
3-3.住みやすさの属性分析

(1) 性別 (問 30)

性別にみると、“住みよい”は「男性」(62.1%)、「女性」(59.8%)と「男性」が2.3ポイント高くなっています。

一方、“住みにくい”は「男性」(17.3%)、「女性」(15.1%)と「男性」が2.2ポイント高くなっています。

■性別：岸和田市の住みやすさ

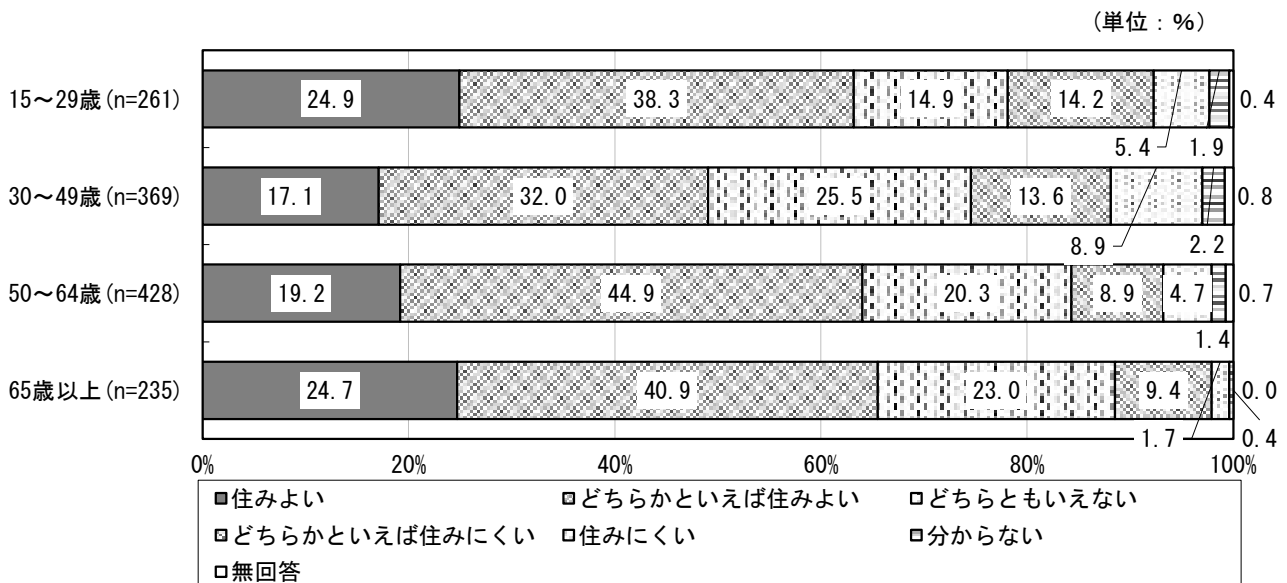


(2) 年齢4区分別 (問 31)

年齢4区分別にみると、“住みよい”は「65歳以上」(65.6%)が最も高く、次いで「50～64歳」(64.1%)となっています。

一方、“住みにくい”は「30～49歳」(22.5%)が最も高く、次いで「15～29歳」(19.6%)となっています。

■年齢4区分別：岸和田市の住みやすさ

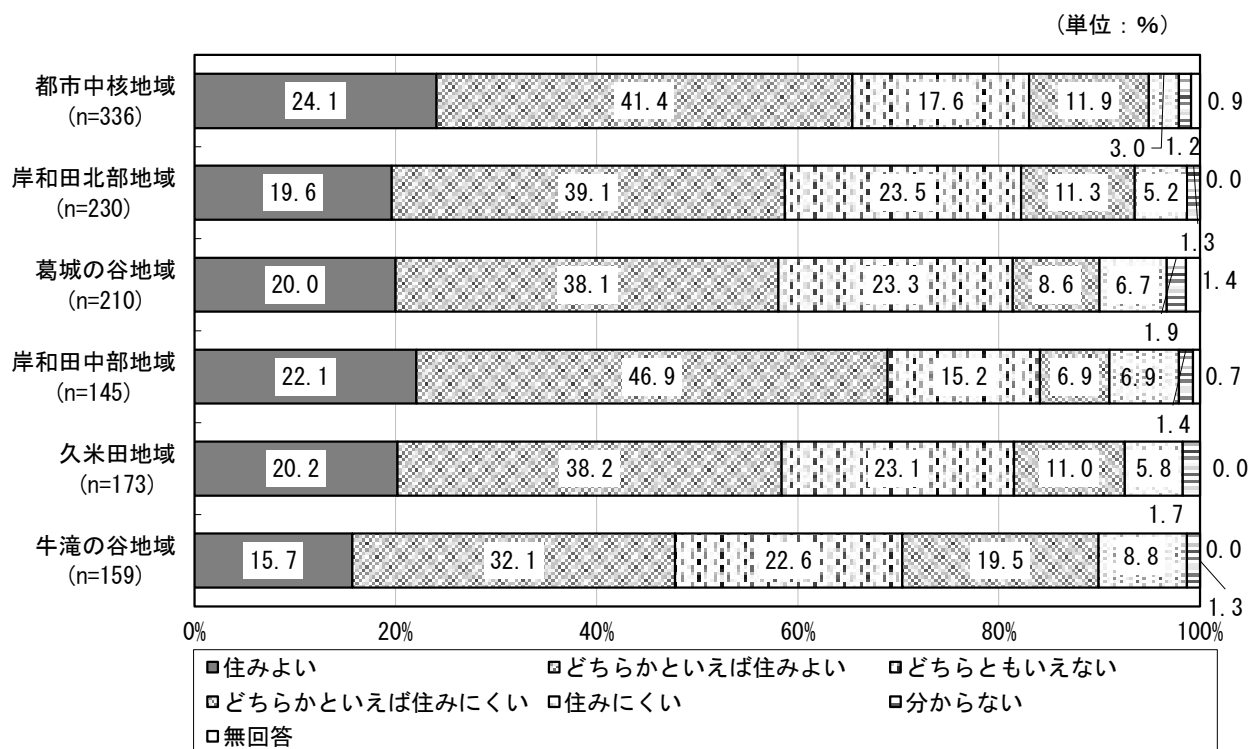


(3) 居住地域別（問 32）

居住地域別にみると、“住みよい”は「岸和田中部地域」（69.0%）が最も高く、次いで「都市中核地域」（65.5%）、「岸和田北部地域」（58.7%）の順となっています。

一方、“住みにくい”は「牛滝の谷地域」（28.3%）が最も高く、次いで「久米田地域」（16.8%）、「岸和田北部地域」（16.5%）の順となっています。

■居住地域別：岸和田市の住みやすさ

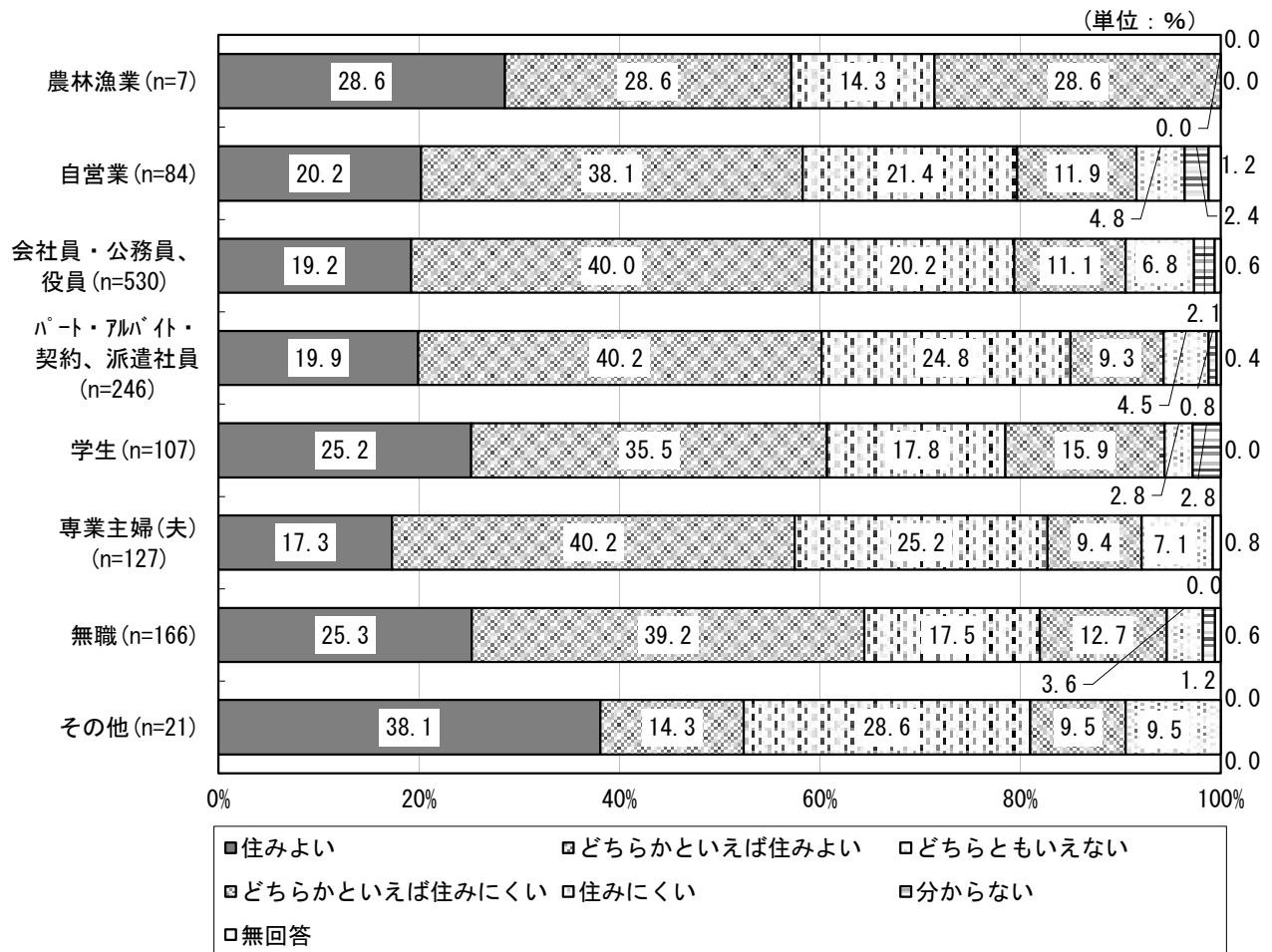


(4) 職業別(問 33)

職業別にみると、“住みよい”は「無職」(64.5%)が最も高く、次いで「学生」(60.7%)、「パート・アルバイト・契約、派遣社員」(60.1%)の順となっています。

一方、“住みにくい”は回答者数の少ない「農林漁業」を除き、「その他」(19.0%)が最も高く、次いで「学生」(18.7%)となっています。

■職業別：岸和田市の住みやすさ

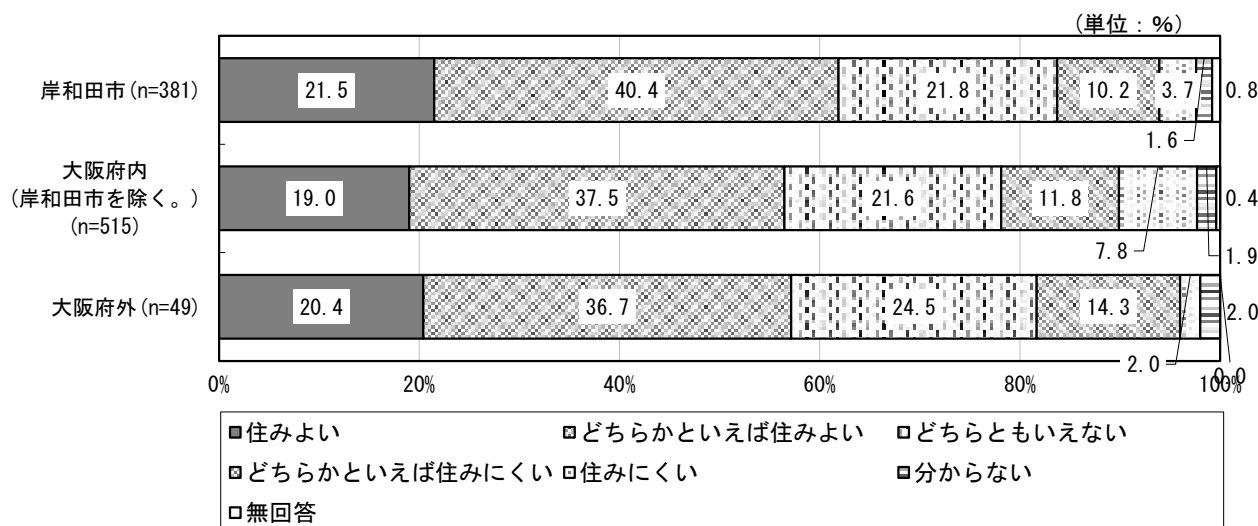


(5) 勤務地・通学地別（問 34）

勤務地・通学地別にみると、“住みよい”は「岸和田市」(61.9%)が最も高く、次いで「大阪府外」(57.1%)、「大阪府内（岸和田市を除く。）」(56.5%)の順となっています。

一方、“住みにくい”は「大阪府内（岸和田市を除く。）」(19.6%)が最も高く、次いで「大阪府外」(16.3%)、「岸和田市」(13.9%)の順となっています。

■勤務地・通学地別：岸和田市の住みやすさ

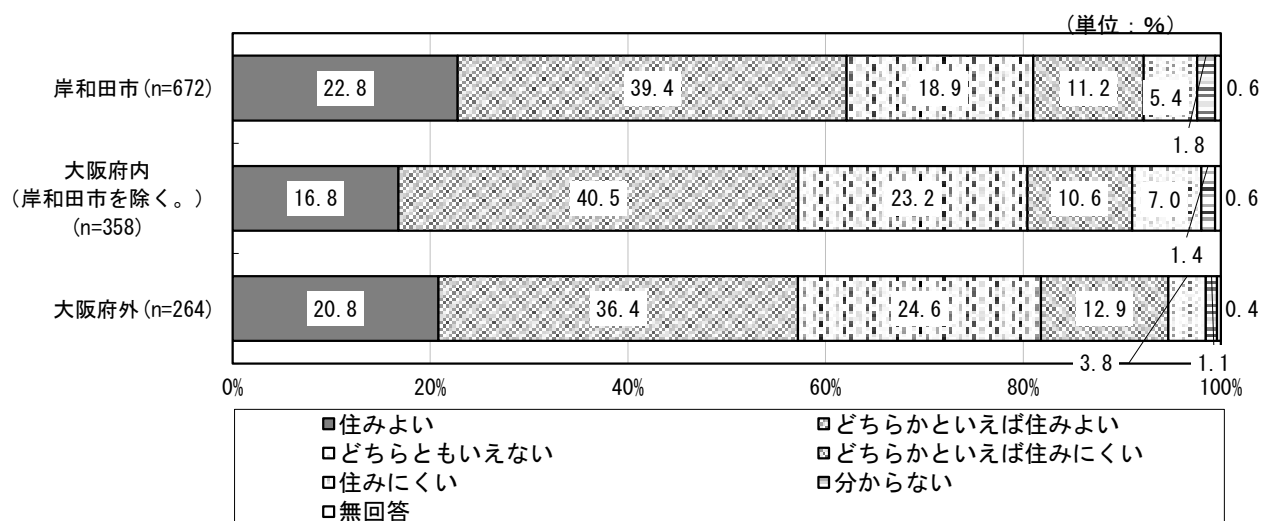


(6) 出生地別（問 35）

出生地別にみると、“住みよい”は「岸和田市」(62.2%)が最も高く、次いで「大阪府内（岸和田市を除く。）」(57.3%)、「大阪府外」(57.2%)の順となっています。

一方、“住みにくい”は「大阪府内（岸和田市を除く。）」(17.6%)が最も高く、次いで「大阪府外」(16.7%)、「岸和田市」(16.6%)の順となっています。

■出生地別：岸和田市の住みやすさ

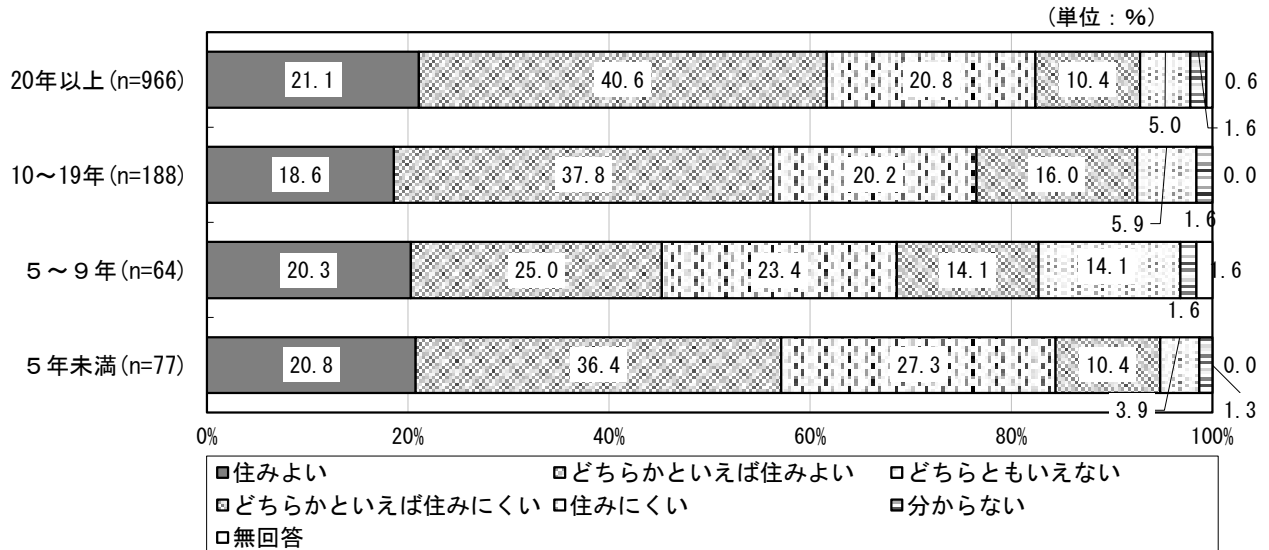


(7) 居住年数別（問 36）

居住年数別にみると、“住みよい”は「20年以上」（61.7%）が最も高く、次いで「5年未満」（57.2%）、「10～19年」（56.4%）の順となっています。

一方、“住みにくい”は「5～9年」（28.2%）が最も高く、次いで「10～19年」（21.9%）、「20年以上」（15.4%）の順となっています。

■居住年数別：岸和田市の住みやすさ

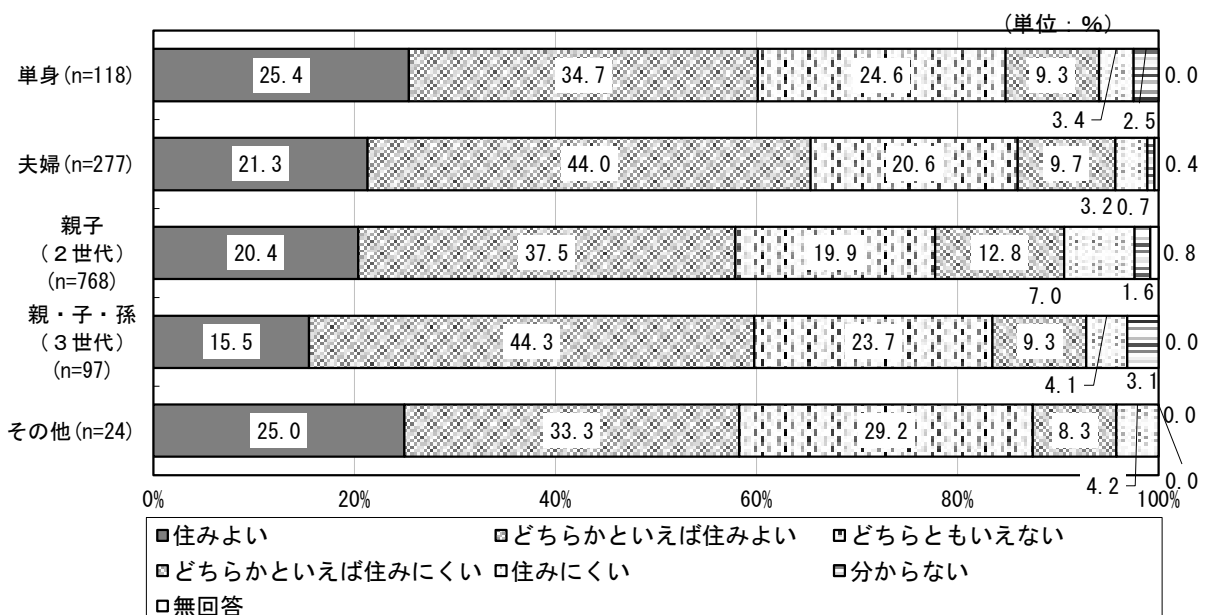


(8) 家族構成別（問 37）

家族構成別にみると、“住みよい”は「夫婦」（65.3%）が最も高く、次いで「単身」（60.1%）、「親・子・孫（3世代）」（59.8%）の順となっています。

一方、“住みにくい”は「親子（2世代）」（19.8%）が最も高く、次いで「親・子・孫（3世代）」（13.4%）、「夫婦」（12.9%）の順となっています。

■家族構成別：岸和田市の住みやすさ

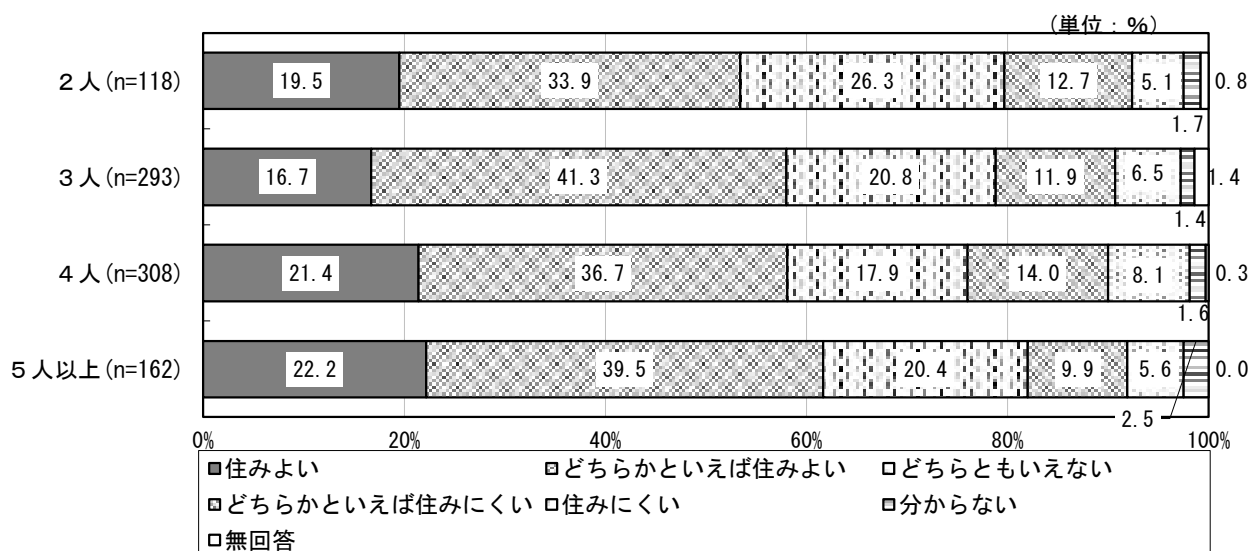


(9) 同居家族人数別（問 37-1）

家族構成が「単身」、「夫婦」以外の同居家族人数別にみると、「住みよい」は「5人以上」（61.7%）が最も高く、次いで「4人」（58.1%）、「3人」（58.0%）の順となっています。

一方、「住みにくい」は「4人」（22.1%）が最も高く、次いで「3人」（18.4%）、「2人」（17.8%）の順となっています。

■世帯人員別：岸和田市の住みやすさ

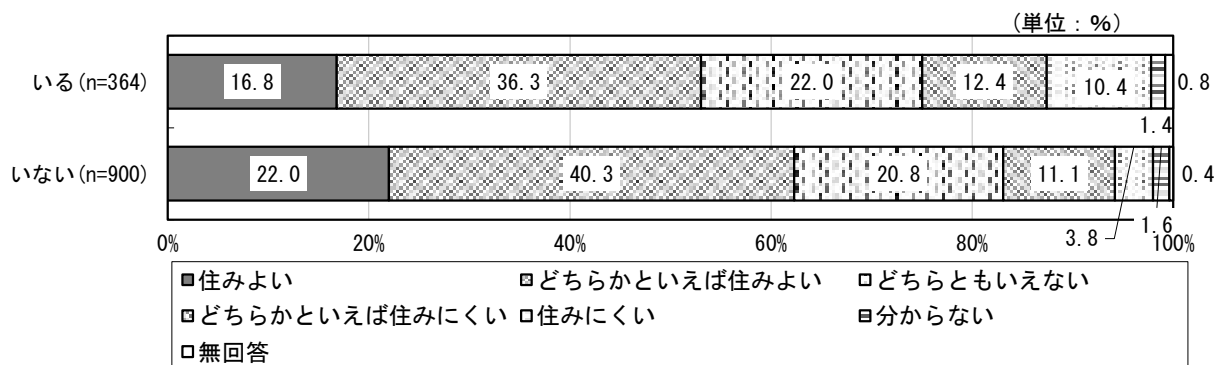


(10) 養育中の子どもの有無別（問 38）

養育中の子どもの有無別にみると、「住みよい」は「いる」（53.1%）、「いない」（62.3%）と「いない」が9.2ポイント高くなっています。

一方、「住みにくい」は「いる」（22.8%）、「いない」（14.9%）と「いる」が7.9ポイント高くなっています。

■養育中の子どもの有無別：岸和田市の住みやすさ

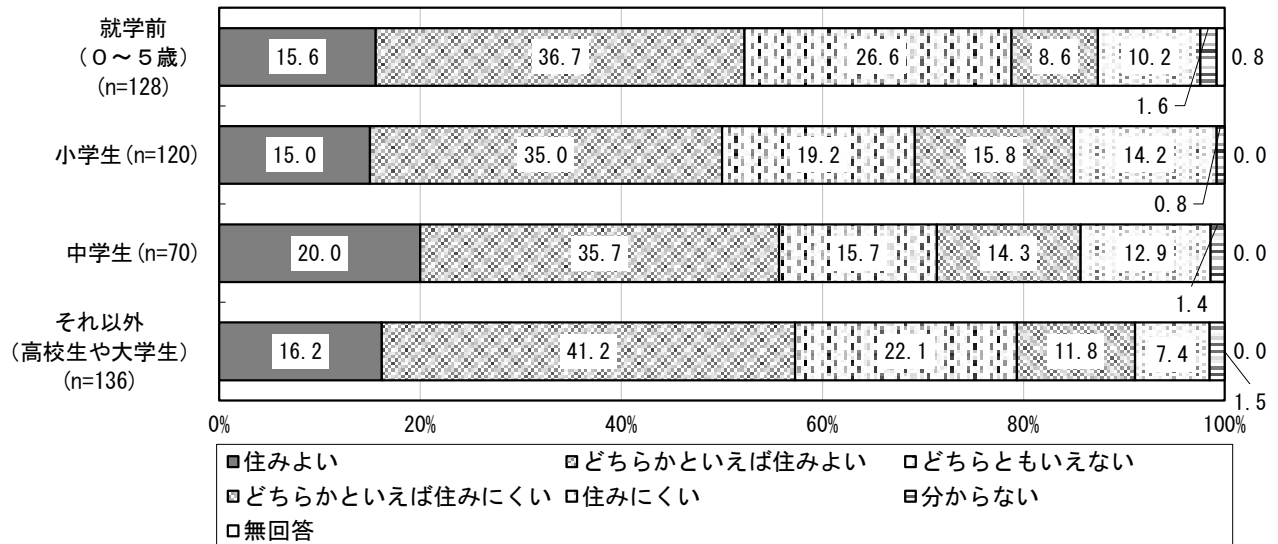


(11) 養育中の子どもの内訳別（問 38-1）

養育中の子どもの内訳別にみると、“住みよい”は「それ以外（高校生や大学生）」（57.4%）が最も高く、次いで「中学生」（55.7%）、「就学前（0～5歳）」（52.3%）の順となっています。

一方、“住みにくい”は「小学生」（30.0%）が最も高く、次いで「中学生」（27.2%）、「それ以外（高校生や大学生）」（19.2%）の順となっています。

■養育中の子どもの内訳別（複数回答）：岸和田市の住みやすさ

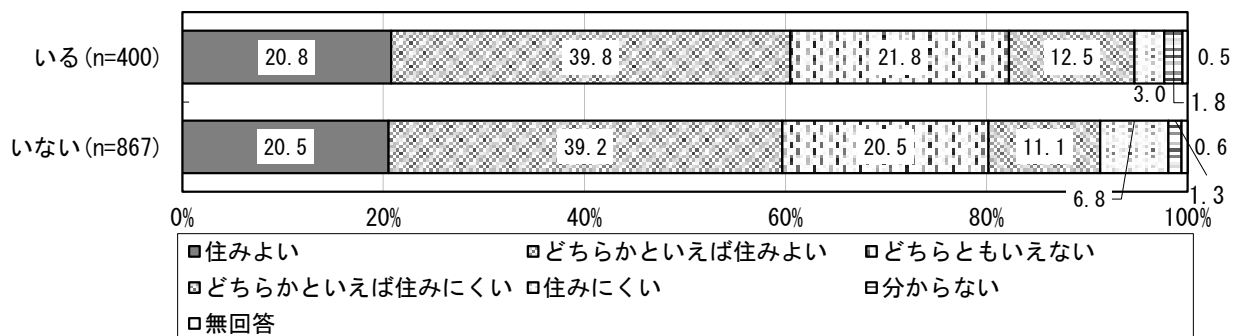


(12) 65歳以上の高齢者との同居の有無別（問 39）

65歳以上の高齢者との同居の有無別にみると、“住みよい”は「いる」（60.6%）、「いない」（59.7%）と「いる」が0.9ポイント高くなっています。

一方、“住みにくい”は「いない」（17.9%）、「いる」（15.5%）と「いない」が2.4ポイント高くなっています。

■65歳以上の高齢者との同居の有無別：岸和田市の住みやすさ

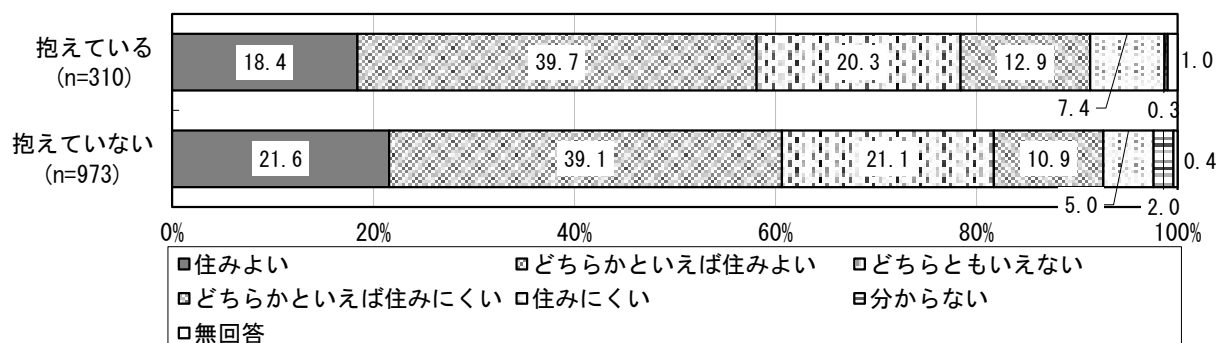


(13) 長期的な病気や障害の有無別（問 40）

長期的な病気や障害の有無別にみると、「住みよい」は「抱えていない」(60.7%)、「抱えている」(58.1%)と「抱えていない」が2.6ポイント高くなっています。

一方、「住みにくい」は「抱えている」(20.3%)、「抱えていない」(15.9%)と「抱えている」が4.4ポイント高くなっています。

■長期的な病気や障害の有無別：岸和田市の住みやすさ

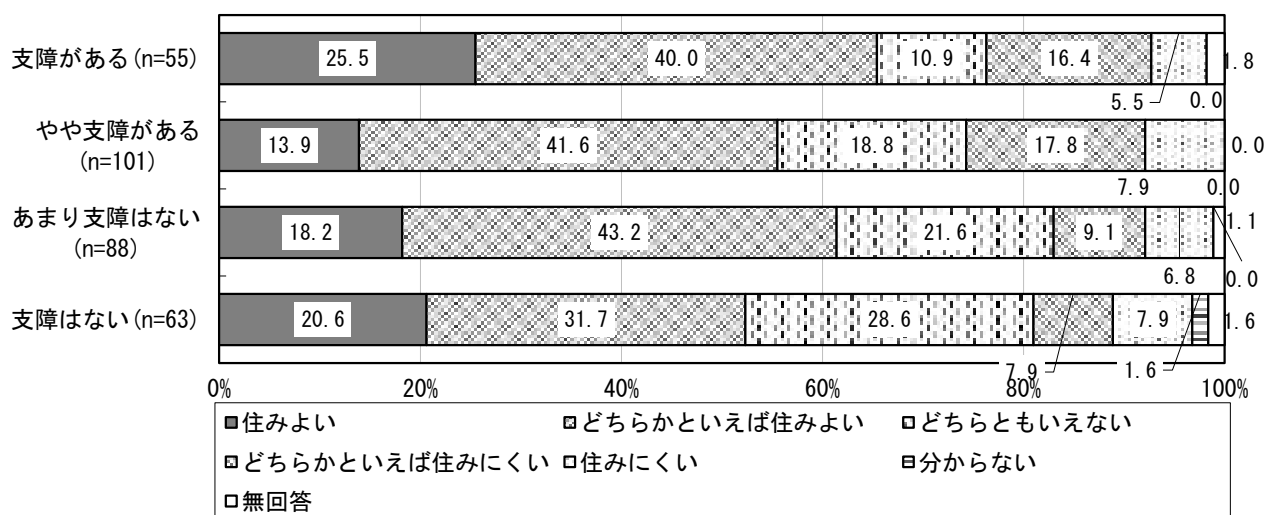


(14) 日常生活への支障の度合い別（問 40-1）

日常生活への支障の度合い別にみると、「住みよい」は「支障がある」(65.5%)が最も高く、次いで「あまり支障はない」(61.4%)、「やや支障がある」(55.5%)の順となっています。

一方、「住みにくい」は「やや支障がある」(25.7%)が最も高く、次いで「支障がある」(21.9%)、「あまり支障はない」(15.9%)の順となっています。

■日常生活への支障の度合い別：岸和田市の住みやすさ

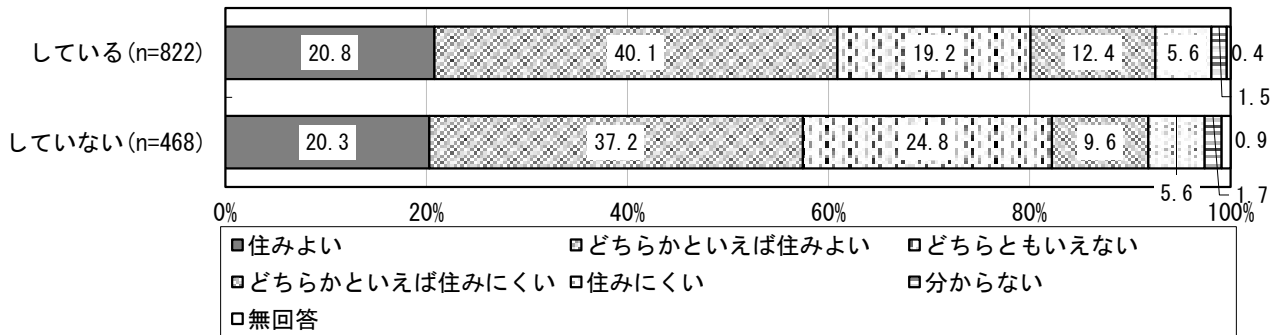


(15) 町会・自治会への加入の有無別（問 41）

町会・自治会への加入の有無別についてみると、“住みよい”は「している」(60.9%)、「していない」(57.5%)と「している」が3.4ポイント高くなっています。

一方、“住みにくい”は「している」(18.0%)、「していない」(15.2%)と「している」が2.8ポイント高くなっています。

■町会・自治会への加入の有無別：岸和田市の住みやすさ

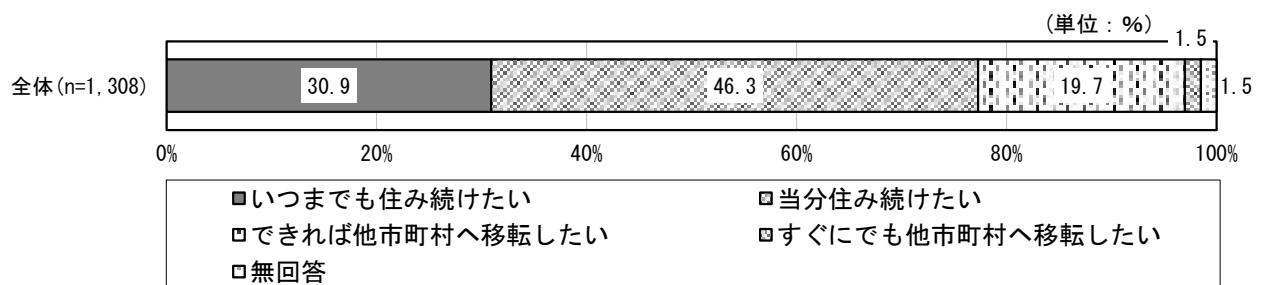


3-4. 今後の居住継続意向

〔問2〕の今後の居住継続意向についてみると、「いつまでも住み続けたい」（30.9％）と「当分住み続けたい」（46.3％）をあわせた“住み続けたい”は77.2％となっており、全体の約8割の人が、岸和田市に“住み続けたい”と感じています。

一方、「できれば他市町村へ移転したい」（19.7％）と「すぐにでも他市町村へ移転したい」（1.5％）をあわせた“住み続けたくない”は21.2％となっており、約2割の人が岸和田市に“住み続けたくない”と感じています。

■ 今後の居住継続意向



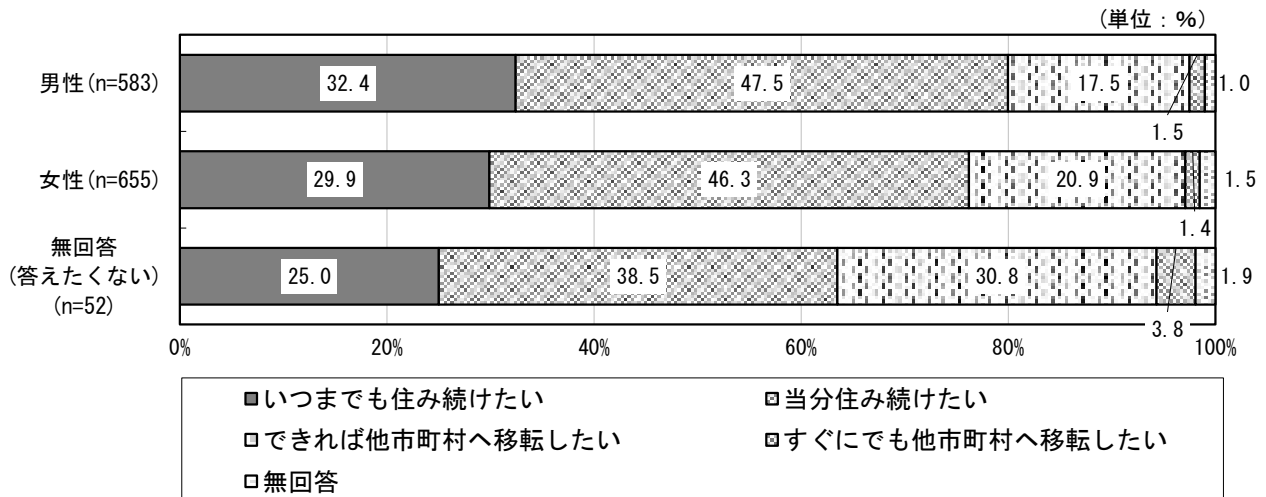
3-5. 居住継続意向の属性分析

(1) 性別（問 30）

性別にみると、“住み続けたい”は「男性」（79.9%）、「女性」（76.2%）と「男性」が3.7ポイント高くなっています。

一方、“住み続けたくない”は「男性」（19.0%）、「女性」（22.3%）と「女性」が3.3ポイント高くなっています。

■性別：岸和田市への居住継続意向

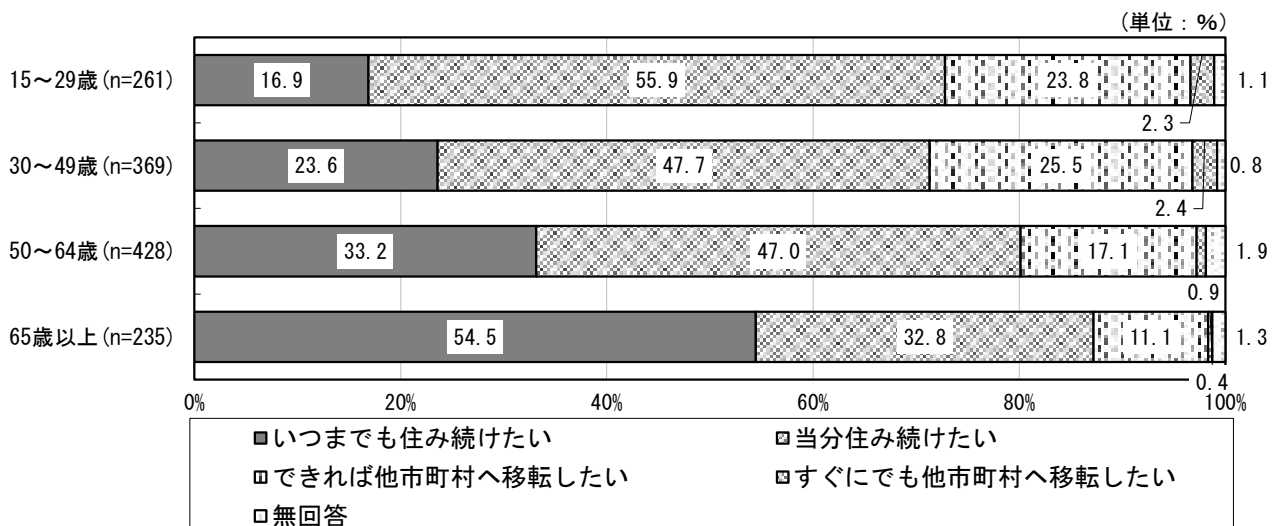


(2) 年齢4区分別（問 31）

年齢4区分別にみると、“住み続けたい”は「65歳以上」（87.3%）が最も高く、次いで「50～64歳」（80.2%）、「15～29歳」（72.8%）の順となっています。

一方、“住み続けたくない”は「30～49歳」（27.9%）が最も高く、次いで「15～29歳」（26.1%）、「50～64歳」（18.0%）の順となっています。

■年齢4区分別：岸和田市への居住継続意向

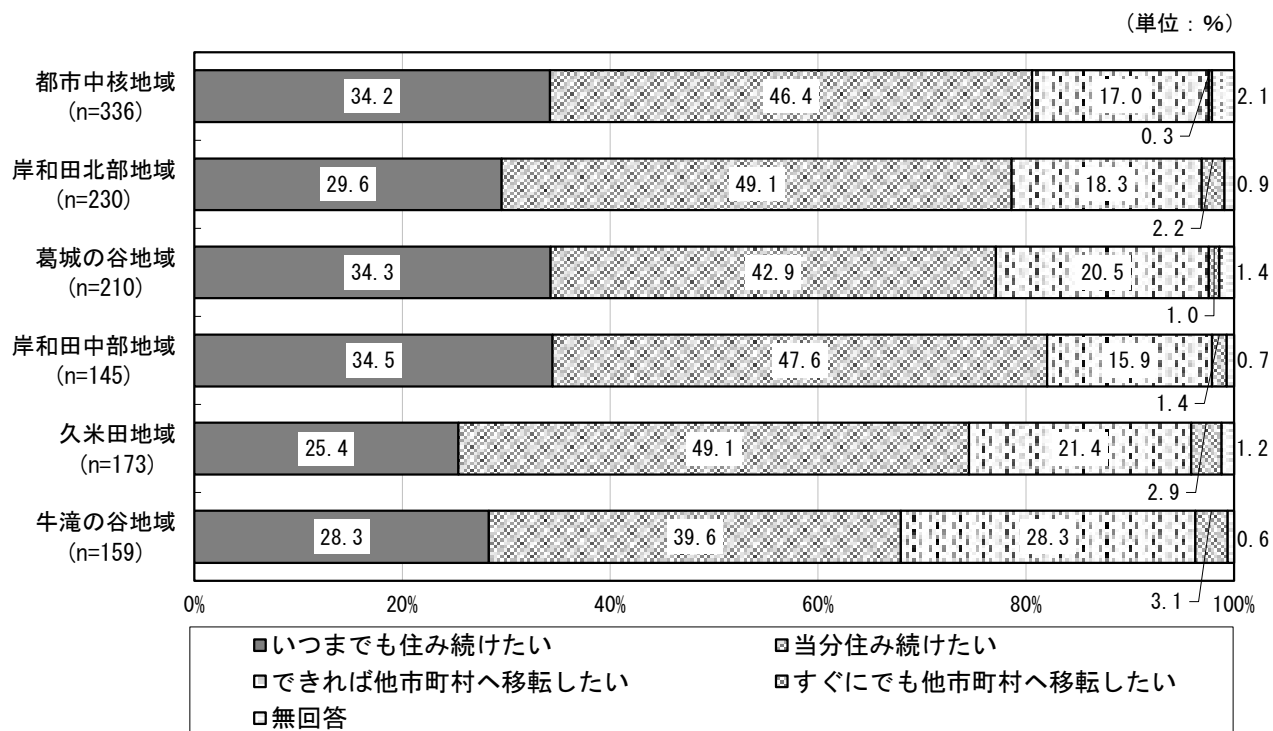


(3) 居住地域別（問 32）

居住地域別にみると、“住み続けたい”は「岸和田中部地域」（82.1％）が最も高く、次いで「都市中核地域」（80.6％）、「岸和田北部地域」（78.7％）の順となっています。

一方、“住み続けたくない”は「牛滝の谷地域」（31.4％）が最も高く、次いで「久米田地域」（24.3％）、「葛城の谷地域」（21.5％）の順となっています。

■居住地域別：岸和田市への居住継続意向

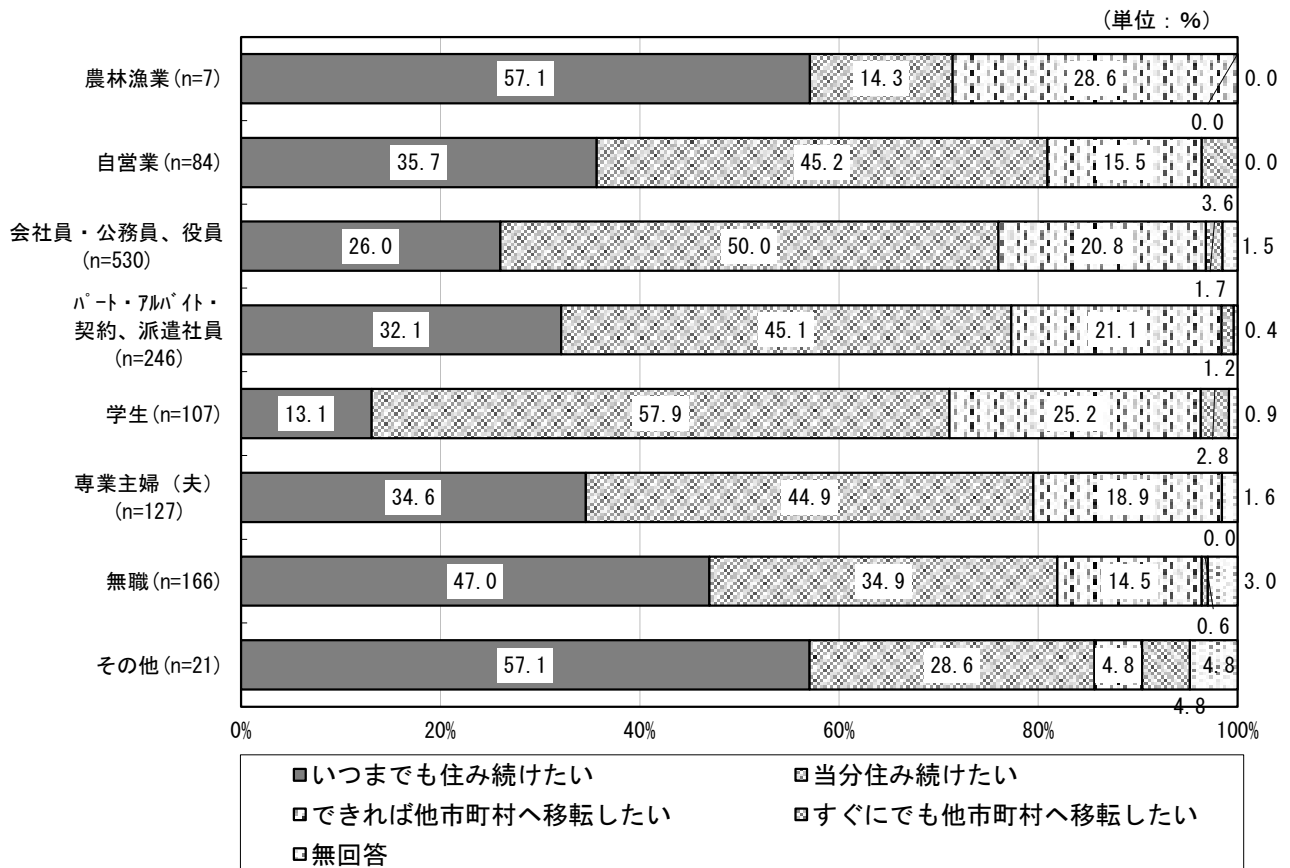


(4) 職業別 (問 33)

職業別にみると、“住み続けたい”は「その他」(85.7%)が最も高く、次いで「無職」(81.9%)、「自営業」(80.9%)の順となっています。

一方、“住み続けたくない”は「農林漁業」(28.6%)が最も高く、次いで「学生」(28.0%)、「会社員・公務員、役員」(22.5%)の順となっています。

■職業別：岸和田市への居住継続意向

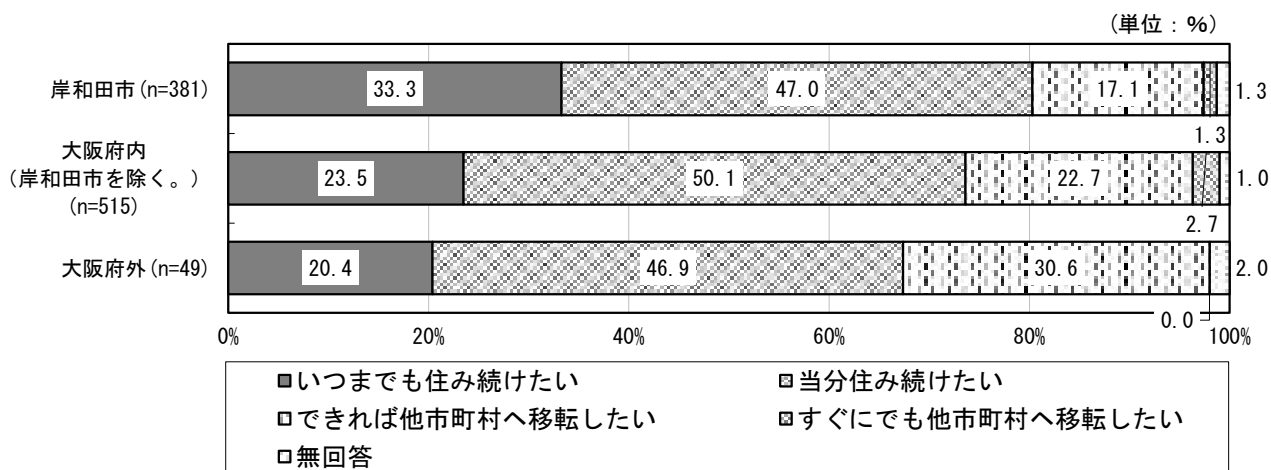


(5) 勤務地・通学地別（問 34）

勤務地・通学地別にみると、“住み続けたい”は「岸和田市」（80.3%）が最も高く、次いで「大阪府内（岸和田市を除く。）」（73.6%）、「大阪府外」（67.3%）の順となっています。

一方、“住み続けたくない”は「大阪府外」（30.6%）が最も高く、次いで「大阪府内（岸和田市を除く。）」（25.4%）、「岸和田市」（18.4%）の順となっています。

■勤務地・通学地別：岸和田市への居住継続意向

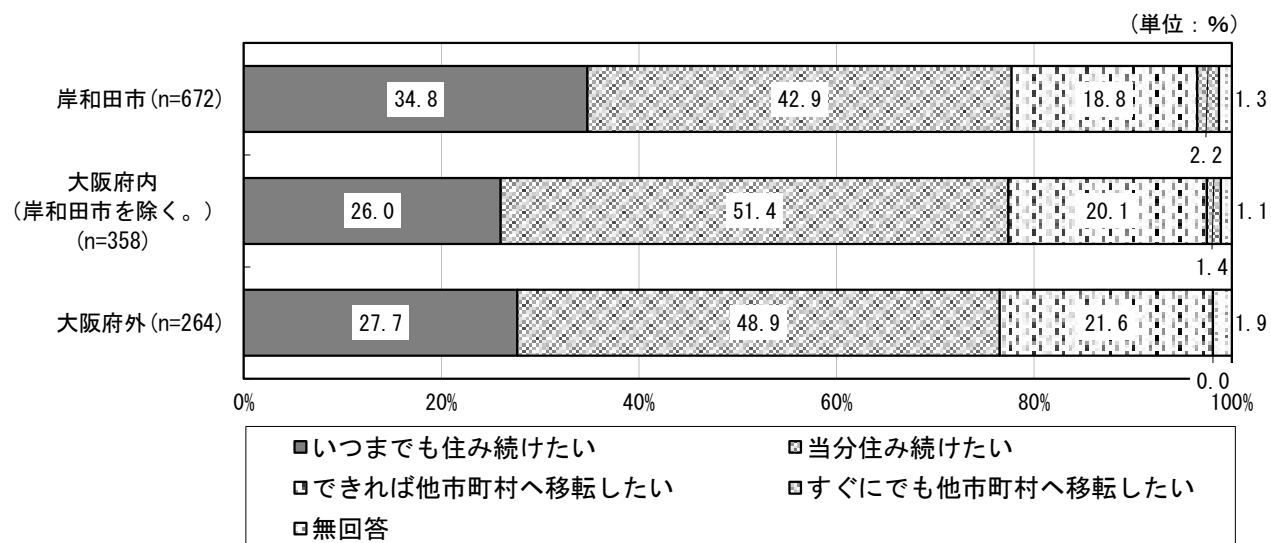


(6) 出生地別（問 35）

出生地別にみると、“住み続けたい”は「岸和田市」（77.7%）が最も高く、次いで「大阪府内（岸和田市を除く。）」（77.4%）、「大阪府外」（76.6%）の順となっています。

一方、“住み続けたくない”は「大阪府外」（21.6%）が最も高く、次いで「大阪府内（岸和田市を除く。）」（21.5%）、「岸和田市」（21.0%）の順となっています。

■出生地別：岸和田市への居住継続意向

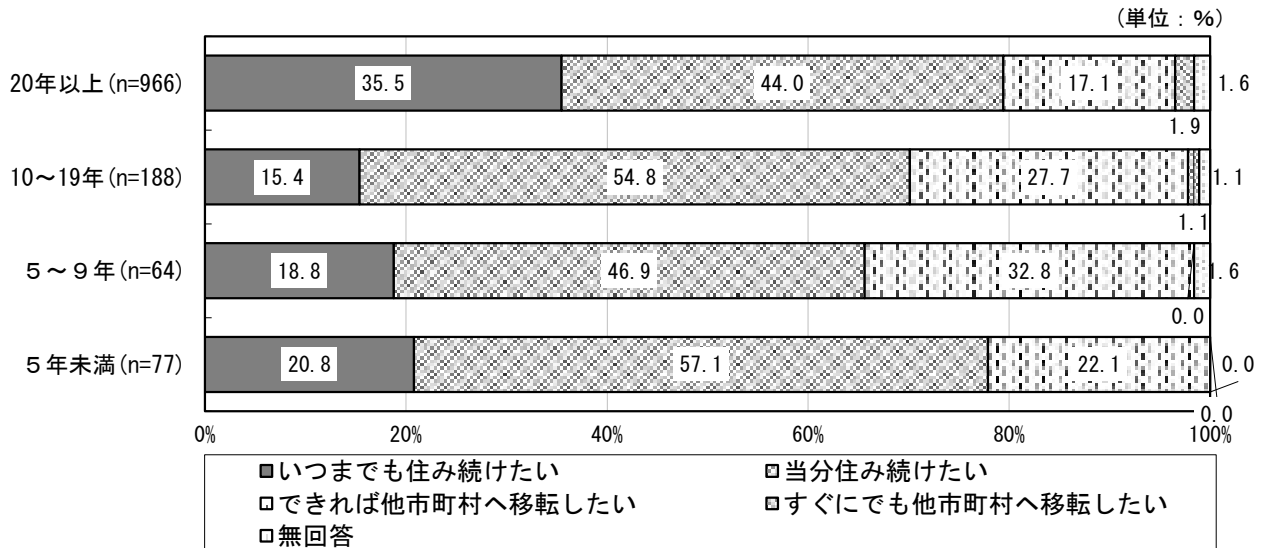


(7) 居住年数別 (問 36)

居住年数別にみると、“住み続けたい”は「20年以上」(79.5%)が最も高く、次いで「5年未満」(77.9%)、「10～19年」(70.2%)の順となっています。

一方、“住み続けたくない”は「5～9年」(32.8%)が最も高く、次いで「10～19年」(28.8%)、「5年未満」(22.1%)の順となっています。

■居住年数別：岸和田市への居住継続意向

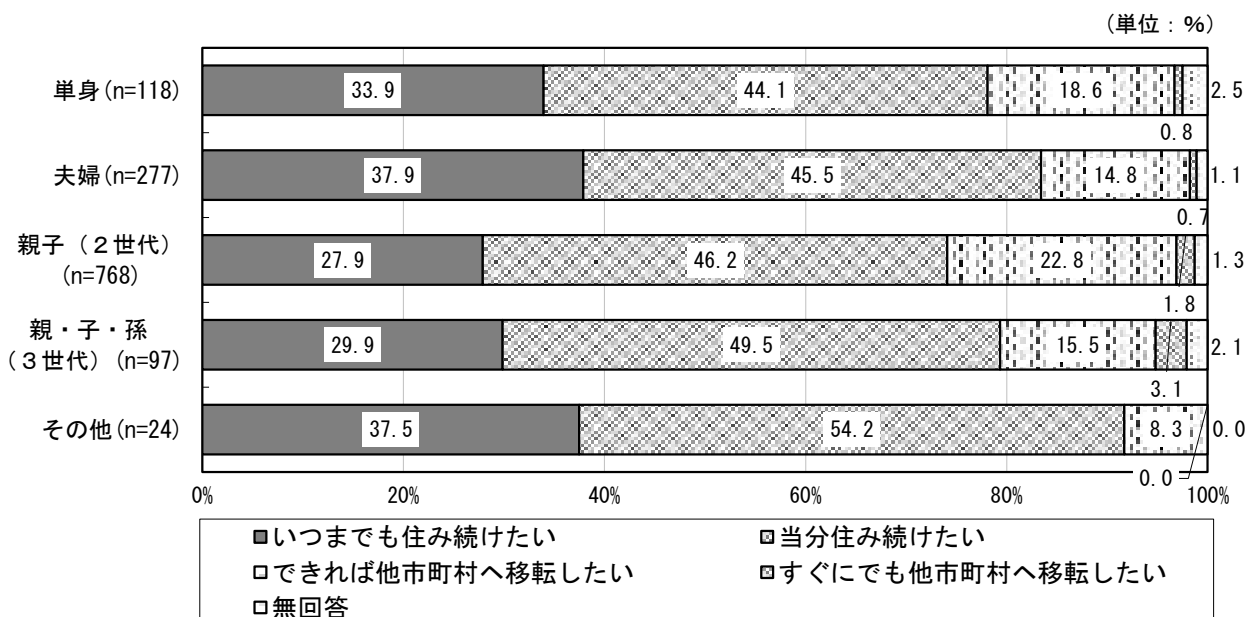


(8) 家族構成別 (問 37)

家族構成別にみると、“住み続けたい”は「その他」(91.7%)が最も高く、次いで「夫婦」(83.4%)、「親・子・孫 (3世代)」(79.4%)の順となっています。

一方、“住み続けたくない”は「親子 (2世代)」(24.6%)が最も高く、次いで「単身」(19.4%)、「親・子・孫 (3世代)」(18.6%)の順となっています。

■家族構成別：岸和田市への居住継続意向

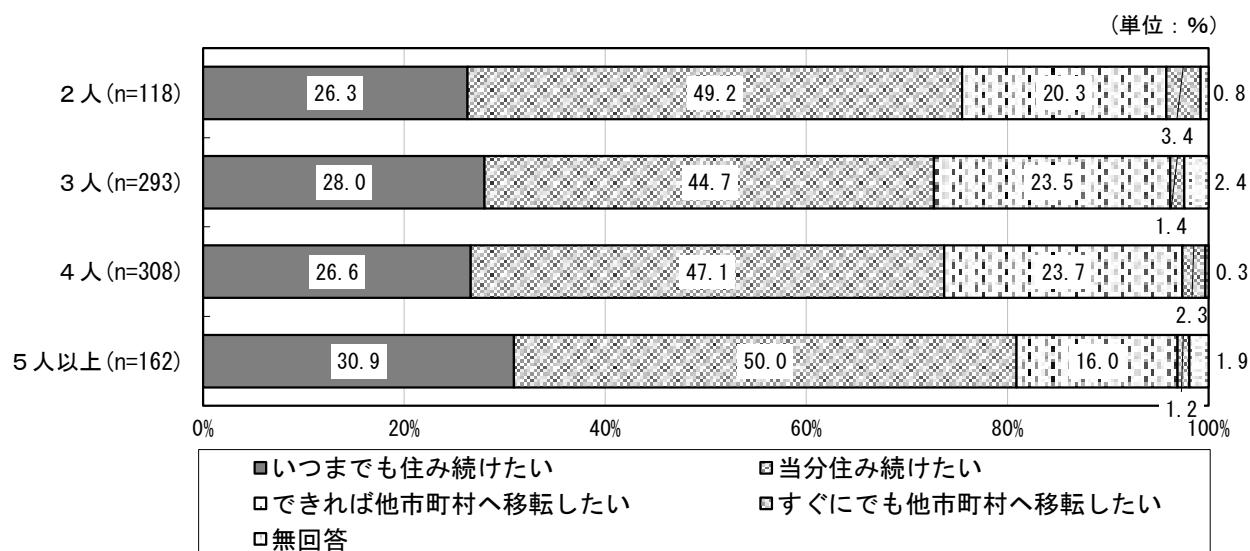


(9) 同居家族人数別（問 37-1）

家族構成が「単身」、「夫婦」以外の同居家族人数別にみると、“住み続けたい”は「5人以上」（80.9%）が最も高く、次いで「2人」（75.5%）、「4人」（73.7%）の順となっています。

一方、“住み続けたくない”は「4人」（26.0%）が最も高く、次いで「3人」（24.9%）、「2人」（23.7%）の順となっています。

■同居家族人数別：岸和田市への居住継続意向

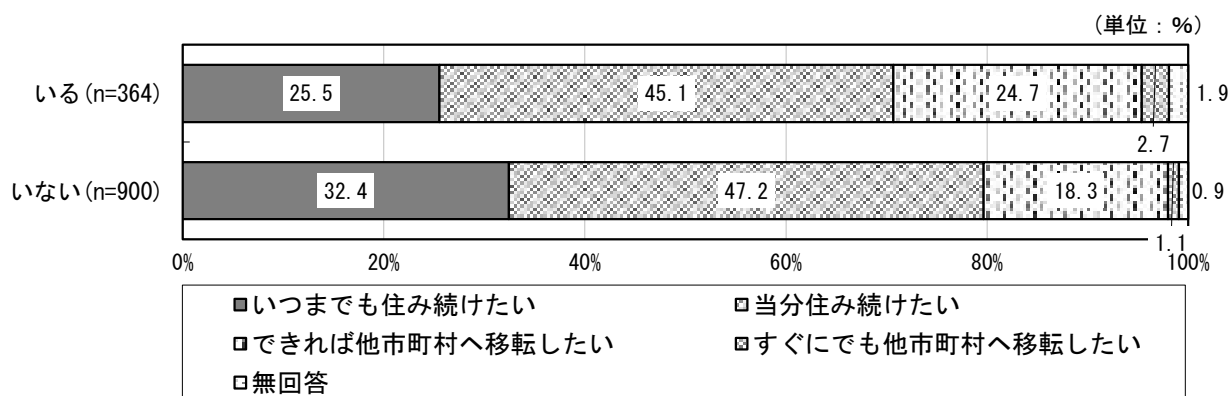


(10) 養育中の子どもの有無別（問 38）

養育中の子どもの有無別にみると、“住み続けたい”は「いる」（70.6%）、「いない」（79.6%）と「いない」が9.0ポイント高くなっています。

一方、“住み続けたくない”は「いる」（27.4%）、「いない」（19.4%）と「いる」が8.0ポイント高くなっています。

■養育中の子どもの有無別：岸和田市への居住継続意向

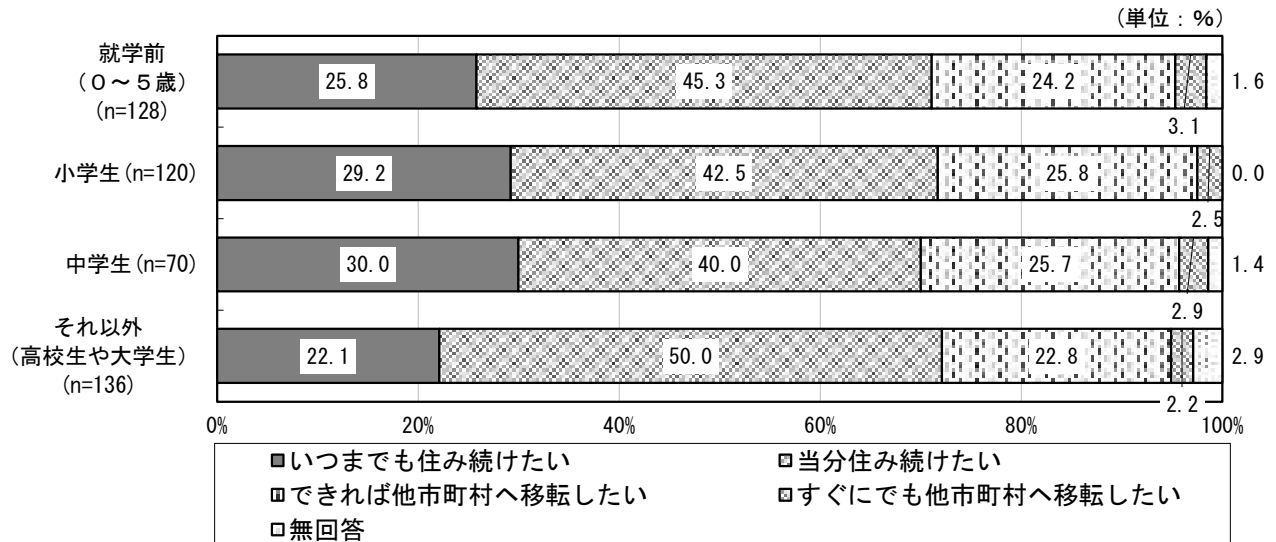


(11) 養育中の子どもの内訳別(問 38-1)

養育中の子どもの内訳別にみると、“住み続けたい”は「それ以外（高校生や大学生）」（72.1%）が最も高く、次いで「小学生」（71.7%）、「就学前（0～5歳）」（71.1%）の順となっています。

一方、“住み続けたくない”は「中学生」（28.6%）が最も高く、次いで「小学生」（28.3%）、「就学前（0～5歳）」（27.3%）の順となっています。

■養育中の子どもの内訳別（複数回答）：岸和田市への居住継続意向

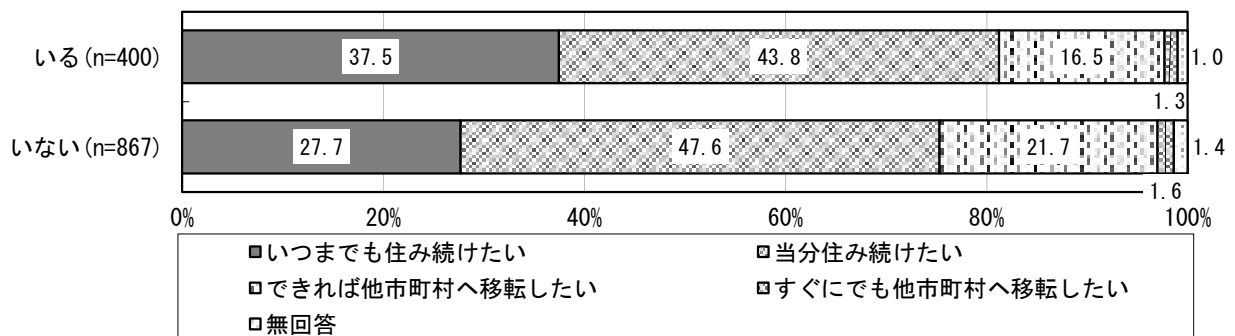


(12) 65歳以上の高齢者との同居の有無別(問 39)

65歳以上の高齢者との同居の有無別にみると、“住み続けたい”は「いる」（81.3%）、「いない」（75.3%）と「いる」が6.0ポイント高くなっています。

一方、“住み続けたくない”は「いる」（17.8%）、「いない」（23.3%）と「いない」が5.5ポイント高くなっています。

■65歳以上の高齢者との同居の有無別：岸和田市への居住継続意向

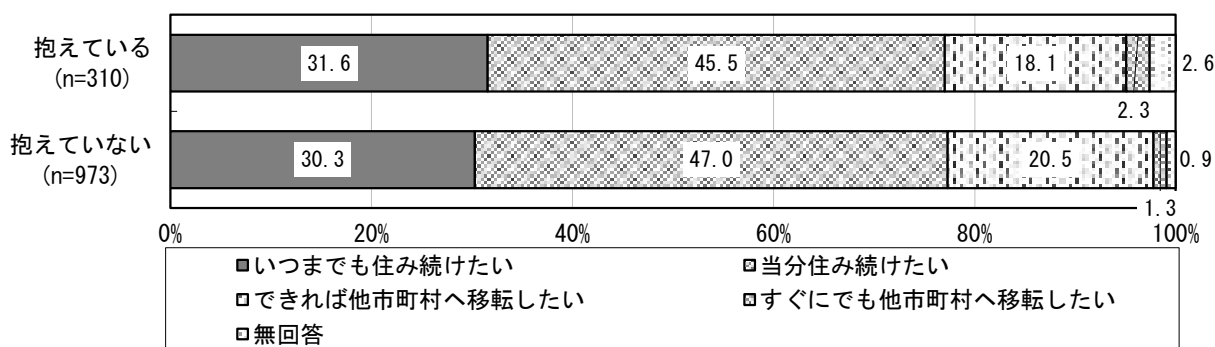


(13) 長期的な病気や障害の有無別（問 40）

長期的な病気や障害の有無別にみると、“住み続けたい”は「抱えている」（77.1%）、「抱えていない」（77.3%）と「抱えていない」が0.2ポイント高くなっています。

一方、“住み続けたくない”は「抱えている」（20.4%）、「抱えていない」（21.8%）と「抱えていない」が1.4ポイント高くなっています。

■長期的な病気や障害の有無別：岸和田市への居住継続意向

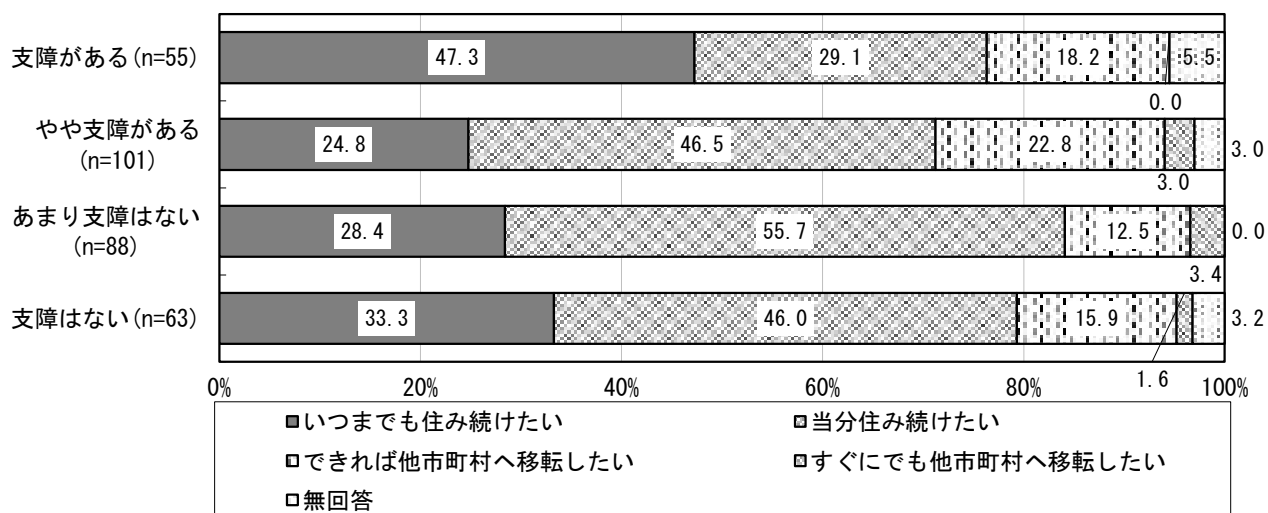


(14) 日常生活への支障の度合い別（問 40-1）

長期的な病気や障害による日常生活への支障の度合い別にみると、“住み続けたい”は「あまり支障はない」（84.1%）が最も高く、次いで「支障はない」（79.3%）、「支障がある」（76.4%）の順となっています。

一方、“住み続けたくない”は「やや支障がある」（25.8%）が最も高く、次いで「支障がある」（18.2%）、「支障はない」（17.5%）の順となっています。

■日常生活への支障の度合い別：岸和田市への居住継続意向

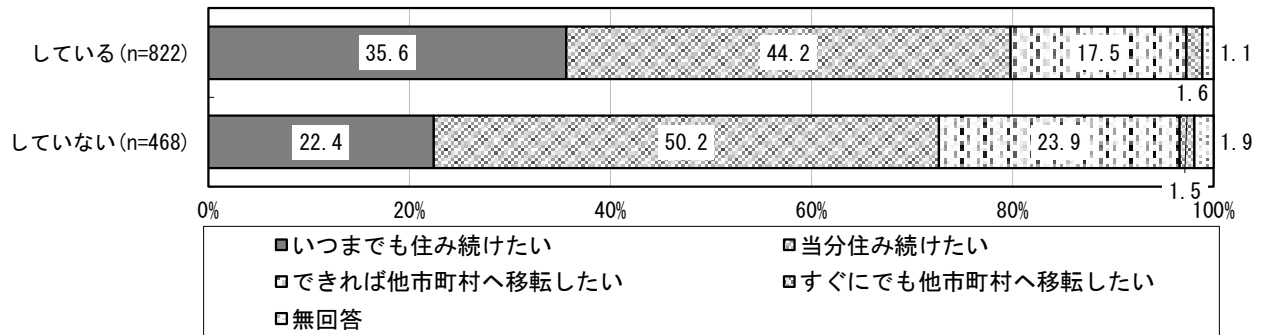


(15) 町会・自治会への加入の有無別（問 41）

町会・自治会への加入の有無別にみると、“住み続けたい”は「している」(79.8%)、「していない」(72.6%)と「している」が7.2ポイント高くなっています。

一方、“住み続けたくない”は「している」(19.1%)、「していない」(25.4%)と「していない」が6.3ポイント高くなっています。

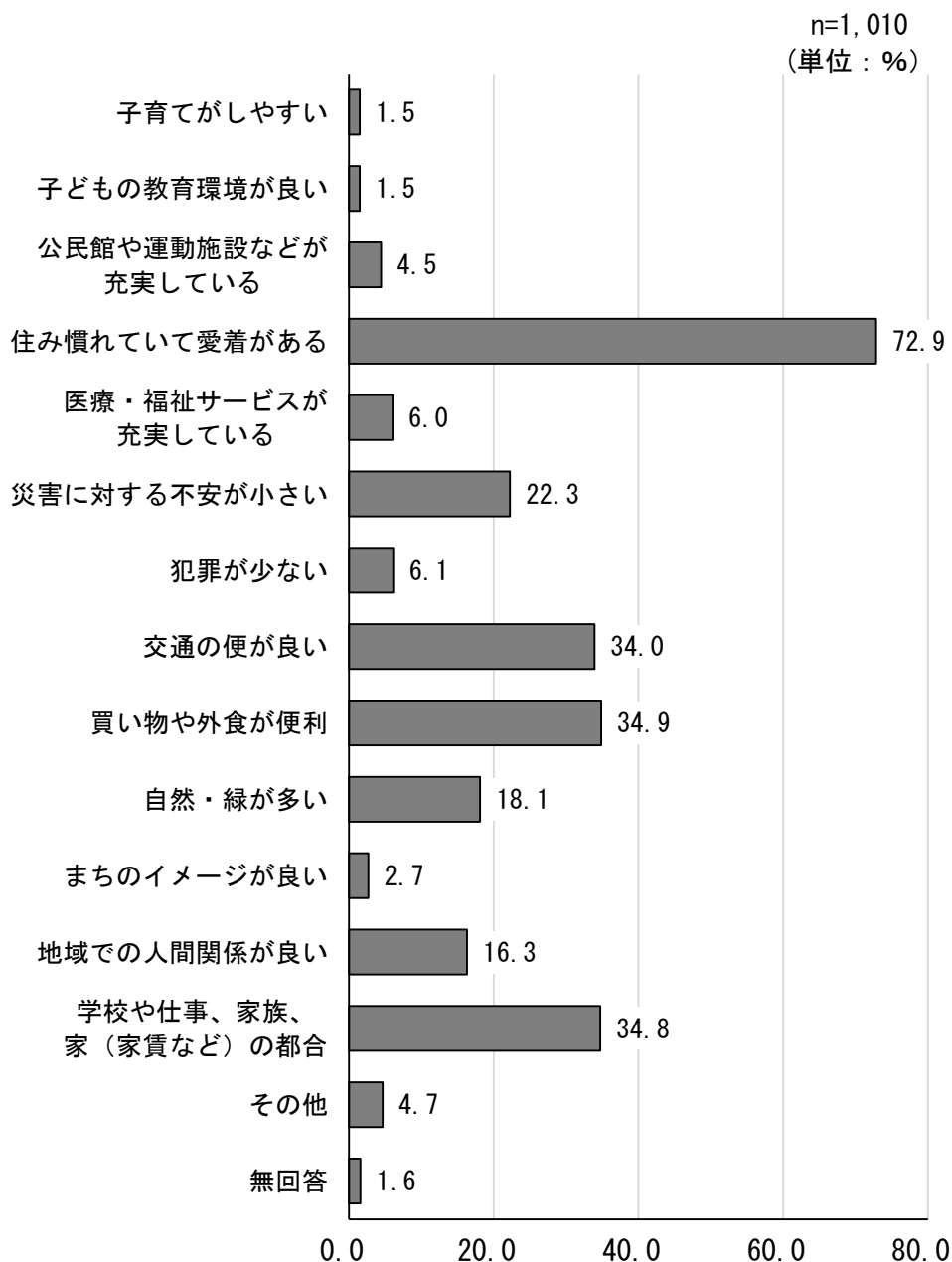
■町会・自治会への加入の有無別：岸和田市への居住継続意向



3-6.住み続けたいと思う理由

〔問2-1〕の住み続けたいと思う理由についてみると、「住み慣れていて愛着がある」(72.9%)が最も高く、次いで「買い物や外食が便利」(34.9%)、「学校や仕事、家族、家(家賃など)の都合」(34.8%)の順となっています。

■住み続けたいと思う理由（3つ以内で複数回答）



3-7.住み続けたいと思う理由の属性分析（上位3項目）

（1）1位の項目：住み慣れていて愛着がある

住み続けたいと思う理由の1位の「住み慣れていて愛着がある」について属性7項目別でみると、性別では「男性」（74.7%）、年齢4区分では「50～64歳」（77.6%）、居住地域では「葛城の谷地域」（77.8%）、出生地では「岸和田市」（85.2%）、居住年数では「20年以上」（80.3%）、養育中の子供の有無では「いない」（74.6%）、養育中の子供の内訳では「それ以外（高校生や大学生）」（71.7%）がそれぞれ最も高くなっています。

属性		実数	割合（%）
性別	男性 (n=466)	348	74.7
	女性 (n=499)	354	70.9
	無回答 (n=33)	24	72.7
年齢4区分	15～29歳 (n=190)	141	74.2
	30～49歳 (n=263)	174	66.2
	50～64歳 (n=343)	266	77.6
	65歳以上 (n=205)	148	72.2
居住地域	都市中核地域 (n=271)	210	77.5
	岸和田北部地域 (n=181)	127	70.2
	葛城の谷地域 (n=162)	126	77.8
	岸和田中部地域 (n=119)	86	72.3
	久米田地域 (n=129)	92	71.3
	牛滝の谷地域 (n=108)	76	70.4
出生地	岸和田市 (n=522)	445	85.2
	大阪府内（岸和田市を除く） (n=277)	172	62.1
	大阪府外 (n=202)	113	55.9
居住年数	20年以上 (n=768)	617	80.3
	10～19年 (n=132)	87	65.9
	5～9年 (n=42)	15	35.7
	5年未満 (n=60)	11	18.3
有無 養育中の 子供の	いる (n=257)	179	69.6
	いない (n=717)	535	74.6
子養育中の 子供の 内訳	就学前（0～5歳） (n=83)	45	54.2
	小学生 (n=90)	56	62.2
	中学生 (n=74)	46	62.2
	それ以外（高校生や大学生） (n=113)	81	71.7

(2) 2位の項目：買い物や外食が便利

住み続けたいと思う理由の2位の「買い物や外食が便利」について属性7項目別でみると、性別では「男性」(36.7%)、年齢4区分では「15～29歳」(39.5%)、居住地域では「岸和田北部地域」(41.4%)、出生地では「大阪府内（岸和田市を除く）」(45.8%)、居住年数では「5年未満」(56.7%)、養育中の子供の有無では「いる」(36.6%)、養育中の子供の内訳では「就学前（0～5歳）」(37.3%)がそれぞれ最も高くなっています。

属性		実数	割合 (%)
性別	男性 (n=466)	171	36.7
	女性 (n=499)	169	33.9
	無回答 (n=33)	10	30.3
年齢4区分	15～29歳 (n=190)	75	39.5
	30～49歳 (n=263)	96	36.5
	50～64歳 (n=343)	112	32.7
	65歳以上 (n=205)	65	31.7
居住地域	都市中核地域 (n=271)	85	31.4
	岸和田北部地域 (n=181)	75	41.4
	葛城の谷地域 (n=162)	57	35.2
	岸和田中部地域 (n=119)	43	36.1
	久米田地域 (n=129)	53	41.1
	牛滝の谷地域 (n=108)	21	19.4
出生地	岸和田市 (n=522)	145	27.8
	大阪府内（岸和田市を除く） (n=277)	127	45.8
	大阪府外 (n=202)	78	38.6
居住年数	20年以上 (n=768)	245	31.9
	10～19年 (n=132)	51	38.6
	5～9年 (n=42)	19	45.2
	5年未満 (n=60)	34	56.7
有無 養育中の 子供の 有無	いる (n=257)	94	36.6
	いない (n=717)	248	34.6
子養育中の 子供の 内訳	就学前（0～5歳） (n=83)	31	37.3
	小学生 (n=90)	29	32.2
	中学生 (n=74)	24	32.4
	それ以外（高校生や大学生） (n=113)	39	34.5

(3) 3位の項目：学校や仕事、家族、家（家賃など）の都合

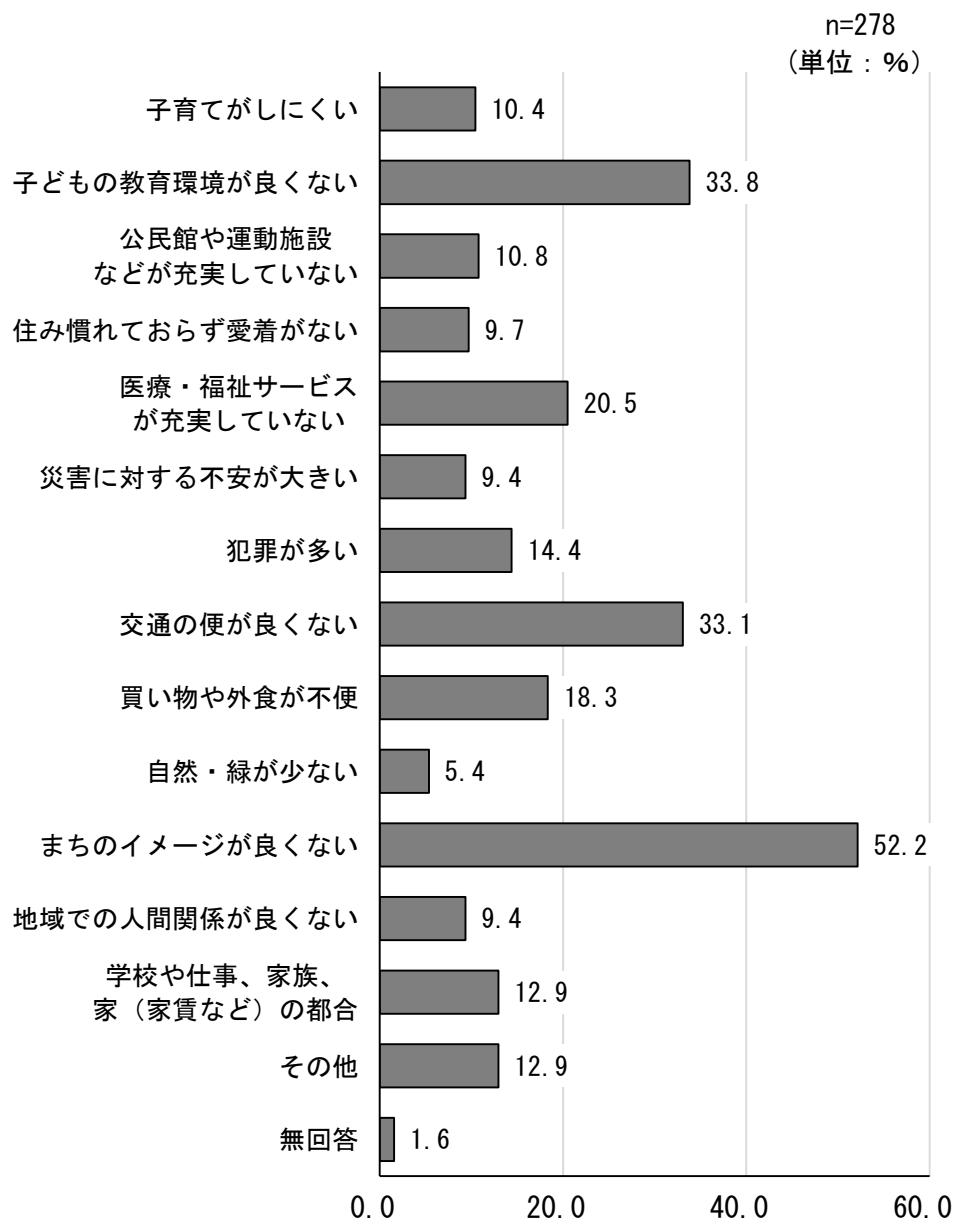
住み続けたいと思う理由の3位の「学校や仕事、家族、家（家賃など）の都合」について属性7項目別でみると、性別では「女性」（35.9%）、年齢4区分では「30～49歳」（53.2%）、居住地域では「岸和田北部地域」（39.8%）、出生地では「大阪府内（岸和田市を除く）」（37.9%）、居住年数では「5年未満」（61.7%）、養育中の子供の有無では「いる」（50.2%）、養育中の子供の内訳では「小学生」（60.0%）がそれぞれ最も高くなっています。

属性			実数	割合（%）
性別	男性	(n=466)	153	32.8
	女性	(n=499)	179	35.9
	無回答	(n=33)	16	48.5
年齢4区分	15～29歳	(n=190)	74	38.9
	30～49歳	(n=263)	140	53.2
	50～64歳	(n=343)	111	32.4
	65歳以上	(n=205)	25	12.2
居住地域	都市中核地域	(n=271)	87	32.1
	岸和田北部地域	(n=181)	72	39.8
	葛城の谷地域	(n=162)	49	30.2
	岸和田中部地域	(n=119)	38	31.9
	久米田地域	(n=129)	46	35.7
	牛滝の谷地域	(n=108)	40	37.0
出生地	岸和田市	(n=522)	180	34.5
	大阪府内（岸和田市を除く）	(n=277)	105	37.9
	大阪府外	(n=202)	64	31.7
居住年数	20年以上	(n=768)	238	31.0
	10～19年	(n=132)	55	41.7
	5～9年	(n=42)	20	47.6
	5年未満	(n=60)	37	61.7
有子養育中の 無子の	いる	(n=257)	129	50.2
	いない	(n=717)	216	30.1
子養育中の 供の内訳	就学前（0～5歳）	(n=83)	47	56.6
	小学生	(n=90)	54	60.0
	中学生	(n=74)	38	51.4
	それ以外（高校生や大学生）	(n=113)	43	38.1

3-8.住み続けたくないと思う理由

〔問2-2〕の住み続けたくないと思う理由についてみると、「まちのイメージが良くない」(52.2%)が最も高く、次いで「子どもの教育環境が良くない」(33.8%)、「交通の便が良くない」(33.1%)の順となっています。

■住み続けたくないと思う理由（3つ以内で複数回答）



3-9.住み続けたくないと思う理由の属性分析（上位3項目）

（1）1位の項目：まちのイメージが悪い

住み続けたくないと思う理由の1位の「まちのイメージが悪い」について属性7項目別でみると、性別では「男性」（52.3%）、年齢4区分では「15～29歳」（52.9%）、居住地域では「岸和田中部地域」（60.0%）、出生地では「岸和田市」（53.2%）、居住年数では「10～19年」（59.3%）、養育中の子供の有無では「いない」（54.3%）、養育中の子供の内訳では「それ以外（高校生や大学生）」（58.8%）がそれぞれ最も高くなっています。

属性		実数	割合（%）
性別	男性 (n=111)	58	52.3
	女性 (n=146)	74	50.7
	無回答 (n=18)	10	55.6
年齢4区分	15～29歳 (n=68)	36	52.9
	30～49歳 (n=103)	54	52.4
	50～64歳 (n=77)	39	50.6
	65歳以上 (n=27)	13	48.1
居住地域	都市中核地域 (n=58)	32	55.2
	岸和田北部地域 (n=47)	25	53.2
	葛城の谷地域 (n=45)	22	48.9
	岸和田中部地域 (n=25)	15	60.0
	久米田地域 (n=42)	22	52.4
	牛滝の谷地域 (n=50)	24	48.0
出生地	岸和田市 (n=141)	75	53.2
	大阪府内（岸和田市を除く） (n=77)	38	49.4
	大阪府外 (n=57)	29	50.9
居住年数	20年以上 (n=183)	95	51.9
	10～19年 (n=54)	32	59.3
	5～9年 (n=21)	8	38.1
	5年未満 (n=17)	7	41.2
有無 養育中の 子供の 有無	いる (n=100)	48	48.0
	いない (n=175)	95	54.3
子養育中の 子供の 内訳	就学前（0～5歳） (n=35)	16	45.7
	小学生 (n=34)	15	44.1
	中学生 (n=20)	11	55.0
	それ以外（高校生や大学生） (n=34)	20	58.8

(2) 2位の項目：子どもの教育環境が良くない

住み続けたくないと思う理由の2位の「子どもの教育環境が良くない」について属性7項目別でみると、性別では「女性」(34.9%)、年齢4区分では「30～49歳」(51.5%)、居住地域では「都市中核地域」(44.8%)、出生地では「岸和田市」(36.9%)、居住年数では「5～9年」(52.4%)、養育中の子供の有無では「いる」(57.0%)、養育中の子供の内訳では「小学生」(70.6%)がそれぞれ最も高くなっています。

属性		実数	割合 (%)
性別	男性 (n=111)	38	34.2
	女性 (n=146)	51	34.9
	無回答 (n=18)	4	22.2
年齢4区分	15～29歳 (n=68)	22	32.4
	30～49歳 (n=103)	53	51.5
	50～64歳 (n=77)	14	18.2
	65歳以上 (n=27)	4	14.8
居住地域	都市中核地域 (n=58)	26	44.8
	岸和田北部地域 (n=47)	16	34.0
	葛城の谷地域 (n=45)	14	31.1
	岸和田中部地域 (n=25)	6	24.0
	久米田地域 (n=42)	17	40.5
	牛滝の谷地域 (n=50)	14	28.0
出生地	岸和田市 (n=141)	52	36.9
	大阪府内（岸和田市を除く） (n=77)	27	35.1
	大阪府外 (n=57)	14	24.6
居住年数	20年以上 (n=183)	58	31.7
	10～19年 (n=54)	19	35.2
	5～9年 (n=21)	11	52.4
	5年未満 (n=17)	6	29.4
有無 養育中の 子供の	いる (n=100)	57	57.0
	いない (n=175)	36	20.6
子養育中の 子供の 内訳	就学前（0～5歳） (n=35)	20	57.1
	小学生 (n=34)	24	70.6
	中学生 (n=20)	13	65.0
	それ以外（高校生や大学生） (n=34)	18	52.9

(3) 3位の項目：交通の便が良くない

住み続けたくないと思う理由の3位の「交通の便が良くない」について属性7項目別でみると、性別では「女性」(38.4%)、年齢4区分では「15～29歳」(41.2%)、居住地域では「牛滝の谷地域」(68.0%)、出生地では「岸和田市」(38.3%)、居住年数別では「20年以上」(35.5%)、養育中の子供の有無では「いない」(37.7%)、養育中の子供の内訳では「それ以外（高校生や大学生）」(44.1%)がそれぞれ最も高くなっています。

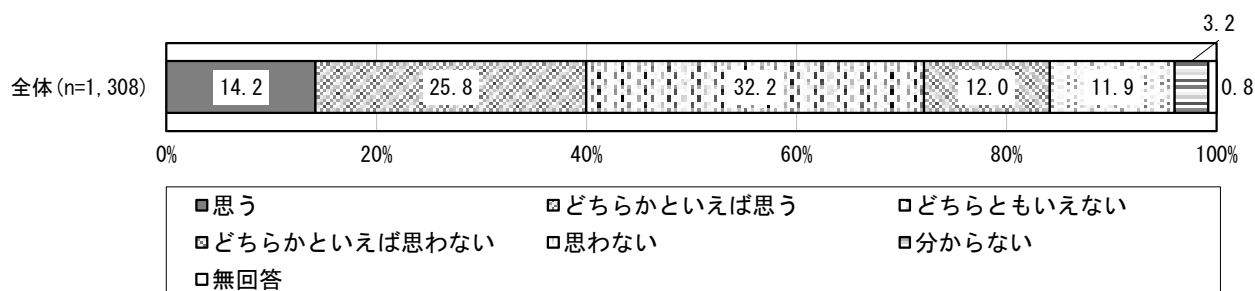
属性		実数	割合 (%)
性別	男性 (n=111)	30	27.0
	女性 (n=146)	56	38.4
	無回答 (n=18)	6	33.3
年齢4区分	15～29歳 (n=68)	28	41.2
	30～49歳 (n=103)	25	24.3
	50～64歳 (n=77)	30	39.0
	65歳以上 (n=27)	9	33.3
居住地域	都市中核地域 (n=58)	5	8.6
	岸和田北部地域 (n=47)	9	19.1
	葛城の谷地域 (n=45)	15	33.3
	岸和田中部地域 (n=25)	12	48.0
	久米田地域 (n=42)	13	31.0
	牛滝の谷地域 (n=50)	34	68.0
出生地	岸和田市 (n=141)	54	38.3
	大阪府内（岸和田市を除く） (n=77)	23	29.9
	大阪府外 (n=57)	15	26.3
居住年数	20年以上 (n=183)	65	35.5
	10～19年 (n=54)	17	31.5
	5～9年 (n=21)	5	23.8
	5年未満 (n=17)	5	29.4
有子養育中の 無子の	いる (n=100)	25	25.0
	いない (n=175)	66	37.7
子養育中の 供の内訳	就学前（0～5歳） (n=35)	4	11.4
	小学生 (n=34)	7	20.6
	中学生 (n=20)	6	30.0
	それ以外（高校生や大学生） (n=34)	15	44.1

3-10. 岸和田のまちへの誇り

〔問3〕の岸和田のまちへの誇りについてみると、「思う」(14.2%)と「どちらかといえば思う」(25.8%)をあわせた“誇りに思う”は、40.0%となっており、4割の方が岸和田を誇りに思っていることがわかります。

一方、「どちらかといえば思わない」(12.0%)と「思わない」(11.9%)をあわせた“誇りに思わない”は、23.9%となっています。

■岸和田のまちへの誇り



3-11. 問2の「住み続けたい」と「他の設問」との相関関係

(1) 相関関係の高い上位10項目

〔問2〕の「住み続けたい」の結果と、全体の調査結果との相関関係から、市民ニーズと実施すべき施策の傾向を分析しました。

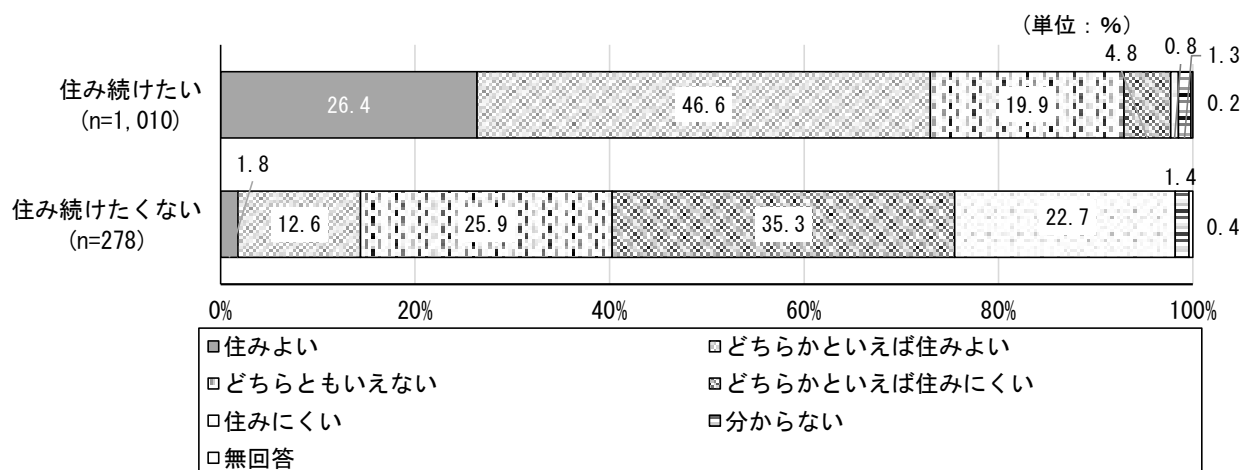
■ 「住み続けたい」と全体調査結果との相関関係（上位10項目）

順位	設問番号	設問内容	相関係数
1	問1	岸和田市の住みやすさ	0.61584
2	問3	岸和田のまちへの誇り	0.53059
3	問15	地元商店や商店街での買い物の有無	0.16246
4	問16	地元産の食品の優先購入	0.14860
5	問41	町会・自治会への加入の有無	0.12527
6	問9	町会・自治会活動の認知	0.12425
7	問34	通勤地・通学地	0.12386
8	問36	居住年数	0.11458
9	問23	地域巡回バスの認知	0.10592
10	問25	地区市民協議会活動の認知	0.09908

(2) 1位と相関関係の高い項目との相関

居住継続意向と「岸和田市の住みやすさ」との相関をみると、「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」をあわせた『住みよい』の割合は、『住み続けたい』と回答した市民では73.0%で、『住み続けたくない』と回答した市民の14.4%より58.6ポイント上回っています。

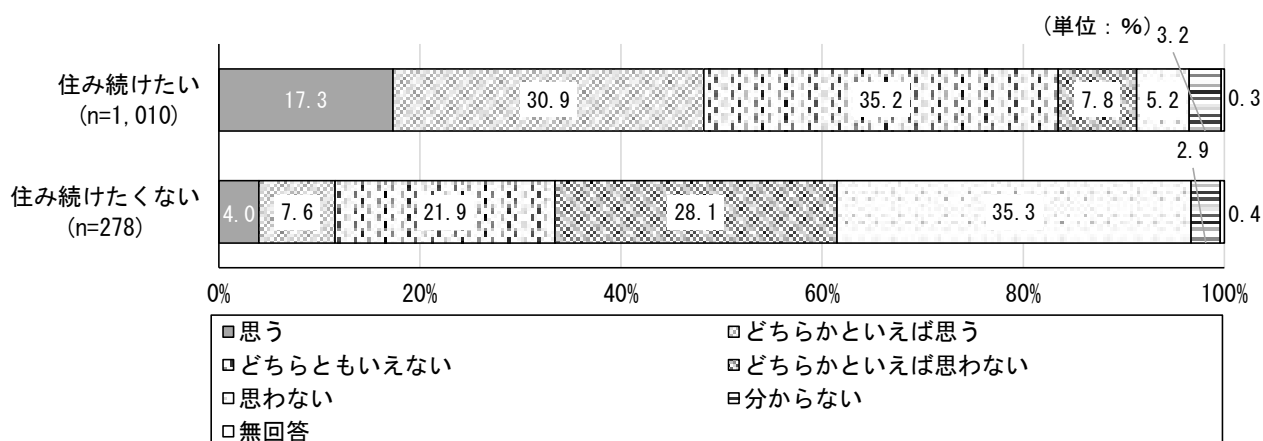
■「住み続けたい」と「岸和田市の住みやすさ」との相関



(3) 2位と相関関係の高い項目との相関

居住継続意向と「岸和田のまちへの誇り」との相関をみると、「思う」と「どちらかといえば思う」をあわせた『誇りに思う』の割合は、『住み続けたい』と回答した市民では48.2%で、『住み続けたくない』と回答した市民の11.6%より36.6ポイント上回っています。

■「住み続けたい」と「岸和田市への誇り」との相関



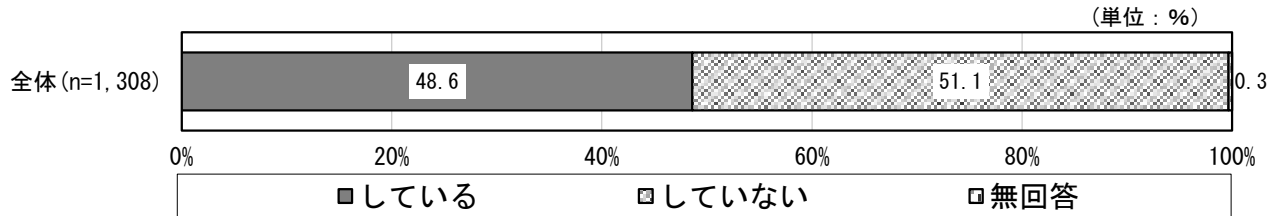
第4章 日常生活などの状況

第4章 日常生活などの状況

(1) スポーツや運動の有無（問4）

〔問4〕のスポーツや運動の有無についてみると、「していない」（51.0%）、「している」（48.6%）と「していない」が2.5ポイント高くなっています。

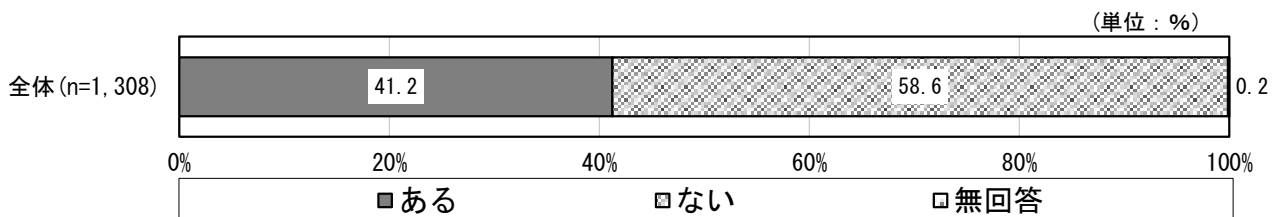
■スポーツや運動の有無



(2) 芸術・文化活動の有無（問5）

〔問5〕の芸術・文化活動の有無についてみると、「ない」（58.6%）、「ある」（41.2%）と「ない」が17.4ポイント高くなっています。

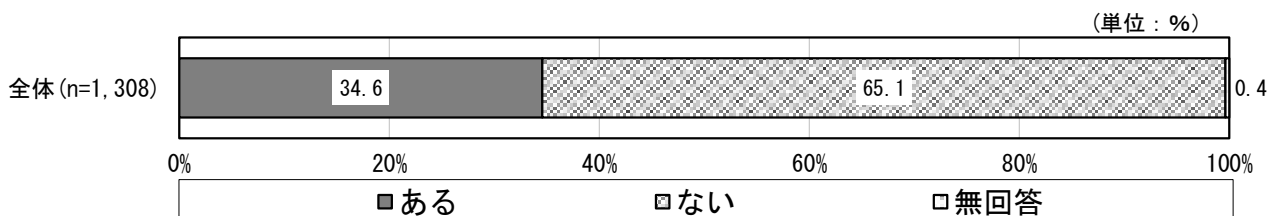
■芸術・文化活動の有無



(3) 郷土の歴史や文化財との接触（問6）

〔問6〕の郷土の歴史や文化財との接触についてみると、「ない」（65.1%）、「ある」（34.6%）と「ない」が30.5ポイント高くなっています。

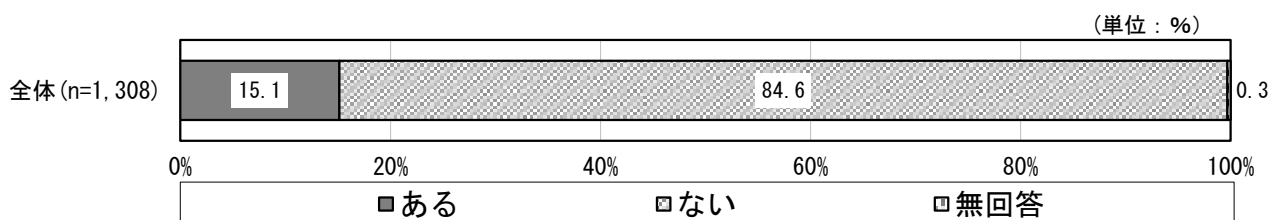
■郷土の歴史や文化財との接触



(4) 自分の経験や特技での地域参加（問7）

〔問7〕の自分の経験や特技での地域参加についてみると、「ない」（84.6%）、「ある」（15.1%）と「ない」が69.5ポイント高くなっています。

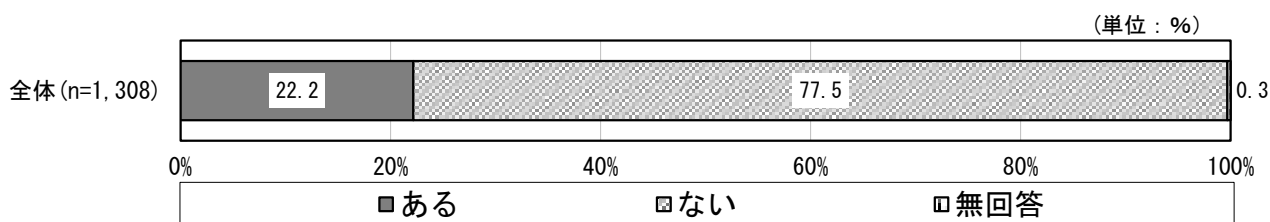
■自分の経験や特技での地域参加



(5) ボランティア活動や自治活動への参加（問8）

〔問8〕のボランティア活動や自治活動への参加についてみると、「ない」（77.5%）、「ある」（22.2%）と「ない」が55.3ポイント高くなっています。

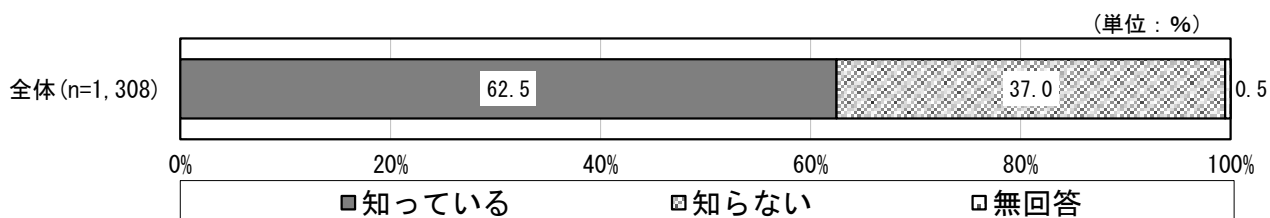
■ボランティア活動や自治活動への参加



(6) 町会・自治会活動の認知（問9）

〔問9〕の町会・自治会活動の認知についてみると、「知っている」（62.5%）、「知らない」（37.0%）と「知っている」が25.5ポイント高くなっています。

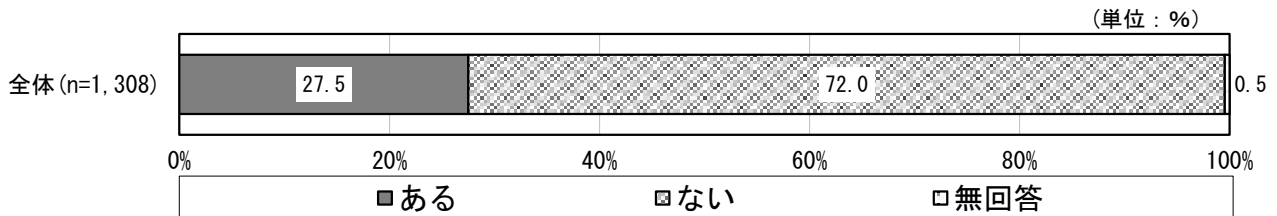
■町会・自治会活動の認知



(7) ごみ拾いや美化活動の有無 (問 10)

〔問 10〕のごみ拾いや美化活動の有無についてみると、「ない」(72.0%)、「ある」(27.5%)と「ない」が44.5ポイント高くなっています。

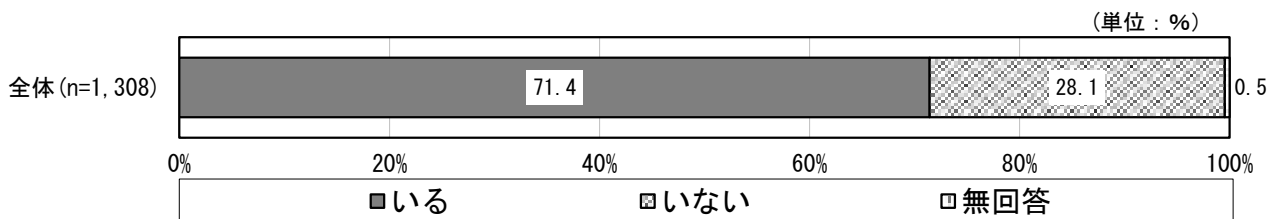
■ごみ拾いや美化活動の有無



(8) ごみの減量化やリサイクルへの取組 (問 11)

〔問 11〕のごみの減量化やリサイクルへの取組についてみると、「いる」(71.4%)、「いない」(28.1%)と「いる」が43.3ポイント高くなっています。

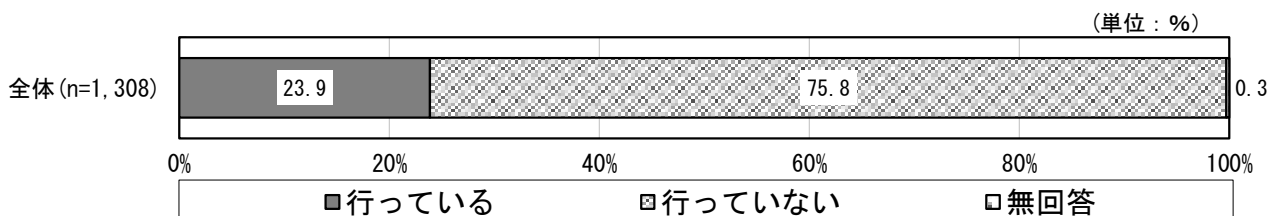
■ごみの減量化やリサイクルへの取組



(9) 省エネルギーの取組や再生可能エネルギーの活用の有無 (問 12)

〔問 12〕の省エネルギーの取組や再生可能エネルギーの活用の有無についてみると、「行っていない」(75.8%)、「行っている」(23.9%)と「行っていない」が51.9ポイント高くなっています。

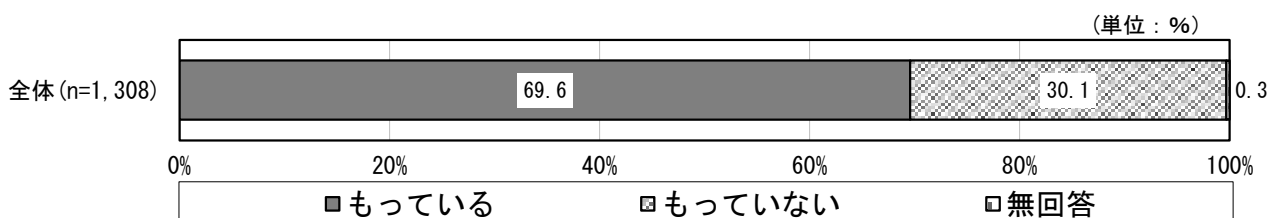
■省エネルギーの取組や再生可能エネルギーの活用の有無



(10) かかりつけ医の有無（問 13）

〔問 13〕のかかりつけ医の有無についてみると、「もっている」（69.6%）、「もっていない」（30.1%）と「もっている」が39.5ポイント高くなっています。

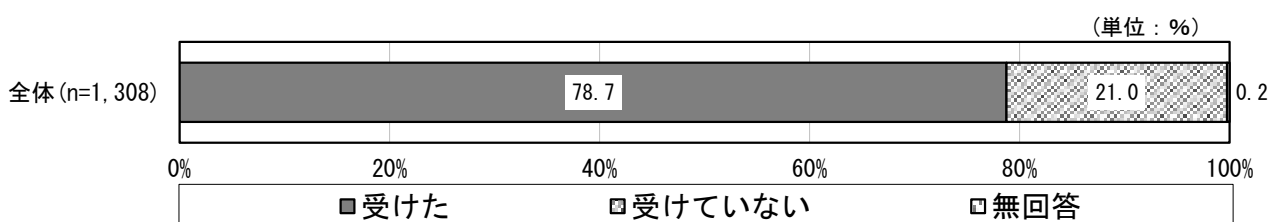
■かかりつけ医の有無



(11) 健康診断受診の有無（問 14）

〔問 14〕の健康診断受診の有無についてみると、「受けた」（78.7%）、「受けていない」（21.0%）と「受けた」が57.7ポイント高くなっています。

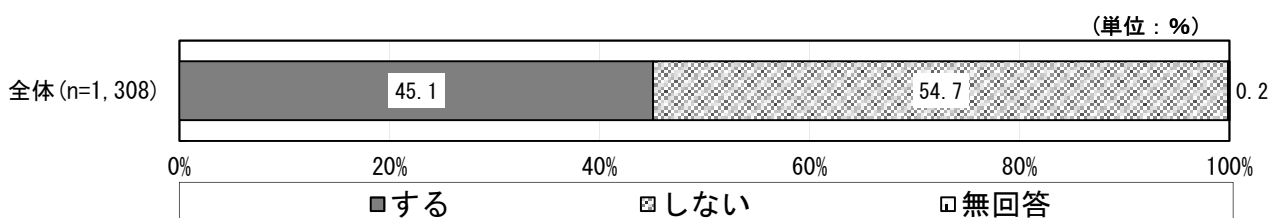
■健康診断受診の有無



(12) 地元商店や商店街での買い物の有無（問 15）

〔問 15〕の地元商店や商店街での買い物の有無についてみると、「しない」（54.7%）、「する」（45.1%）と「しない」が9.6ポイント高くなっています。

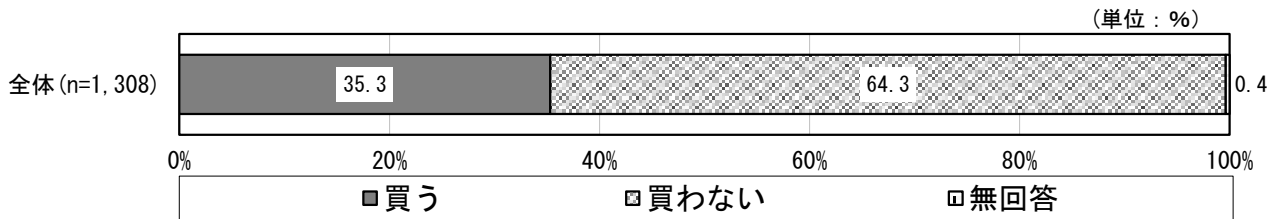
■地元商店や商店街での買い物の有無



(13) 地元産の食品の優先購入（問 16）

〔問 16〕の地元産の食品の優先購入についてみると、「買わない」（64.3%）、「買う」（35.3%）と「買わない」が29.0ポイント高くなっています。

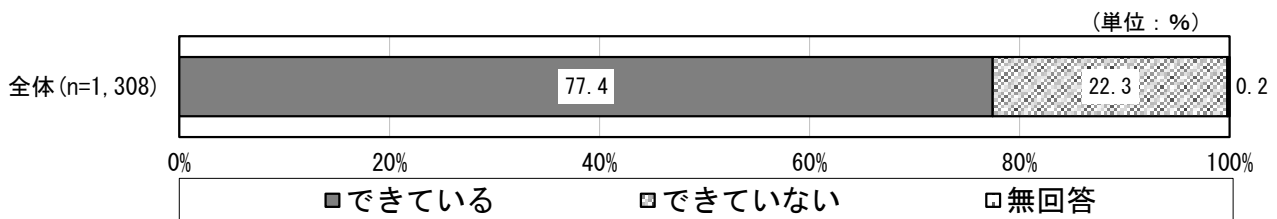
■地元産の食品の優先購入



(14) 自由に使える余暇時間確保の有無（問 17）

〔問 17〕の自由に使える余暇時間確保の有無についてみると、「できている」（77.4%）、「できていない」（22.3%）と「できている」が55.1ポイント高くなっています。

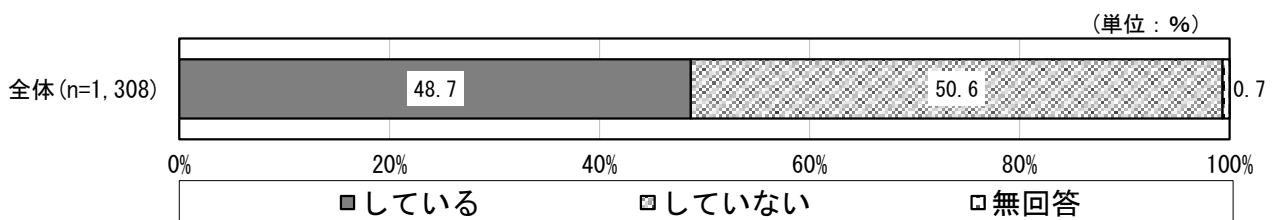
■自由に使える余暇時間確保の有無



(15) 災害時の非常持出し品や食糧準備の有無（問 18）

〔問 18〕の災害時の非常持出し品や食糧準備の有無についてみると、「していない」（50.6%）、「している」（48.7%）と「していない」が1.9ポイント高くなっています。

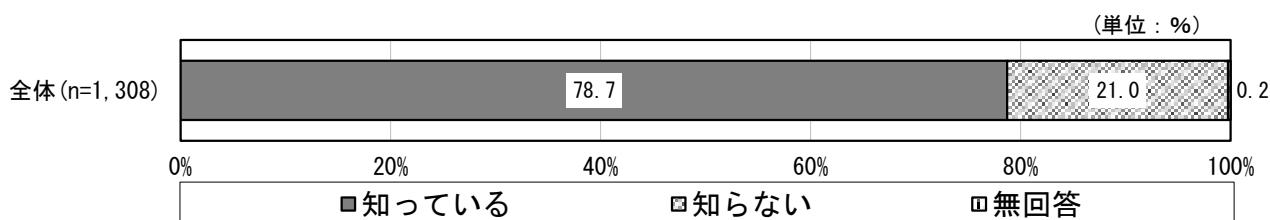
■災害時の非常持出し品や食糧準備の有無



(16) 緊急避難場所の認知 (問 19)

〔問 19〕の緊急避難場所の認知についてみると、「知っている」(78.7%)、「知らない」(21.0%)と「知っている」が57.7ポイント高くなっています。

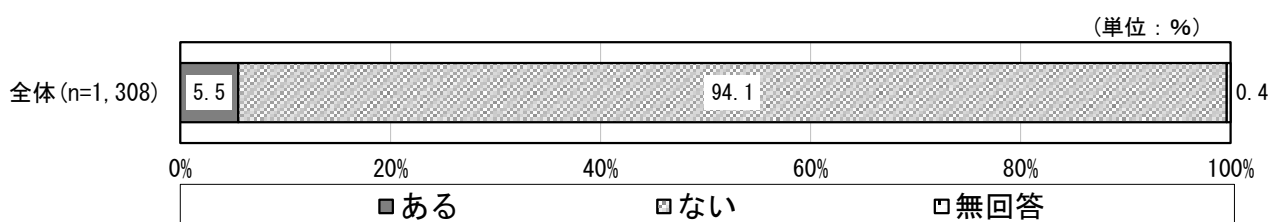
■緊急避難場所の認知



(17) 消費者トラブル遭遇の有無 (問 20)

〔問 20〕の消費者トラブル遭遇の有無についてみると、「ない」(94.1%)、「ある」(5.5%)と「ない」が88.6ポイント高くなっています。

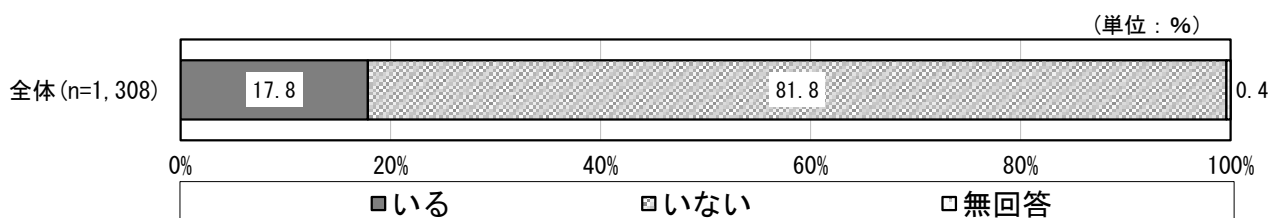
■消費者トラブル遭遇の有無



(18) 騒音や大気汚染の被害の有無 (問 21)

〔問 21〕の騒音や大気汚染の被害に悩まされているかの有無についてみると、「いない」(81.8%)、「いる」(17.8%)と「いない」が64.0ポイント高くなっています。

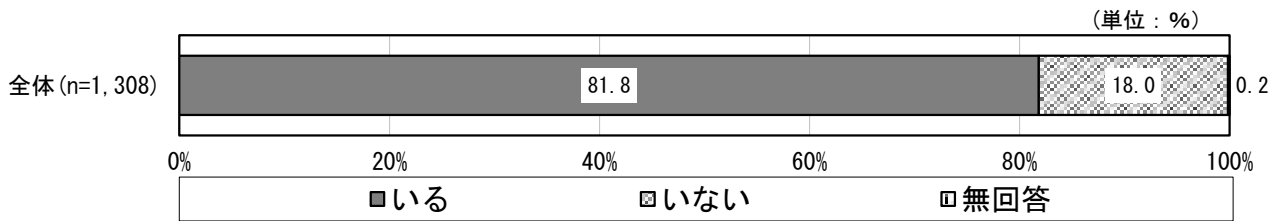
■騒音や大気汚染の被害の有無



(19) 規則正しい食生活の心がけの有無（問 22）

〔問 22〕の規則正しい食生活の心がけの有無についてみると、「いる」（81.8%）、「いない」（18.0%）と「いる」が63.8ポイント高くなっています。

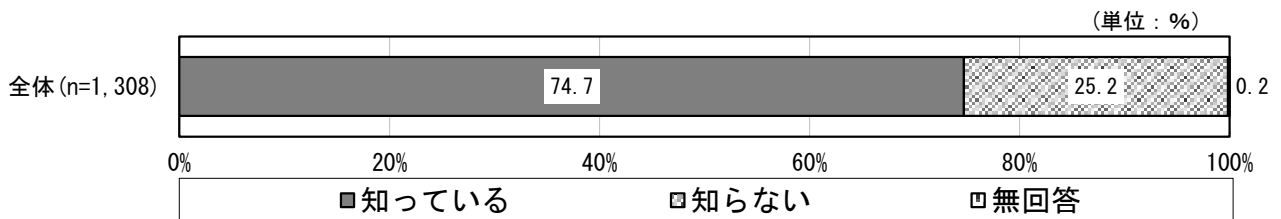
■規則正しい食生活の心がけの有無



(20) 地域巡回バスの認知（問 23）

〔問 23〕の地域巡回バスの認知についてみると、「知っている」（74.7%）、「知らない」（25.2%）と「知っている」が49.5ポイント高くなっています。

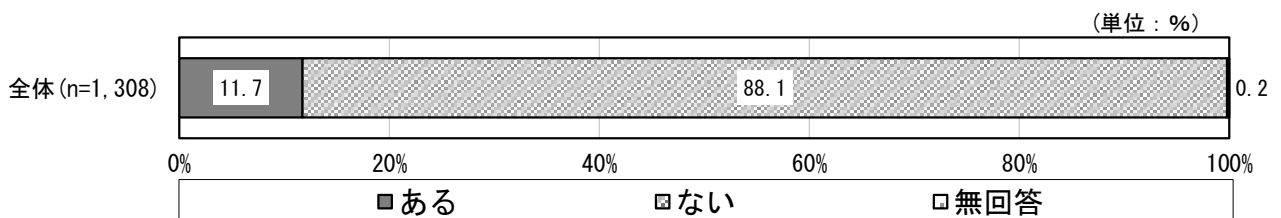
■地域巡回バスの認知



(21) 地域巡回バス利用の有無（問 24）

〔問 24〕の地域巡回バス利用の有無についてみると、「ない」（88.1%）、「ある」（11.7%）と「ない」が76.4ポイント高くなっています。

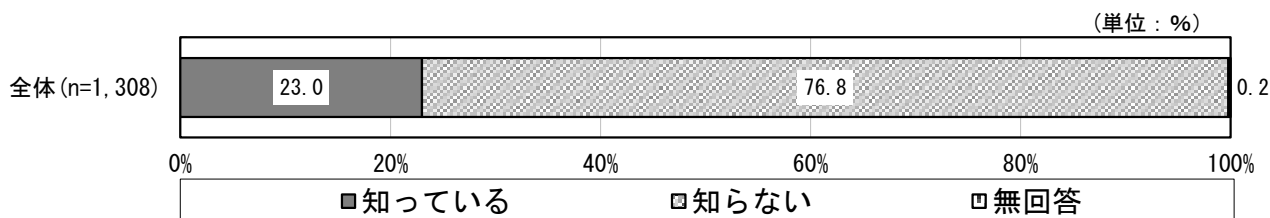
■地域巡回バス利用の有無



(22) 地区市民協議会活動の認知 (問 25)

〔問 25〕の地区市民協議会活動の認知についてみると、「知らない」(76.8%)、「知っている」(23.0%)と「知らない」が53.8ポイント高くなっています。

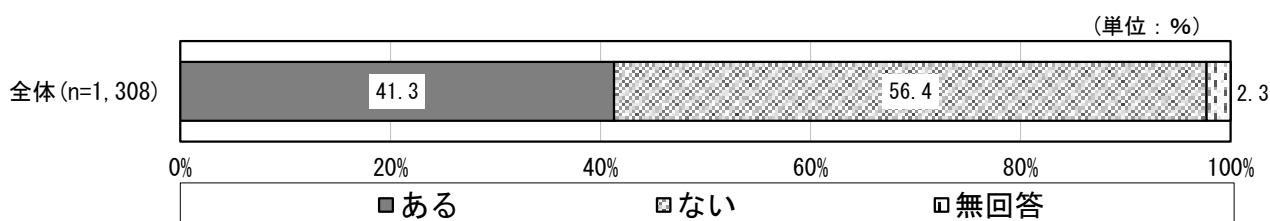
■地区市民協議会活動の認知



(23) デジタル技術を活用して行政手続きを行ったかの有無 (問 26)

〔問 26〕のデジタル技術を活用して行政手続きを行ったかの有無についてみると、「ない」(56.4%)、「ある」(41.3%)と「ない」が15.1ポイント高くなっています。

■デジタル技術を活用して行政手続きを行ったかの有無



第5章 総合計画の施策と達成度

第5章 総合計画の施策と達成度

5-1. 第1期基本計画の施策体系と関係設問

基本目標	施策体系		関係設問	
	個別目標	個別目標の方向性	施策指標 (施策関連)	満足度
岸和田の次世代を育むまち	安心して子どもを生み、育てられている	妊産婦や乳幼児の切れ目のない健康づくりを進める	—	問 28-1
		妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減を進める	問 27-1 ウ 問 27-2 タ	問 28-2
	働きながら子育てができています	保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくりを進める	問 27-2 チ	問 28-3
	子どもの健康と安全が保たれている	健診などによる疾病の早期発見・予防など子どもの健康づくりを進める	—	問 28-4
		食育や体力づくりなど子どもの健康な身体づくりを進める	—	問 28-5
		登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくりを進める	問 27-2 ツ	問 28-6
		障害のある子どもの発達支援とともに、家庭生活での負担軽減を進める	—	問 28-7
		育てにくさを感じる親への支援や、児童虐待に関する相談の充実、早期発見・早期対応を進める	—	問 28-8
	子どもの個性や能力が豊かに育まれている	適正な就学・就園や経済的な支援により教育機会を確保する	—	問 28-9
		子ども一人ひとりが輝くための適切な教育支援を行う	問 27-2 テ	問 28-10
		学校園の適切な維持管理や魅力ある運営を行う	—	問 28-11
		地域と連携し、子どもの社会的な心を育む	—	問 28-12
		地域の産業を担う人材育成を進める	—	問 28-13
	生涯にわたる能力づくりが進められ、活かされている	様々な学びの活動や知識、経験の活用を進めるとともに、コミュニティのつながりを創出する	問 7	問 28-14
		スポーツへの親しみや参画の向上を図るとともに、スポーツができる環境づくりを進める	問 4	問 28-15
		芸術や文化への親しみや参画の機会を通して、心の豊かさの醸成を図る	問 5	問 28-16
	誰もが社会参加し、活躍できる場がつけられている	働きたい人への就労機会の確保を進める	問 27-1 ク	問 28-17
		市内事業所の労働環境の向上を進める	問 17 問 27-1 イ 問 27-1 ケ	問 28-18
		障害者の就労支援の充実と生きがいづくりを進める	問 27-1 ア	問 28-19
		高齢者の雇用促進と生きがいづくりを進める	問 27-1 ア	問 28-20
	郷土の歴史や文化が引き継がれている	郷土の歴史や文化に触れる機会をつくる	問 6	問 28-21
		岸和田の歴史や文化財の保存・活用を進める	問 27-1 コ	問 28-22

施策体系			関係設問	
基本目標	個別目標	個別目標の方向性	施策指標 (施策関連)	満足度
健康で自分らしく生きられるまち	健康意識の向上とともに、介護予防が進められ、心身の健康が維持・増進している	健康意識の向上や重症化予防など疾病予防を進める	問 14 問 22	問 28-23
	医療サービスを受ける環境が整うとともに、緊急時にも医療が受けられる状態になっている	医療体制の充実により、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくりを進める	問 13	問 28-24
	平和で、多様な価値観が尊重され、他者への理解が促進し、自分らしく生活できる環境が整っている	個々の人権や多様な価値観の尊重意識を広げるとともに、多文化に触れる機会を創出し、他者理解を促進する	問 27-1 ス	問 28-26
		男女共同参画の取組を進める	問 27-1 セ	問 28-27
		みんなが使いやすいデザインに配慮した施設環境をつくる	問 27-2 ナ	問 28-28
		平和への意識向上を進める	問 27-1 シ	問 28-25
	地域で支えあい、助けあえる関係が築けている	常日頃から、地域の中でお互いに助けあえる地域共生社会の関係づくりを進める	問 27-2 ヒ	問 28-29
	介護や医療保険、障害者支援の福祉サービスなど、誰もが必要な支援を受け安心できている	その人らしい自立した生活につながる介護サービスを提供する	—	問 28-30
		医療保険制度を適切に運営する	—	問 28-31
		高齢者が自分らしく生活できる環境づくりを進める	問 27-2 ハ	問 28-32
		障害者が自分らしく生活できる環境づくりを進める	—	問 28-33
		生活困窮者などに必要な支援を行う	—	問 28-35 問 28-36
		住宅困窮者に居住支援を行う	—	問 28-34
安全で安心して暮らせるまち	事故や犯罪などに巻き込まれない生活が送れている	交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくりを進める	問 27-2 ト	問 28-37
		空き家対策や建築物の安全性の確保を行うとともに、良好な住環境の創出を進める	—	問 28-38
		防犯意識の向上とともに、犯罪防止につながる環境づくりを進める	—	問 28-39
		安心してサービスや物の購入などの消費行動が行える環境づくりを進める	問 20	問 28-40
	災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている	災害被害を最小限にする強靱な基盤の整備を計画的に進める	—	問 28-41
		発災時にみんなが迅速かつ柔軟に対応できる環境づくりを進める	問 18 問 19	問 28-42
		火災予防や火災被害を最小限にする取組を進める	—	問 28-43

施策体系			関係設問	
基本目標	個別目標	個別目標の方向性	施策指標 (施策関連)	満足度
人と自然が共生した 住みよいまち	良好な生活環境とともに、まちが美しくなっている	環境汚染などによる健康被害の発生を防ぐ	問 21	問 28-44
		安全安心な水を安定的に供給する	問 27-1 工	問 28-45
		まちの美化を進める	問 10	問 28-46
	人が緑と触れあっている	まちの緑の適正な保全とまちの緑化を進める	—	問 28-47
		貴重な自然環境と生物多様性の保全・活用を進める	問 27-1 サ	問 28-48
	環境の負荷を減らした循環共生型の地域社会がつくられている	ごみの減量や資源の有効活用など 3 R + R を進める	問 11	問 28-49
		省エネルギー化や再生可能エネルギーによる脱炭素を推進し、地球温暖化防止を進める	問 12	問 28-50
にぎわいと活力を創造するまち	活発な経済活動が行われている	地域の事業者や個人事業主が活躍し、事業継続ができる環境づくりを進める	問 15 問 16 問 27-1 キ	問 28-51
		新たに市内で活動する事業者や個人事業主が、活動しやすい環境づくりを進める	—	問 28-52
		農業や水産業など、地域で安全な食が生産され、消費される環境づくりを進める	問 27-1 オ	問 28-53
	観光資源が活かされている	関西国際空港とのアクセス性を活かすとともに、観光資源が充実し、観光客が過ごしやすい環境づくりを進める	問 27-1 カ	問 28-54
	岸和田の魅力が伝わっている	岸和田の魅力を活用し、まちのイメージの向上を進める	—	問 28-55
	にぎわいや活力を支える基盤が整っている	地域の活性化を導く拠点の形成を進める	問 27-2 二 問 27-2 ヌ	問 28-56
		拠点とのアクセス性の向上を図る	問 27-2 ノ	問 28-57
		適正な土地利用と景観形成を進める	問 27-2 ネ	問 28-58
みんなでつくる持続可能なまち	みんなが主役の協働・連携したまちづくりが行われている	地域の担い手が育ち、まちづくり活動が活発に行われている環境づくりを進める	問 8 問 9 問 23 問 27-2 フ	—
		当事者意識の醸成とともに、様々な主体が力を発揮し、協働・連携できる環境づくりを進める	問 27-1 ソ	—
	持続可能で信頼される行政になっている	業務の効率的かつ効果的な推進に資する職員の育成を進める	—	—
		適正で効率的かつ効果的な業務の実施を進める	—	—
		行政手続きが便利になる環境づくりを進める	問 26 問 27-2 ヘ	—
		安定的な歳入確保と適切な歳出管理を進める	—	—
		市独自の歳入確保を進める	—	—

5-2. 各施策の基準値と現在値の比較評価

総合計画「将来ビジョン・岸和田」の体系に基づき、基準値である令和4年の結果及び、現在値である今回調査（令和7年）の結果を記載しています。

また、表最右列において、現在値と基準値を比較し、現在値（令和7年）が基準値（令和4年）より高くなっている場合は「○」、低くなっている場合は「×」で示しています。

*目標値：総合計画「将来ビジョン・岸和田」第1期基本計画において「みんなでめざそう値」としては公表していないが目標値として設定しているもの。

（1）基本目標「岸和田の次世代を育むまち」

個別目標の方向性	指標名	基準値 (%) (R4年)	みんなで めざそう 値(%) (*目標値)	前回値 (%) (R6年)	現在値 (%) (R7年)	基準値 との 比較
個別目標 安心して子どもを生み、育てられている						
妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減を進める	岸和田は子どもを生み育てやすいと感じている市民の割合	27.8	31.0	25.8	21.4	×
個別目標 働きながら子育てができている						
保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくりを進める	働きながら子育てができる環境が整っていると感じる市民の割合	18.1	21.0*	18.6	17.3	×
個別目標 子どもの健康と安全が保たれている						
登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくりを進める	子どもが安全に遊ぶことができると感じている市民の割合	25.7	29.0*	26.0	23.5	×
個別目標 子どもの個性や能力が豊かに育まれている						
子ども一人ひとりが輝くための適切な教育支援を行う	子どもの個性や能力にあった教育が行われていると感じる市民の割合	12.6	15.0*	14.6	14.1	○
個別目標 生涯にわたる能力づくりが進められ、活かされている						
様々な学びの活動や知識、経験の活用を進めるとともに、コミュニティのつながりを創出する	この1年間に自分の経験や特技を何らかの形で地域に活かしたことがある市民の割合	10.5	13.0	13.6	15.2	○
スポーツへの親しみや参画の向上を図るとともに、スポーツができる環境づくりを進める	スポーツ・運動を定期的（週1回以上）にしている市民の割合	44.7	60.9	45.4	48.8	○

個別目標の方向性	指標名	基準値 (%) (R4年)	みんなで めざそう 値(%) (*目標値)	前回値 (%) (R6年)	現在値 (%) (R7年)	基準値 との 比較
芸術や文化への親しみや参画の機会を通して、心の豊かさの醸成を図る	この1年間に芸術・文化活動(コンサートや演劇などの観賞を含む)を行ったことがある市民の割合	27.2	30.0	36.8	41.3	○
個別目標 誰もが社会参加し、活躍できる場がつけられている						
市内事業所の労働環境の向上を進める	労働環境に満足していると感じている市民の割合(市内従事者)	34.6	39.0	31.8	35.8	○
障害者の就労支援の充実と生きがいづくりを進める	長期的な病気や障害を抱えている人のうち、生きがいを感じることがある市民の割合	42.7	47.0	43.7	43.9	○
高齢者の雇用促進と生きがいづくりを進める	生きがいを感じることがある65歳以上の市民の割合	50.0	54.0	48.7	48.9	×
個別目標 郷土の歴史や文化が引き継がれている						
郷土の歴史や文化に触れる機会をつくる	この1年間に郷土の歴史や文化財に触れる機会があった市民の割合	22.7	25.0	30.8	34.7	○

(2) 基本目標「健康で自分らしく生きられるまち」

個別目標の方向性	指標名	基準値 (%) (R4年)	みんなで めざそう 値(%) (*目標値)	前回値 (%) (R6年)	現在値 (%) (R7年)	基準値 との 比較
個別目標 健康意識の向上とともに、介護予防が進められ、心身の健康が維持・増進している						
—	—	—	—	—	—	—
個別目標 医療サービスを受ける環境が整うとともに、緊急時にも医療が受けられる状態になっている						
医療体制の充実により、必要ときに必要な医療が受けられる環境づくりを進める	かかりつけ医を持っている市民の割合	67.5	70.0	69.4	69.8	○
個別目標 平和で、多様な価値観が尊重され、他者への理解が促進し、自分らしく生活できる環境が整っている						
平和への意識向上を進める	平和は大切だと感じている市民の割合	95.6	97.0	97.1	96.9	○
個別目標 地域で支えあい、助けあえる関係が築けている						
常日頃から、地域の中でお互いに助けあえる地域共生社会の関係づくりを進める	困ったときに近くに相談できる人や場所がある市民の割合	35.0	38.0	36.2	34.5	×
個別目標 介護や医療保険、障害者支援の福祉サービスなど、誰もが必要な支援を受け安心できている						
—	—	—	—	—	—	—

(3) 基本目標「安全で安心して暮らせるまち」

	個別目標の方向性	指標名	基準値 (%) (R4年)	みんなで めざそう 値(%) (*目標値)	前回値 (%) (R6年)	現在値 (%) (R7年)	基準値 との 比較
個別目標 事故や犯罪などに巻き込まれない生活が送れている							
	安心してサービスや物の購入などの消費行動が行える環境づくりを進める	この1年間に何らかの消費者トラブルにあった市民の割合	4.1	3.0	5.4	5.5	×
	交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくりを進める	安心して歩道を通行することができると感じている市民の割合	24.0	27.0*	23.4	22.0	×
個別目標 災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている							
	発災時にみんなが迅速かつ柔軟に対応できる環境づくりを進める	災害の際に非常持ち出し品や食糧などを準備している市民の割合	40.4	43.0	42.4	49.0	○

(4) 基本目標「人と自然が共生した住みよいまち」

	個別目標の方向性	指標名	基準値 (%) (R4年)	みんなで めざそう 値(%) (*目標値)	前回値 (%) (R6年)	現在値 (%) (R7年)	基準値 との 比較
個別目標 良好な生活環境とともに、まちが美しくなっている							
	まちの美化を進める	この1年間にゴミ拾いや美化活動を行ったことがある市民の割合	29.7	33.0	31.0	27.6	×
個別目標 人が緑と触れあっている							
	—	—	—	—	—	—	—
個別目標 環境の負荷を減らした循環共生型の地域社会がつくられている							
	ごみの減量や資源の有効活用など3R+Rを進める	ごみの減量化やリサイクルに取り組んでいる市民の割合	75.4	78.0	74.4	71.7	×
	省エネルギー化や再生可能エネルギーによる脱炭素を推進し、地球温暖化防止を進める	省エネルギーや再生可能エネルギーを活用している市民の割合	21.8	25.0	24.5	23.9	○

(5) 基本目標「にぎわいと活力を創造するまち」

	個別目標の方向性	指標名	基準値 (%) (R4年)	みんなで めざそう 値(%) (*目標値)	前回値 (%) (R6年)	現在値 (%) (R7年)	基準値 との 比較
個別目標 活発な経済活動が行われている							
	農業や水産業など、地域で安全な食が生産され、消費される環境づくりを進める	地元産の食品を優先的に買う市民の割合	37.9	41.0	35.4	35.5	×
個別目標 観光資源が活かされている							
	—	—	—	—	—	—	—
個別目標 岸和田の魅力が伝わっている							
	—	—	—	—	—	—	—

	個別目標の方向性	指標名	基準値 (%) (R4年)	みんなで めざそう 値(%) (*目標値)	前回値 (%) (R6年)	現在値 (%) (R7年)	基準値 との 比較
個別目標 にぎわいや活力を支える基盤が整っている							
	拠点とのアクセス性の向上を図る	市内をスムーズに移動できると感じている市民の割合	36.1	39.0	38.3	38.0	○
	適正な土地利用と景観形成を進める	景観がよく保全されていると感じている市民の割合	18.5	21.0	24.9	24.4	○

(6) 基本目標「みんなでつくる持続可能なまち」

	個別目標の方向性	指標名	基準値 (%) (R4年)	みんなで めざそう 値(%) (*目標値)	前回値 (%) (R6年)	現在値 (%) (R7年)	基準値 との 比較
個別目標 みんなが主役の協働・連携したまちづくりが行われている							
	地域の担い手が育ち、まちづくり活動が活発に行われている環境づくりを進める	この1年間にボランティア活動や地域の自治活動に参加したことがある市民の割合	19.7	22.0	22.8	22.2	○
個別目標 持続可能で信頼される行政になっている							
	—	—	—	—	—	—	—

第6章 個別目標の方向性についての 重要度と満足度

第6章 個別目標の方向性についての重要度と満足度

6-1. 重要度の高い項目（上位10施策）・低い項目（下位10施策）

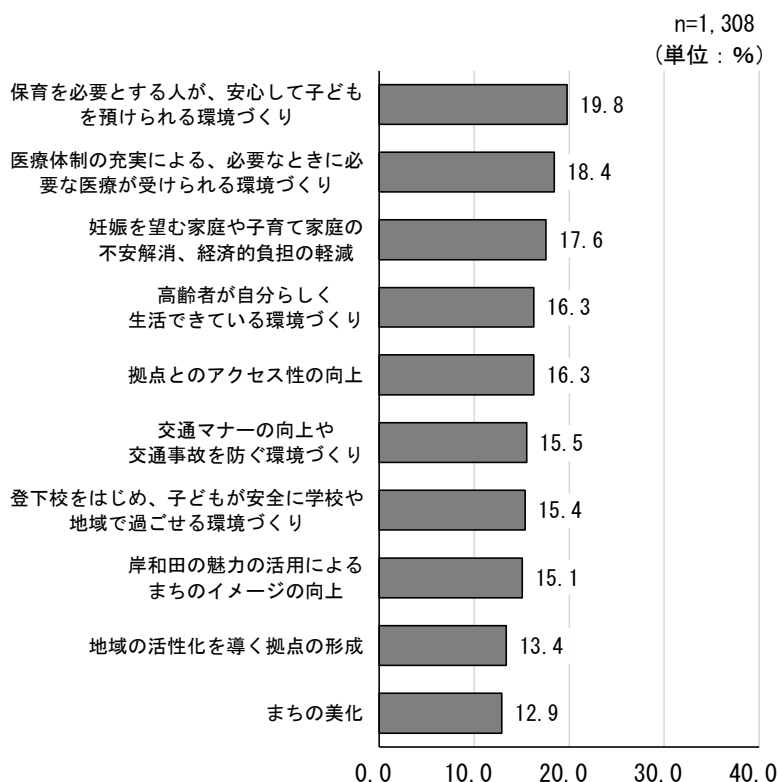
〔問29〕では、58項目のうち、今の岸和田のまちづくりにとって特に重要だと思うものを5つまで選んでいただきました。

図示している数値は、重要だと思われた人の数を全回答者数(1,308)で割った構成比を%で示しています。

その結果、最も重要度の高い項目は、「保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくり」(19.8%)であり、次いで「医療体制の充実による、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくり」(18.4%)、「妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減」(17.6%)、「高齢者が自分らしく生活できている環境づくり」(16.3%)、「拠点とのアクセス性の向上」(16.3%)の順となっています。

なお、令和4年においては、全58項目から特に重要だと思うものをすべて選んでもらう形式でしたが、令和5年から特に重要だと思うものを5つまで選んでもらう形式に変わっています。

■「重要度」の高い項目（上位10施策）



一方、最も重要度の低い項目は、「戦争被害者などが安心して生活できる環境づくり」(0.2%)であり、次いで「郷土の歴史や文化に触れる機会の創出」(1.3%)、「個々の人権や多様な価値観の尊重意識の向上と、多文化に触れる機会の創出による他者理解の促進」(1.6%)、「貴重な自然環境と生物多様性の保全・活用」(1.7%)、「市内事業所の労働環境の向上」(1.7%)となっています。

■「重要度」の低い項目（下位 10 施策）



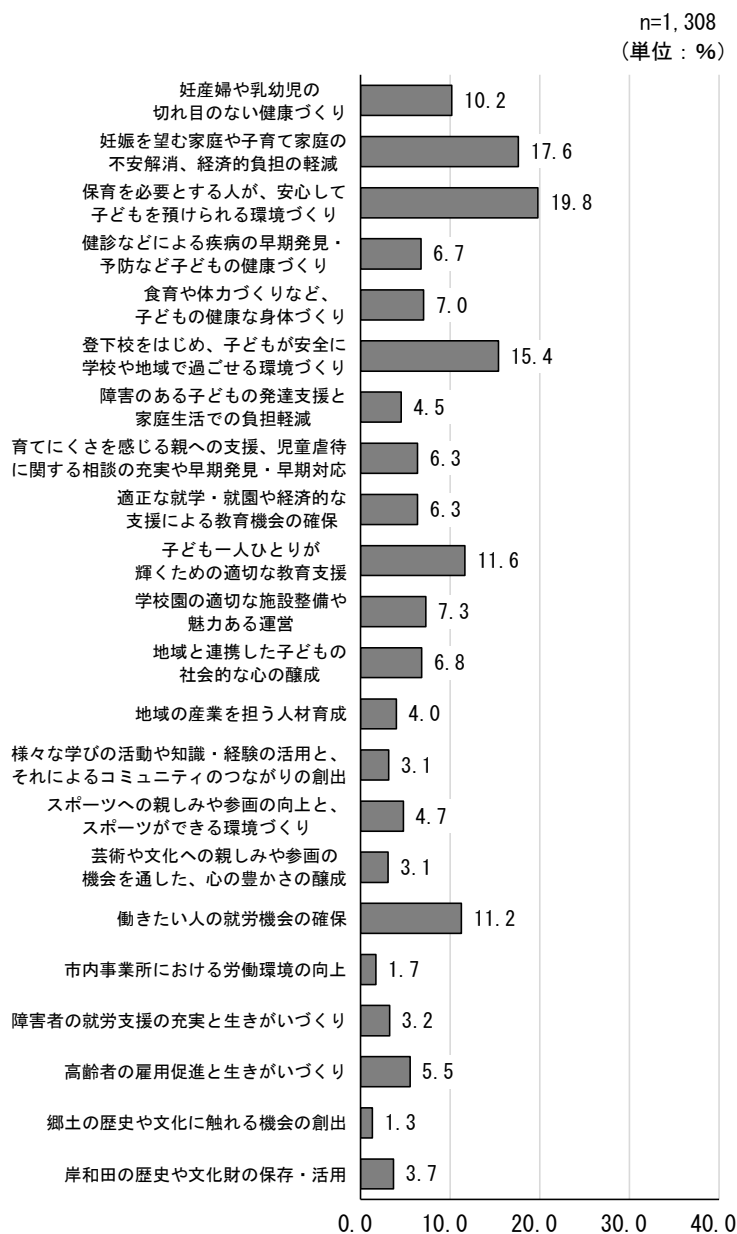
6-2. 基本目標別の重要度

総合計画「将来ビジョン・岸和田」基本構想では、将来像の実現に向けて、6つの基本目標を定めています。6つの基本目標のうち、「みんなでつくる持続可能なまち」を除く基本目標別の個別目標の重要度についてまとめたものが以下です。

(1) 基本目標『岸和田の次世代を育むまち』の重要度

基本目標『岸和田の次世代を育むまち』については、「保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくり」(19.8%)が最も高く、次いで「妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減」(17.6%)、「登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくり」(15.4%)の順となっています。

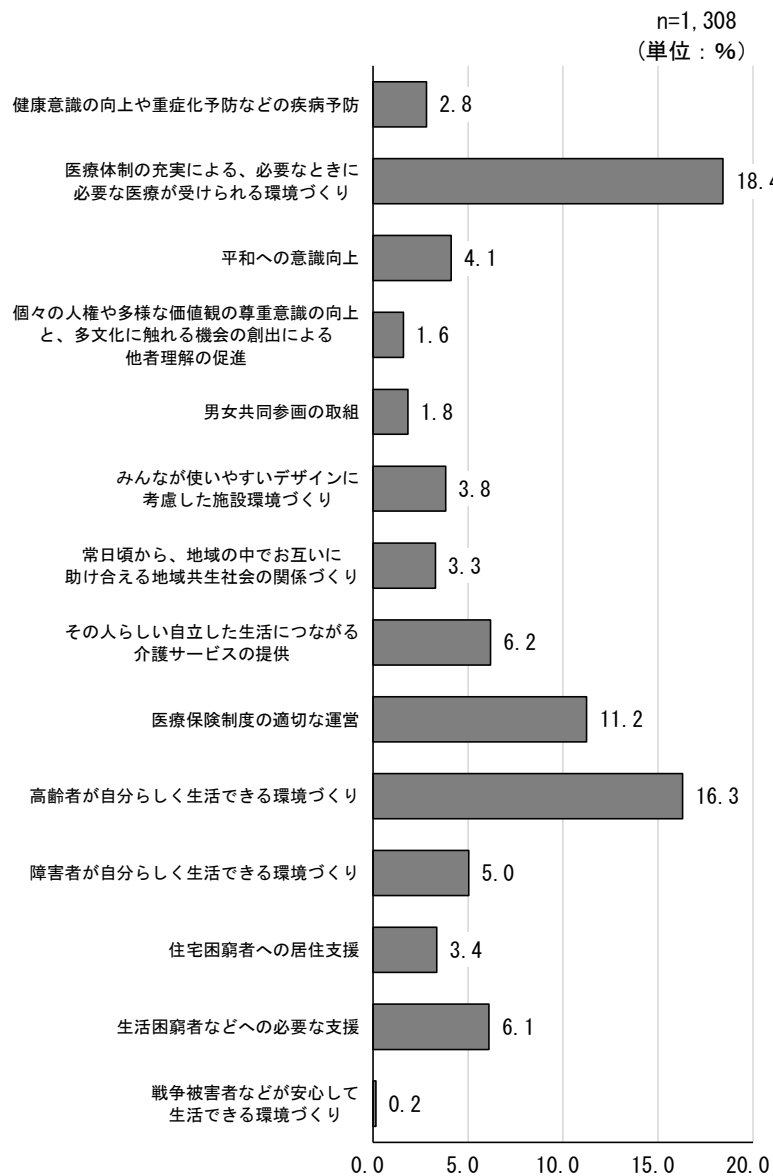
■基本目標『岸和田の次世代を育むまち』の重要度（全58項目中22項目）



(2) 基本目標『健康で自分らしく生きられるまち』の重要度

基本目標『健康で自分らしく生きられるまち』については、「医療体制の充実による、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくり」(18.4%)が最も高く、次いで「高齢者が自分らしく生活できる環境づくり」(16.3%)、「医療保険制度の適切な運営」(11.2%)の順となっています。

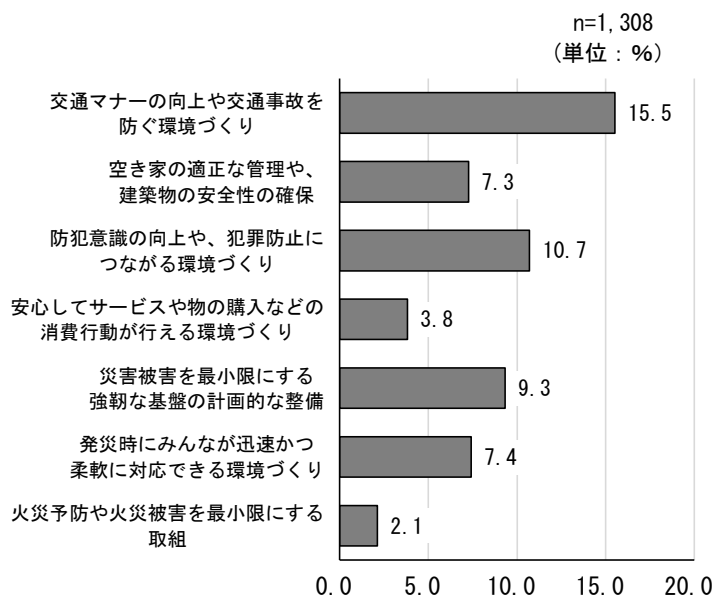
■基本目標『健康で自分らしく生きられるまち』の重要度（全58項目中14項目）



(3) 基本目標『安全で安心して暮らせるまち』の重要度

基本目標『安全で安心して暮らせるまち』については、「交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくり」(15.5%)が最も高く、次いで「防犯意識の向上や、犯罪防止につながる環境づくり」(10.7%)、「災害被害を最小限にする強靱な基盤の計画的な整備」(9.3%)の順となっています。

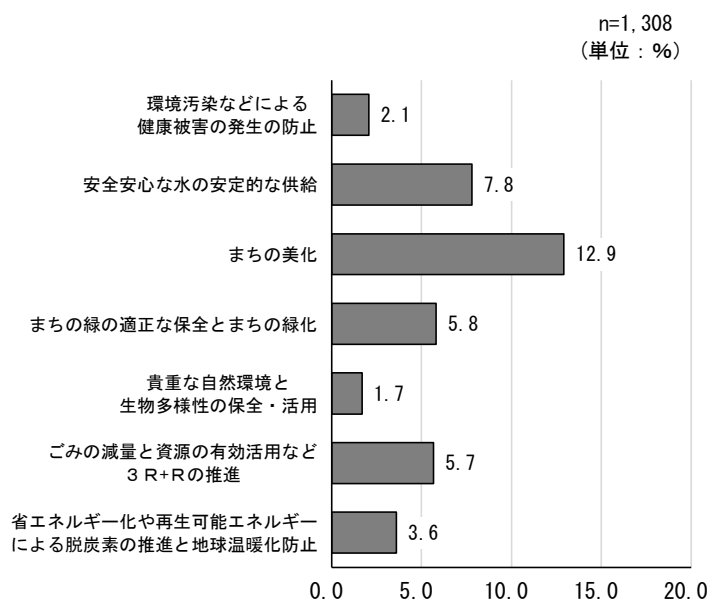
■基本目標『安全で安心して暮らせるまち』の重要度（全 58 項目中 7 項目）



(4) 基本目標『人と自然が共生した住みよいまち』の重要度

基本目標『人と自然が共生した住みよいまち』については、「まちの美化」(12.9%)が最も高く、次いで「安全安心な水の安定的な供給」(7.8%)、「まちの緑の適正な保全とまちの緑化」(5.8%)の順となっています。

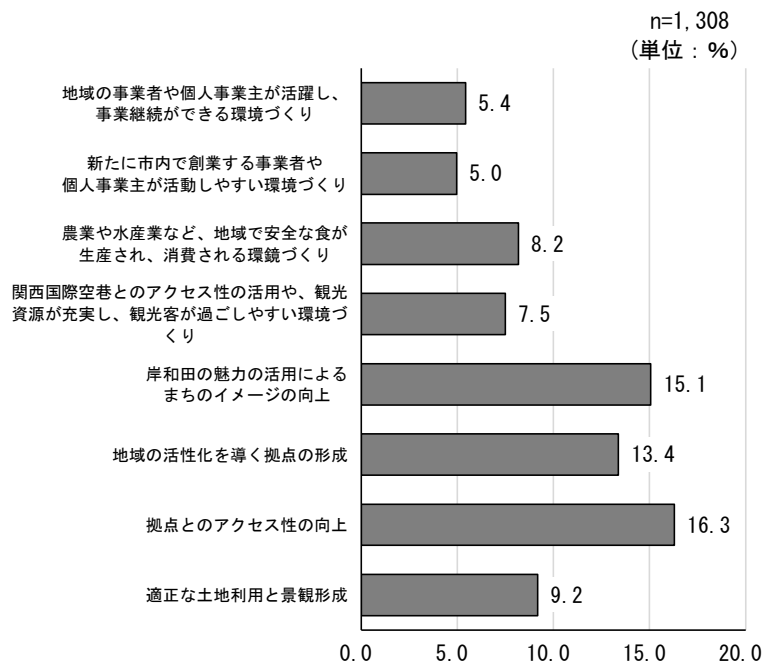
■基本目標『人と自然が共生した住みよいまち』の重要度（全 58 項目中 7 項目）



(5) 基本目標『にぎわいと活力を創造するまち』の重要度

基本目標『にぎわいと活力を創造するまち』については、「拠点とのアクセス性の向上」(16.3%)が最も高く、次いで「岸和田の魅力の活用によるまちのイメージの向上」(15.1%)、「地域の活性化を導く拠点の形成」(13.4%)の順となっています。

■基本目標『にぎわいと活力を創造するまち』の重要度 (全58項目中8項目)



6-3. 「重要度（上位5項目）」の属性分析

（1）1位の項目：保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくり

重要度の1位の「保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくり」について属性7項目別でみると、性別では「女性」（22.1%）、年齢4区分では「30～49歳」（29.0%）、居住地域では「久米田地域」（22.5%）、出生地では「大阪府内（岸和田市を除く）」（20.4%）、居住年数では「5～9年」（34.4%）、養育中の子供の有無では「いる」（30.2%）、養育中の子供の内訳では「就学前（0～5歳）」（43.0%）がそれぞれ最も高くなっています。

属性		実数	割合（%）
性別	男性 (n=583)	104	17.8
	女性 (n=655)	145	22.1
	無回答 (n=52)	9	17.3
年齢4区分別	15～29歳 (n=261)	60	23.0
	30～49歳 (n=369)	23	29.0
	50～64歳 (n=428)	107	15.9
	65歳以上 (n=235)	29	10.2
居住地域	都市中核地域 (n=336)	74	22.0
	岸和田北部地域 (n=230)	31	18.7
	葛城の谷地域 (n=210)	41	19.5
	岸和田中部地域 (n=145)	31	21.4
	久米田地域 (n=173)	39	22.5
	牛滝の谷地域 (n=159)	25	15.7
出生地	岸和田市 (n=672)	136	20.2
	大阪府内（岸和田市を除く） (n=358)	73	20.4
	大阪府外 (n=264)	50	18.9
居住年数	20年以上 (n=966)	175	18.1
	10～19年 (n=188)	36	19.1
	5～9年 (n=64)	22	34.4
	5年未満 (n=77)	26	33.8
有無 養育中の 子供の 有無	いる (n=364)	110	30.2
	いない (n=900)	144	16.0
子養育中の の内訳	就学前（0～5歳） (n=128)	55	43.0
	小学生 (n=120)	35	29.2
	中学生 (n=70)	16	22.9
	それ以外（高校生や大学生） (n=136)	19	14.0

(2) 2位の項目：医療体制の充実による、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくり

重要度の2位の「医療体制の充実による、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくり」について属性7項目別でみると、性別では「女性」(19.8%)、年齢4区分では「50～64歳」(22.2%)、居住地域では「岸和田中部地域」(22.8%)、出生地では「大阪府内(岸和田市を除く)」(18.7%)、居住年数では「20年以上」(19.4%)、養育中の子供の有無では「いない」(19.9%)、養育中の子供の内訳では「就学前(0～5歳)」(50.0%)がそれぞれ最も高くなっています。

属性		実数	割合(%)
性別	男性 (n=583)	100	17.2
	女性 (n=655)	130	19.8
	無回答 (n=52)	9	17.3
年齢4区分	15～29歳 (n=261)	42	16.1
	30～49歳 (n=369)	54	14.6
	50～64歳 (n=428)	95	22.2
	65歳以上 (n=235)	48	20.4
居住地域	都市中核地域 (n=336)	56	16.7
	岸和田北部地域 (n=230)	44	19.1
	葛城の谷地域 (n=210)	40	19.0
	岸和田中部地域 (n=145)	33	22.8
	久米田地域 (n=173)	35	20.2
	牛滝の谷地域 (n=159)	28	17.6
出生地	岸和田市 (n=672)	123	18.3
	大阪府内(岸和田市を除く) (n=358)	67	18.7
	大阪府外 (n=264)	49	18.6
居住年数	20年以上 (n=966)	187	19.4
	10～19年 (n=188)	33	17.6
	5～9年 (n=64)	9	14.1
	5年未満 (n=77)	11	14.3
有無 養育中の子供の有無	いる (n=364)	52	14.3
	いない (n=900)	179	19.9
子養育中の内訳	就学前(0～5歳) (n=128)	64	50.0
	小学生 (n=120)	40	33.3
	中学生 (n=70)	15	21.4
	それ以外(高校生や大学生) (n=136)	21	15.4

(3) 3位の項目：妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減

重要度の3位の「妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減」について属性7項目別でみると、性別では「女性」(19.2%)、年齢4区分では「30～49歳」(24.9%)、居住地域では「岸和田北部地域」(20.0%)、出生地では「岸和田市」(18.8%)、居住年数では「5年未満」(32.5%)、養育中の子供の有無では「いる」(26.4%)、養育中の子供の内訳では「それ以外(高校生や大学生)」(16.9%)がそれぞれ最も高くなっています。

属性		実数	割合 (%)
性別	男性 (n=583)	92	15.8
	女性 (n=655)	126	19.2
	無回答 (n=52)	10	19.2
年齢4区分	15～29歳 (n=261)	63	24.1
	30～49歳 (n=369)	92	24.9
	50～64歳 (n=428)	53	12.4
	65歳以上 (n=235)	21	8.9
居住地域	都市中核地域 (n=336)	57	17.0
	岸和田北部地域 (n=230)	46	20.0
	葛城の谷地域 (n=210)	33	15.7
	岸和田中部地域 (n=145)	28	19.3
	久米田地域 (n=173)	34	19.7
	牛滝の谷地域 (n=159)	25	15.7
出生地別	岸和田市 (n=672)	126	18.8
	大阪府内(岸和田市を除く) (n=358)	58	16.2
	大阪府外 (n=264)	45	17.0
居住年数	20年以上 (n=966)	161	16.7
	10～19年 (n=188)	27	14.4
	5～9年 (n=64)	16	25.0
	5年未満 (n=77)	25	32.5
有無 養育中の 子供の 有無	いる (n=364)	96	26.4
	いない (n=900)	130	14.4
子養育中の 子供の 内訳	就学前(0～5歳) (n=128)	16	12.5
	小学生 (n=120)	15	12.5
	中学生 (n=70)	11	15.7
	それ以外(高校生や大学生) (n=136)	23	16.9

(4) 4位の項目：高齢者が自分らしく生活できる環境づくり

重要度の4位の「高齢者が自分らしく生活できる環境づくり」について属性7項目別でみると、性別では「女性」(16.9%)、年齢4区分では「50～64歳」(26.2%)、居住地域では「久米田地域」(18.5%)、出生地では「大阪府外」(17.4%)、居住年数では「20年以上」(18.4%)、養育中の子供の有無では「いない」(18.4%)、養育中の子供の内訳では「それ以外(高校生や大学生)」(19.9%)がそれぞれ最も高くなっています。

属性		実数	割合 (%)
性別	男性 (n=583)	87	14.9
	女性 (n=655)	111	16.9
	無回答 (n=52)	9	17.3
年齢4区分	15～29歳 (n=261)	14	5.4
	30～49歳 (n=369)	32	8.7
	50～64歳 (n=428)	112	26.2
	65歳以上 (n=235)	52	22.1
居住地域	都市中核地域 (n=336)	56	16.7
	岸和田北部地域 (n=230)	34	14.8
	葛城の谷地域 (n=210)	37	17.6
	岸和田中部地域 (n=145)	20	13.8
	久米田地域 (n=173)	32	18.5
	牛滝の谷地域 (n=159)	27	17.0
出生地	岸和田市 (n=672)	102	15.2
	大阪府内(岸和田市を除く) (n=358)	62	17.3
	大阪府外 (n=264)	46	17.4
居住年数	20年以上 (n=966)	178	18.4
	10～19年 (n=188)	21	11.2
	5～9年 (n=64)	6	9.4
	5年未満 (n=77)	4	5.2
有無 養育中の 子供の	いる (n=364)	42	11.5
	いない (n=900)	166	18.4
子養育中の 子供の 内訳	就学前(0～5歳) (n=128)	7	5.5
	小学生 (n=120)	5	4.2
	中学生 (n=70)	9	12.9
	それ以外(高校生や大学生) (n=136)	27	19.9

(5) 5位の項目：拠点とのアクセス性の向上

重要度の5位の「拠点とのアクセス性の向上」について属性7項目別でみると、性別では「女性」(17.4%)、年齢4区分では「50～64歳」(17.3%)、居住地域では「牛滝の谷地域」(34.0%)、出生地では「大阪府外」(17.0%)、居住年数では「10～19年」(17.6%)、養育中の子供の有無では「いない」(16.9%)、養育中の子供の内訳では「それ以外（高校生や大学生）」(18.4%)がそれぞれ最も高くなっています。

属性		実数	割合 (%)
性別	男性 (n=583)	85	14.6
	女性 (n=655)	114	17.4
	無回答 (n=52)	12	23.1
年齢4区分	15～29歳 (n=261)	38	14.6
	30～49歳 (n=369)	58	15.7
	50～64歳 (n=428)	74	17.3
	65歳以上 (n=235)	39	16.6
居住地域	都市中核地域 (n=336)	38	10.1
	岸和田北部地域 (n=230)	58	13.5
	葛城の谷地域 (n=210)	41	19.5
	岸和田中部地域 (n=145)	23	15.9
	久米田地域 (n=173)	18	10.4
	牛滝の谷地域 (n=159)	54	34.0
出生地	岸和田市 (n=672)	107	15.9
	大阪府内(岸和田市を除く) (n=358)	58	16.2
	大阪府外 (n=264)	45	17.0
居住年数	20年以上 (n=966)	159	16.5
	10～19年 (n=188)	33	17.6
	5～9年 (n=64)	7	10.9
	5年未満 (n=77)	11	14.3
有無 養育中の 子供の	いる (n=364)	56	15.4
	いない (n=900)	152	16.9
子養育中の 子供の 内訳	就学前(0～5歳) (n=128)	14	10.9
	小学生 (n=120)	10	8.3
	中学生 (n=70)	7	10.0
	それ以外(高校生や大学生) (n=136)	25	18.4

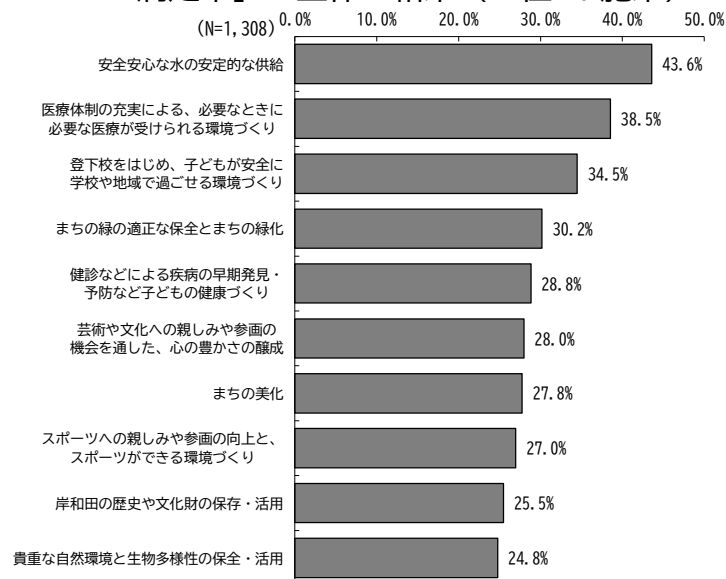
6-4. 「満足率」及び「不満率」が高い施策（上位10施策）

（1）「満足率」が高い施策

〔問28〕の満足度調査で、「満足」、「まあ満足」と回答した人の割合（以下「満足率」という。）は下記のとおりです。

58項目のうち、1位は「安全安心な水の安定的な供給」（43.6％）で、次いで「医療体制の充実による、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくり」（38.5％）、「登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくり」（34.5％）の順となっています。

■「満足率」の全体の結果（上位10施策）

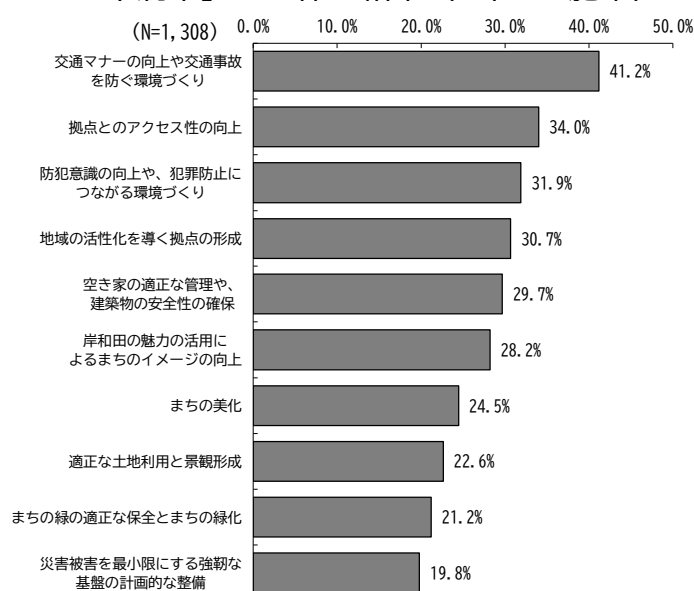


（2）「不満率」が高い施策

〔問28〕の満足度調査で、「不満」、「やや不満」と回答した人の割合（以下「不満率」という。）は下記のとおりです。

58項目のうち、1位は「交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくり」（41.2％）となっています。次いで「拠点とのアクセス性の向上」（34.0％）、「防犯意識の向上や、犯罪防止につながる環境づくり」（31.9％）の順となっています。

■「不満率」の全体の結果（上位10施策）

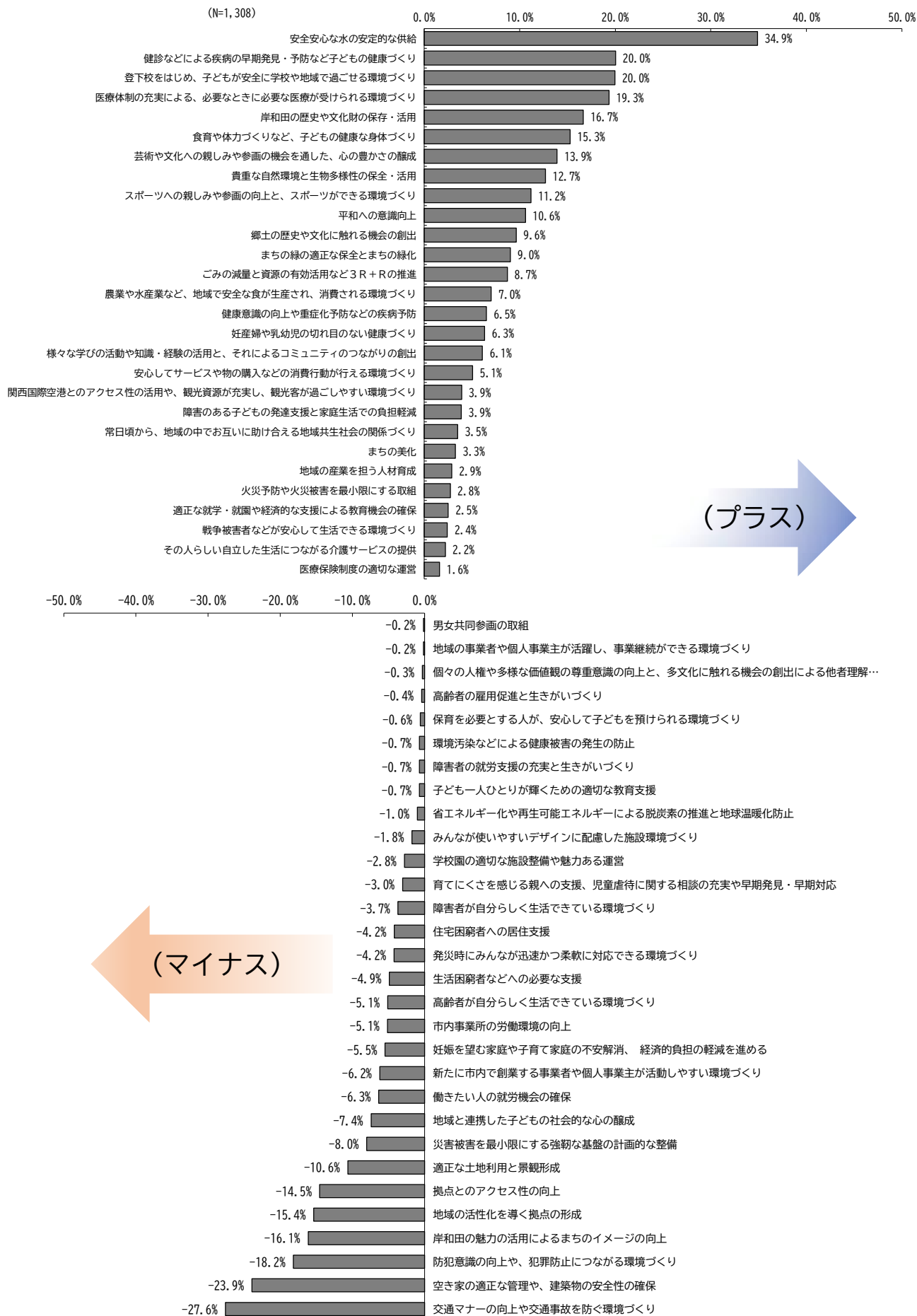


(3)『満足度』(「満足率」－「不満率」)の分析

「満足率」から「不満率」を差し引いた数値（以下『満足度』という。）は、次のページのグラフの通りです（「不満率」の値が「満足率」の値を上回る場合は、マイナス表記しています）。

その結果、最も『満足率』の高い項目は「安全安心な水の安定的な供給」（34.9%）、最も低い項目は「交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくり」（-27.6%）となっています。

第6章 「個別目標の方向性」についての重要度と満足度



第7章 重点施策候補の抽出

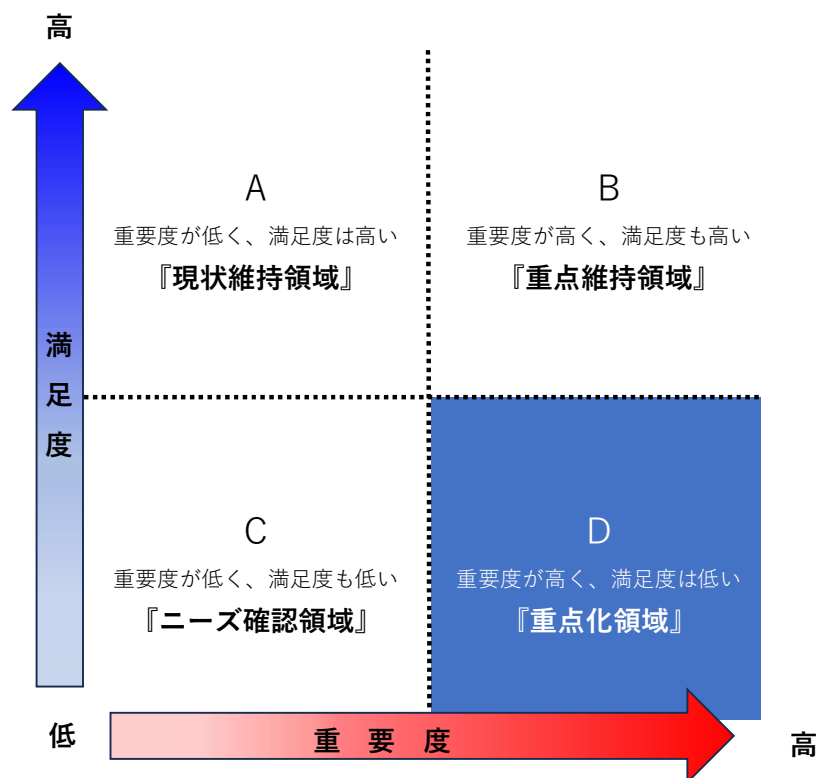
第7章 重点施策候補の抽出

7-1. 重要度・満足度からみた施策の分析

(1) 抽出の考え方

『重要度』と『満足度』について、それぞれの平均点を 50 とした偏差値に換算した上で、『重要度』を横軸、『満足度』を縦軸にとり、それぞれの平均値（50）を交点としたグラフに各施策をプロットする形式で示して、各施策の分布した領域から市民ニーズと重点化すべき施策の傾向を読み取ることとします。

『重要度』が平均より高く、『満足度』が平均より低い領域（下図の網掛け部分の領域）に位置する施策、つまり、市民が岸和田のまちづくりにとって重要だと感じているが、満足していない傾向にある施策については、重点施策の候補とします。



◆領域の説明

- ・領域A 現状維持領域
満足度を維持しつつ、ニーズに見合った対応を検討すべき領域
- ・領域B 重点維持領域
今後も現状も成果を維持しつつ、改善を続けるべき領域
- ・領域C ニーズ確認領域
相対的な満足度の低さは重要度の低さと関係していると思われ、市民ニーズの実態を確認すべき領域
- ・領域D 重点化領域
最優先で改善しなければならない領域

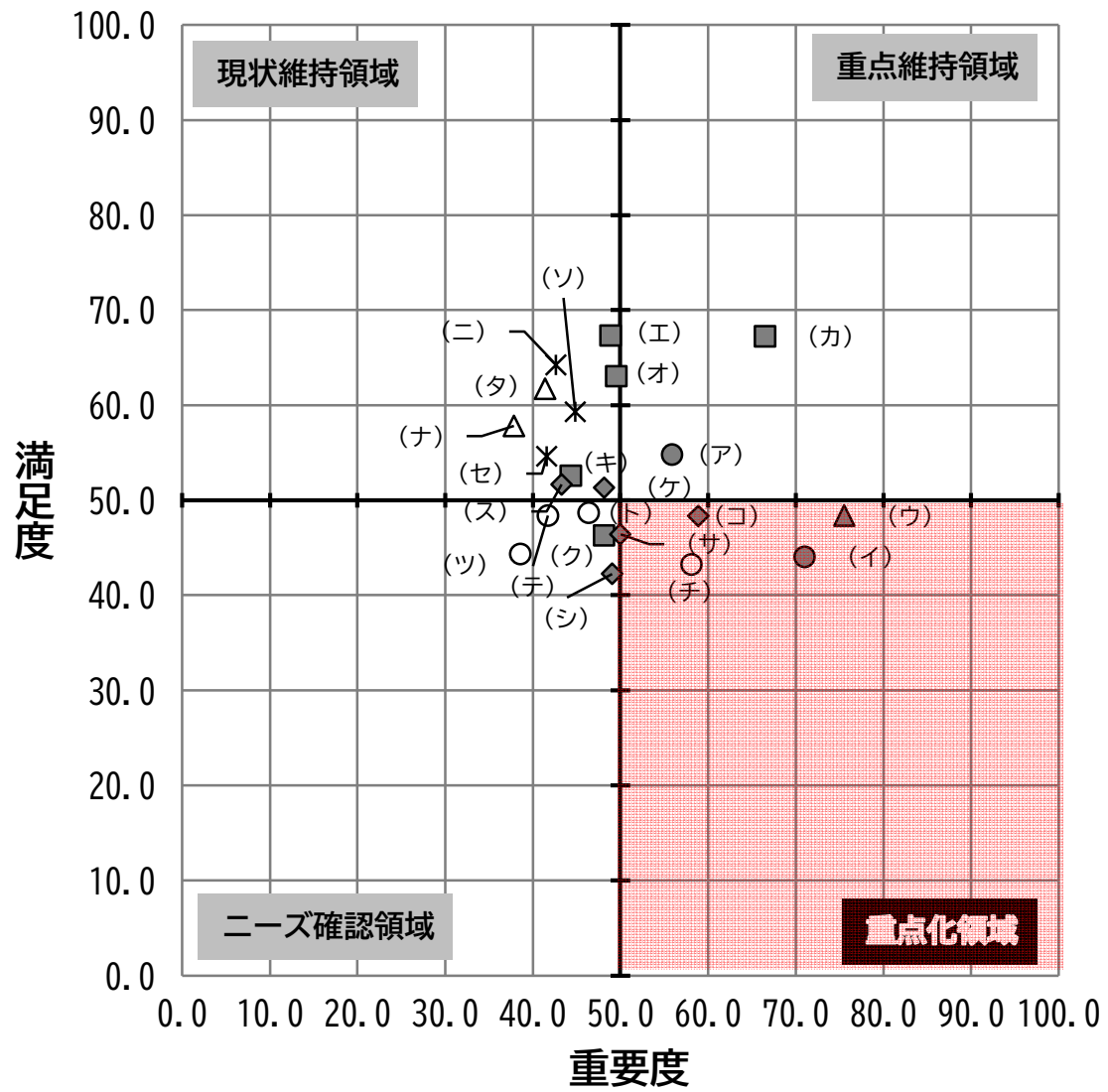
(2) 重点化領域の分析

◆基本目標 『岸和田の次世代を育むまち』

個別目標	項目	記号	重要度	満足度	領域
安心して子どもを生み、育てている【●】	妊産婦や乳幼児の切れ目のない健康づくり	(ア)	55.9	54.8	重点維持
	妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減	(イ)	71.1	44.0	重点化
働きながら子育てができている【▲】	保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくり	(ウ)	75.6	48.4	重点化
子どもの健康と安全が保たれている【■】	健診などによる疾病の早期発見・予防など子どもの健康づくり	(エ)	48.9	67.3	現状維持
	食育や体力づくりなど、子どもの健康な身体づくり	(オ)	49.5	63.0	現状維持
	登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくり	(カ)	66.5	67.2	重点維持
	障害のある子どもの発達支援と家庭生活での負担軽減	(キ)	44.4	52.6	現状維持
	育てにくさを感じる親への支援、児童虐待に関する相談の充実や早期発見・早期対応	(ク)	48.1	46.3	二ーズ確認
子どもの個性や能力が豊かに育まれている【◆】	適正な就学・就園や経済的な支援による教育機会の確保	(ケ)	48.1	51.3	現状維持
	子ども一人ひとりが輝くための適切な教育支援	(コ)	58.9	48.3	重点化
	学校園の適切な施設整備や魅力ある運営	(サ)	50.0	46.4	重点化
	地域と連携した子どもの社会的な心の醸成	(シ)	49.1	42.2	二ーズ確認
	地域の産業を担う人材育成	(ス)	43.3	51.7	現状維持
生涯にわたる能力づくりが進められ、活かされている【*】	様々な学びの活動や知識・経験の活用と、それによるコミュニティのつながりの創出	(セ)	41.6	54.6	現状維持
	スポーツへの親しみや参画の向上と、スポーツができる環境づくり	(ソ)	44.9	59.3	現状維持
	芸術や文化への親しみや参画の機会を通した、心の豊かさの醸成	(タ)	41.4	61.7	現状維持
誰もが社会参加し、活躍できる場がつけられている【○】	働きたい人の就労機会の確保	(チ)	58.1	43.2	重点化
	市内事業所の労働環境の向上	(ツ)	38.6	44.3	二ーズ確認
	障害者の就労支援の充実と生きがいづくり	(テ)	41.7	48.4	二ーズ確認
	高齢者の雇用促進と生きがいづくり	(ト)	46.4	48.7	二ーズ確認
郷土の歴史や文化が引き継がれている【△】	郷土の歴史や文化に触れる機会の創出	(ナ)	37.8	57.8	現状維持
	岸和田の歴史や文化財の保存・活用	(ニ)	42.7	64.2	現状維持

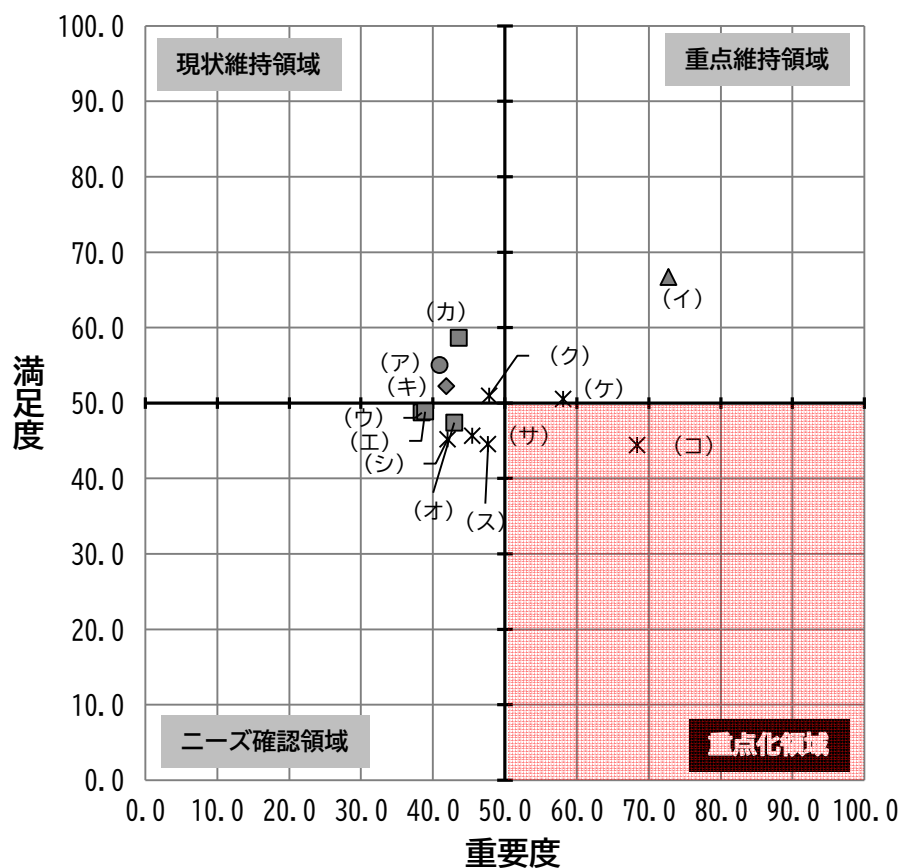
※グラフは次ページを参照

(注) 網掛けは重点化領域を示す



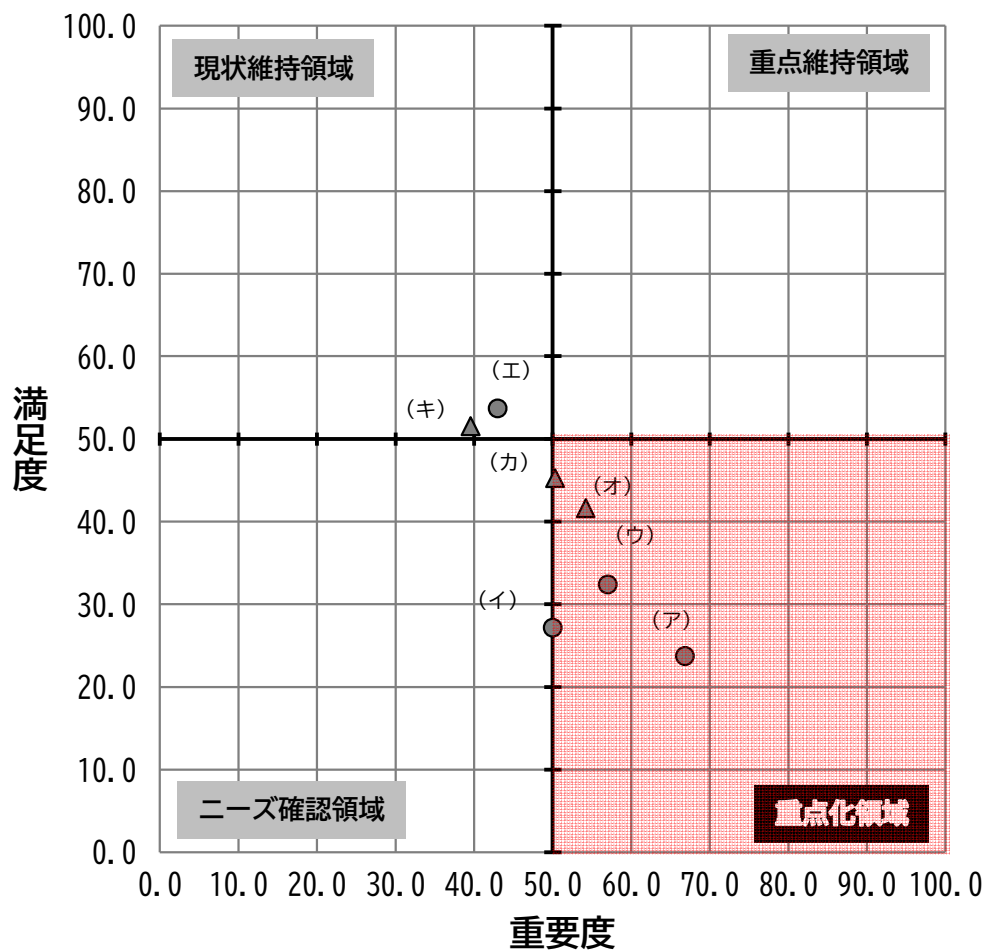
◆基本目標 『健康で自分らしく生きられるまち』

個別目標	項目	記号	重要度	満足度	領域
健康意識の向上とともに、介護予防が進められ、心身の健康が維持・増進している(●)	健康意識の向上や重症化予防などの疾病予防	(ア)	41.0	55.0	現状維持
医療サービスを受けられる環境が整うとともに、緊急時にも医療が受けられる状態になっている(▲)	医療体制の充実による、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくり	(イ)	72.8	66.7	重点維持
平和で、多様な価値観が尊重され、他者への理解が促進し、自分らしく生活できる環境が整っている(■)	個々の人権や多様な価値観の尊重意識の向上と、多文化に触れる機会の創出による他者理解の促進	(ウ)	43.6	58.6	現状維持
	男女共同参画の取組	(エ)	38.5	48.7	ニーズ確認
	みんなが使いやすいデザインに配慮した施設環境づくり	(オ)	38.9	48.9	ニーズ確認
	平和への意識向上	(カ)	43.0	47.4	ニーズ確認
地域で支えあい、助けあえる関係が築けている(◆)	常日頃から、地域の中でお互いに助け合える地域共生社会の関係づくり	(キ)	41.9	52.2	現状維持
介護や医療保険、障害者支援の福祉サービスなど、誰もが必要な支援を受け安心してきている(*)	その人らしい自立した生活につながる介護サービスの提供	(ク)	47.8	51.0	現状維持
	医療保険制度の適切な運営	(ケ)	58.1	50.5	重点維持
	高齢者が自分らしく生活できる環境づくり	(コ)	68.4	44.4	重点化
	障害者が自分らしく生活できる環境づくり	(サ)	45.5	45.7	ニーズ確認
	生活困窮者などへの必要な支援	(シ)	42.1	45.2	ニーズ確認
	住宅困窮者への居住支援	(ス)	47.7	44.5	ニーズ確認



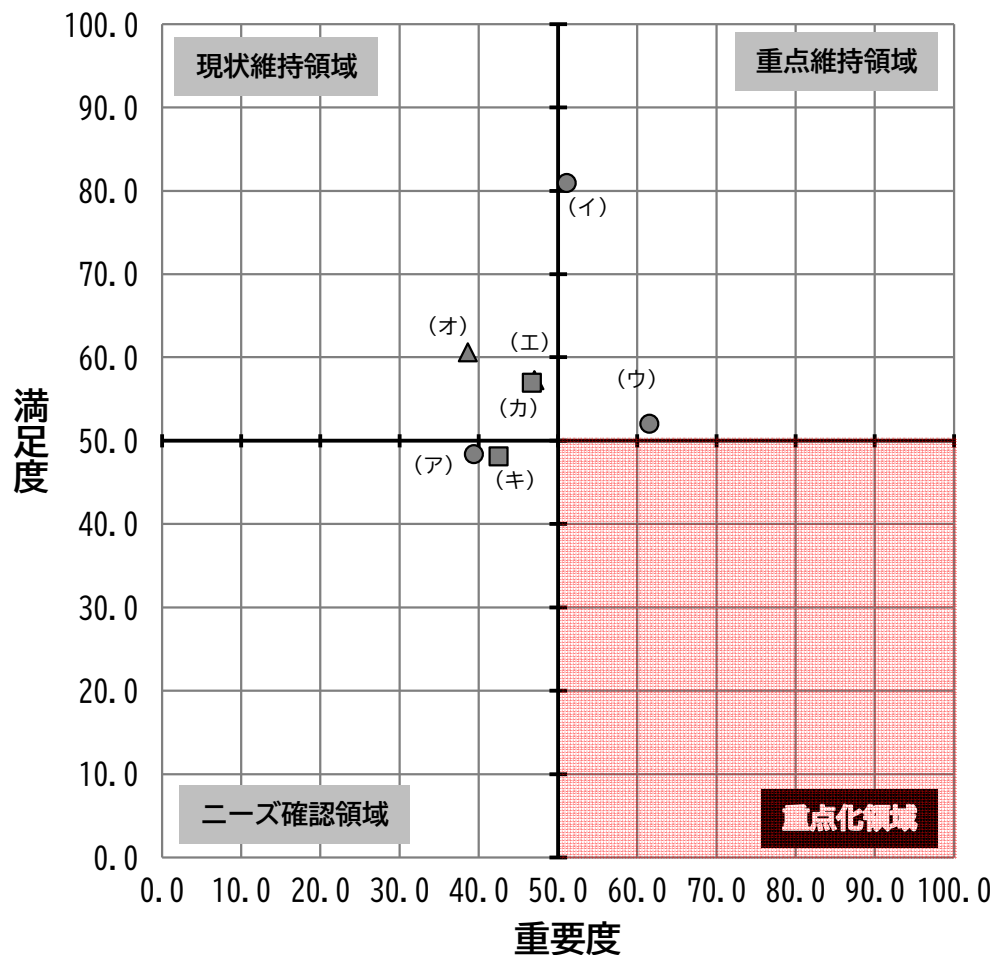
◆基本目標 『安全で安心して暮らせるまち』

個別目標	項目	記号	重要度	満足度	領域
事故や犯罪などに巻き込まれない生活が送れている (●)	交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくり	(ア)	66.8	23.7	重点化
	空き家の適正な管理や、建築物の安全性の確保	(イ)	50.0	27.1	ニーズ確認
	防犯意識の向上や、犯罪防止につながる環境づくり	(ウ)	57.0	32.4	重点化
	安心してサービスや物の購入などの消費行動が行える環境づくり	(エ)	43.0	53.7	現状維持
災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている (▲)	災害被害を最小限にする強靱な基盤の計画的な整備	(オ)	54.2	41.6	重点化
	発災時にみんなが迅速かつ柔軟に対応できる環境づくり	(カ)	50.3	45.2	重点化
	火災予防や火災被害を最小限にする取組	(キ)	39.6	51.5	現状維持



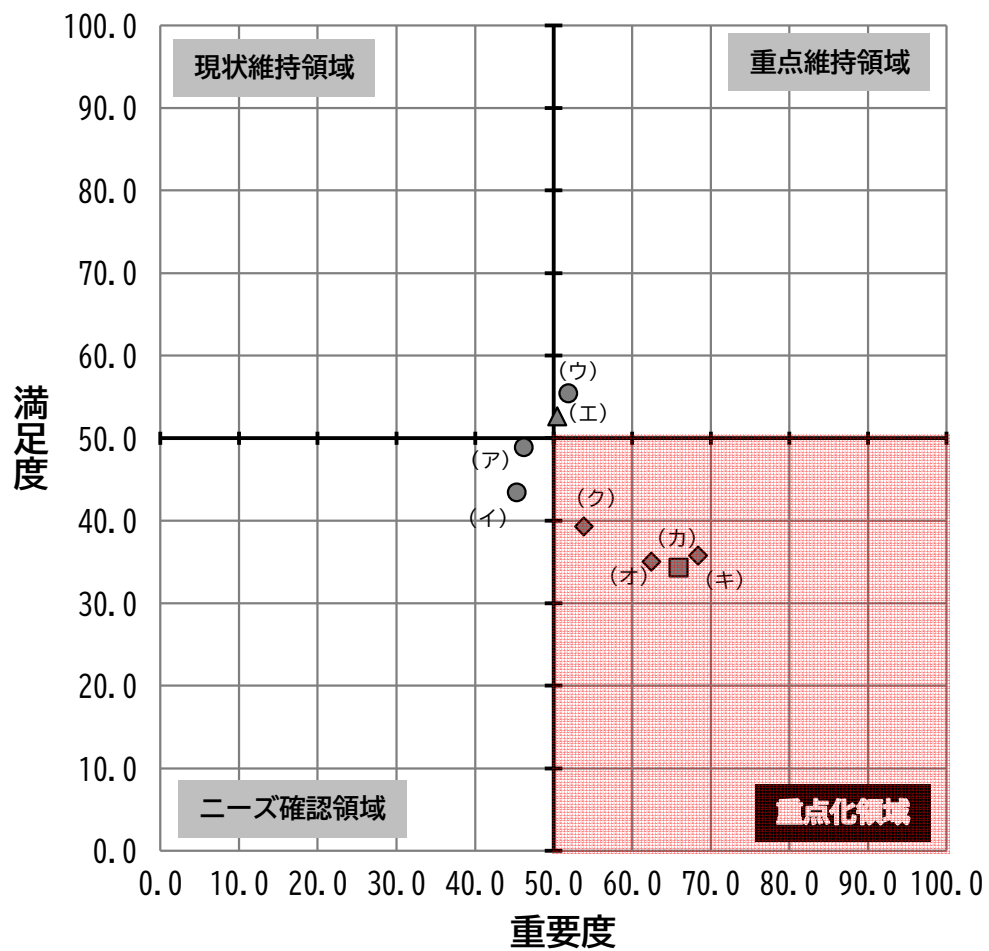
◆基本目標 『人と自然が共生した住みよいまち』

個別目標	項目	記号	重要度	満足度	領域
良好な生活環境とともに、まちが美しくなっている (●)	環境汚染などによる健康被害の発生の防止	(ア)	39.4	48.4	二一ズ確認
	安全安心な水の安定的な供給	(イ)	51.1	80.9	重点維持
	まちの美化	(ウ)	61.5	52.0	重点維持
人が緑と触れあっている (▲)	まちの緑の適正な保全とまちの緑化	(エ)	47.0	57.2	現状維持
	貴重な自然環境と生物多様性の保全・活用	(オ)	38.6	60.6	現状維持
環境の負荷を減らした循環共生型の地域社会がつけられている (■)	ごみの減量と資源の有効活用など3R+Rの推進	(カ)	46.7	57.0	現状維持
	省エネルギー化や再生可能エネルギーによる脱炭素の推進と地球温暖化防止	(キ)	42.5	48.1	二一ズ確認



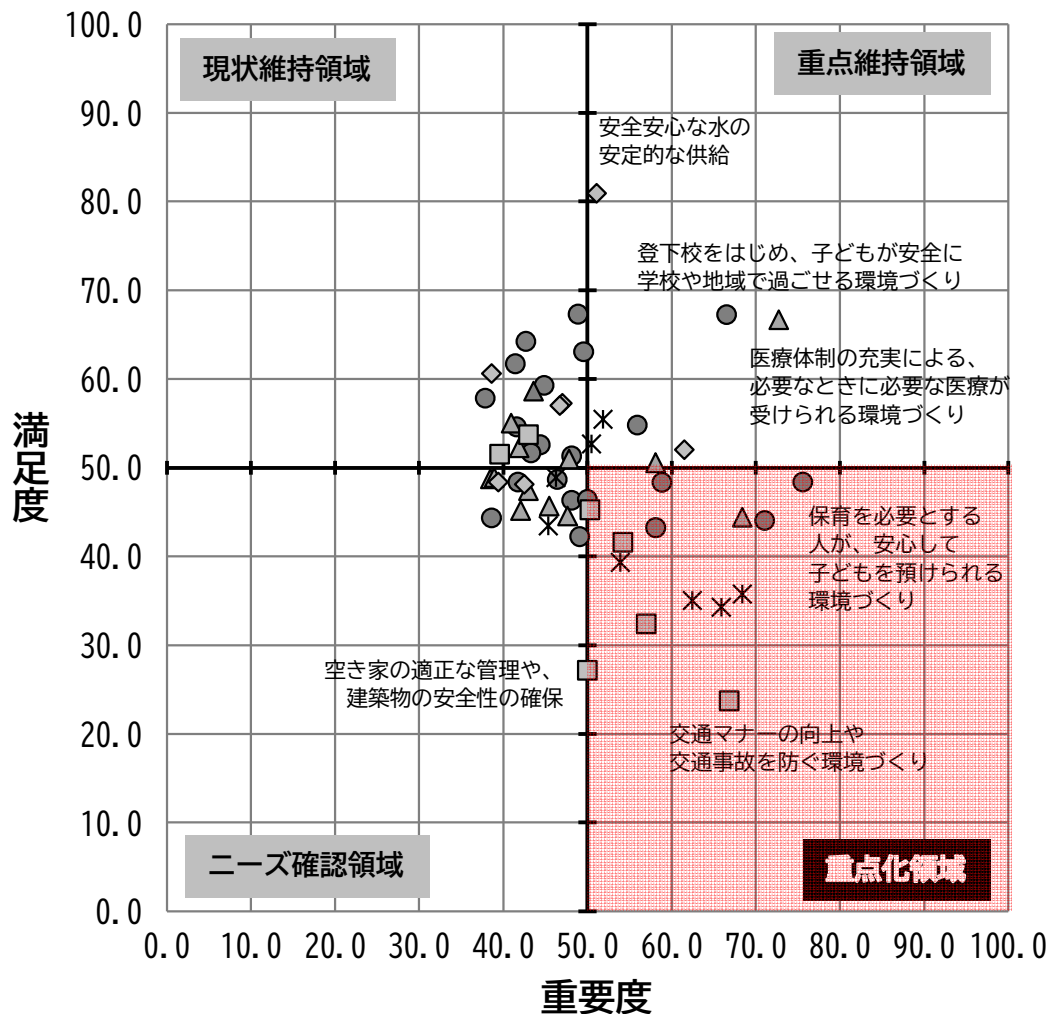
◆基本目標 『にぎわいと活力を創造するまち』

個別目標	項目	記号	重要度	満足度	領域
活発な経済活動が行われている (●)	地域の事業者や個人事業主が活躍し、事業継続ができる環境づくり	(ア)	46.3	48.9	二ーズ確認
	新たに市内で創業する事業者や個人事業主が活動しやすい環境づくり	(イ)	45.3	43.4	二ーズ確認
	農業や水産業など、地域で安全な食が生産され、消費される環境づくり	(ウ)	51.9	55.4	重点維持
観光資源が活かされている (▲)	関西国際空港とのアクセス性の活用や、観光資源が充実し、観光客が過ごしやすい環境づくり	(エ)	50.5	52.6	重点維持
岸和田の魅力が伝わっている (■)	岸和田の魅力の活用によるまちのイメージの向上	(オ)	65.9	34.3	重点化
にぎわいや活力を支える基盤が整っている (◆)	地域の活性化を導く拠点の形成	(カ)	62.5	35.0	重点化
	拠点とのアクセス性の向上	(キ)	68.4	35.7	重点化
	適正な土地利用と景観形成	(ク)	53.9	39.3	重点化



◆全施策

全体をみると、58 施策のうち 19 施策が現状維持領域、8 施策が重点維持領域、16 施策がニーズ確認領域、14 施策が重点化領域に分布しています。



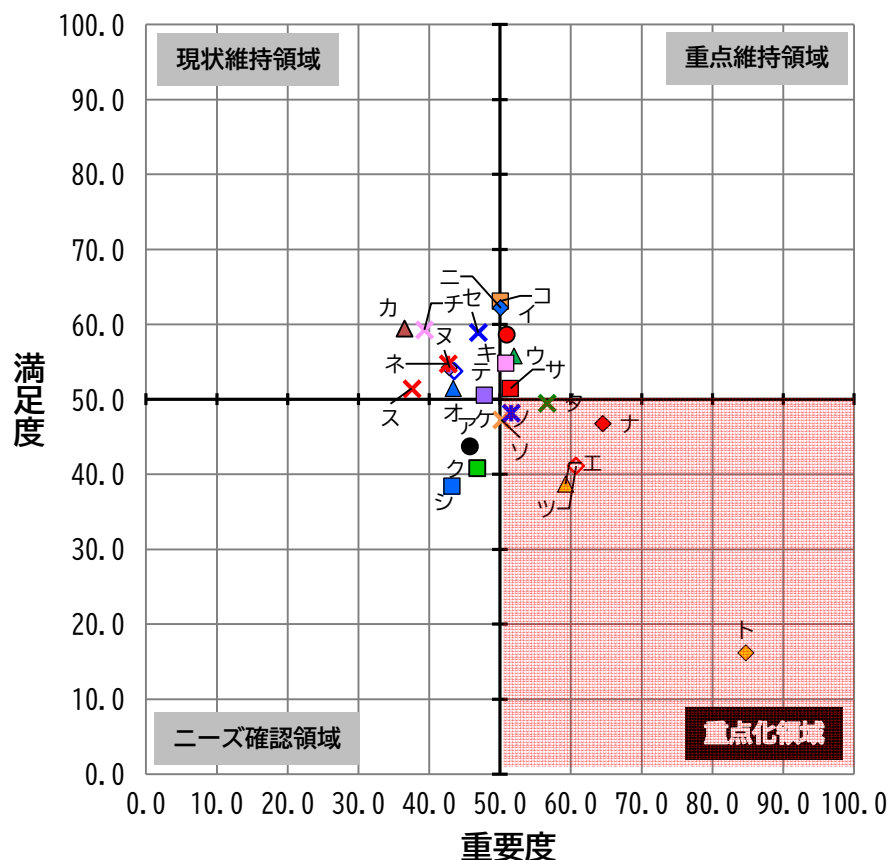
- 基本目標『岸和田の次世代を育むまち』
- ▲ 基本目標『健康で自分らしく生きられるまち』
- 基本目標『安全で安心して暮らせるまち』
- ◆ 基本目標『人と自然が共生した住みよいまち』
- * 基本目標『にぎわいと活力を創造するまち』

(3) 重要度の高い項目（上位3位）の重点化領域の分析

以下は重要度上位3位（P.63 参照）までの項目について属性別にまとめました。

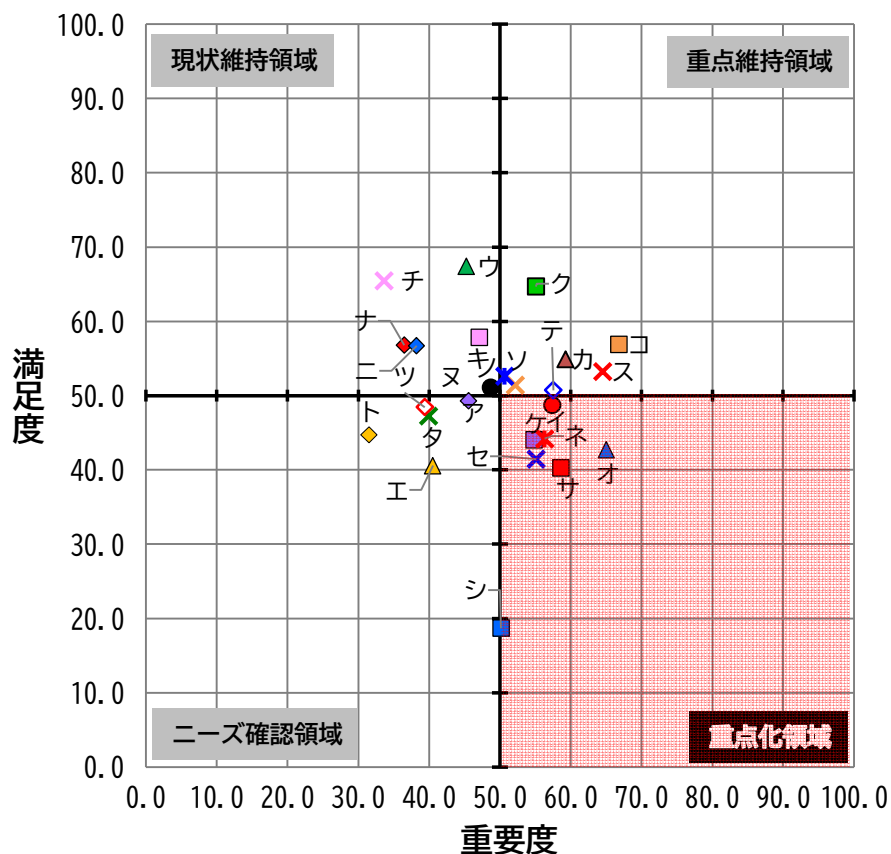
◆1位：保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくり

設問	属性	回答項目	記号	重要度	満足度	領域	凡例
問28	性別	男性	ア	45.8	43.7	ニーズ確認	●
		女性	イ	51.0	58.6	重点維持	●
問29	年齢4区分	15～29歳	ウ	52.0	55.8	重点維持	▲
		30～49歳	エ	59.3	38.7	重点化	▲
		50～64歳	オ	43.4	51.4	ニーズ確認	▲
		65歳以上	カ	36.6	59.4	現状維持	▲
問30	居住地域	都市中核地域	キ	50.9	54.8	重点維持	■
		岸和田北部地域	ク	46.8	40.8	ニーズ確認	■
		葛城の谷地域	ケ	47.8	50.5	現状維持	■
		岸和田中部地域	コ	50.1	63.1	重点維持	■
		久米田地域	サ	51.5	51.4	重点維持	■
		牛滝の谷地域	シ	43.2	38.4	ニーズ確認	■
問35	家族構成	単身	ス	37.5	51.4	現状維持	×
		夫婦	セ	46.9	58.9	現状維持	×
		親子（2世代）	ソ	50.2	47.3	重点化	×
		親・子・孫（3世代）	タ	56.6	49.5	重点化	×
		その他	チ	39.3	59.3	現状維持	×
問36	養育中の子どもの内訳	いる	ツ	60.8	41.1	重点化	◇
		いない	テ	43.6	53.7	現状維持	◇
問36-1	養育中の子どもの年代	就学前（0～5歳）	ト	84.7	16.1	重点化	◇
		小学生	ナ	64.5	46.7	重点化	◇
		中学生	ニ	50.1	62.2	重点維持	◇
		それ以外（高校生や大学生）	ヌ	42.9	54.2	現状維持	◇
問37	65歳以上の高齢者との同居の有無	いる	ネ	42.7	54.7	現状維持	*
		いない	ノ	51.6	48.2	重点化	*



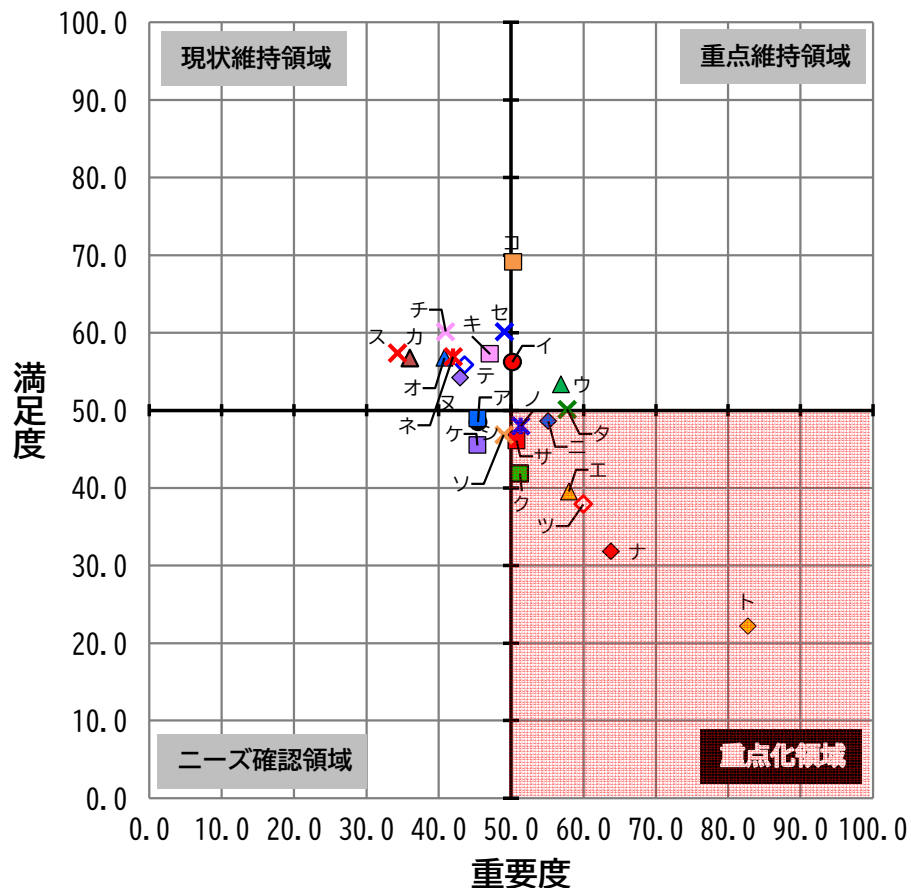
◆2位：医療体制の充実による、必要なときに必要な医療が受けられる
環境づくり

設問	属性	回答項目	記号	重要度	満足度	領域	凡例
問28	性別	男性	ア	48.7	51.1	現状維持	●
		女性	イ	57.4	48.7	重点化	●
問29	年齢4区分	15～29歳	ウ	45.3	67.4	現状維持	▲
		30～49歳	エ	40.5	40.6	ニーズ確認	▲
		50～64歳	オ	65.0	42.7	重点化	▲
		65歳以上	カ	59.3	54.9	重点化	▲
問30	居住地域	都市中核地域	キ	47.1	57.8	現状維持	■
		岸和田北部地域	ク	55.1	64.7	重点維持	■
		葛城の谷地域	ケ	54.8	44.0	重点化	■
		岸和田中部地域	コ	66.8	56.9	重点維持	■
		久米田地域	サ	58.7	40.2	重点化	■
		牛滝の谷地域	シ	50.2	18.7	重点化	■
問35	家族構成	単身	ス	64.5	53.2	重点化	×
		夫婦	セ	55.1	41.5	重点化	×
		親子（2世代）	ソ	52.2	51.4	重点維持	×
		親・子・孫（3世代）	タ	39.9	47.3	ニーズ確認	×
		その他	チ	33.6	65.5	現状維持	×
問36	養育中の子どもの内訳	いる	ツ	39.4	48.4	ニーズ確認	◇
		いない	テ	57.6	50.7	重点維持	◇
問36-1	養育中の子どもの年代	就学前（0～5歳）	ト	31.5	44.7	ニーズ確認	◇
		小学生	ナ	36.5	56.8	現状維持	◇
		中学生	ニ	38.2	56.7	現状維持	◇
		それ以外（高校生や大学生）	ヌ	45.6	49.3	ニーズ確認	◇
問37	65歳以上の高齢者との同居の有無	いる	ネ	56.3	44.2	重点化	*
		いない	ノ	50.7	52.6	重点維持	*



◆3位：妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減

設問	属性	回答項目	記号	重要度	満足度	領域	凡例
問28	性別	男性	ア	45.4	48.5	二一ズ確認	●
		女性	イ	50.2	56.2	現状維持	●
問29	年齢4区分	15～29歳	ウ	56.9	53.3	重点化	▲
		30～49歳	エ	58.0	39.5	重点化	▲
		50～64歳	オ	40.8	56.8	現状維持	▲
		65歳以上	カ	36.1	56.7	現状維持	▲
問30	居住地域	都市中核地域	キ	47.1	57.3	現状維持	■
		岸和田北部地域	ク	51.2	41.8	重点化	■
		葛城の谷地域	ケ	45.4	45.5	二一ズ確認	■
		岸和田中部地域	コ	50.3	69.1	重点維持	■
		久米田地域	サ	50.8	46.1	重点化	■
		牛滝の谷地域	シ	45.4	49.0	二一ズ確認	■
問35	家族構成	単身	ス	34.3	57.4	現状維持	×
		夫婦	セ	49.1	60.2	現状維持	×
		親子（2世代）	ソ	49.0	46.9	二一ズ確認	×
		親・子・孫（3世代）	タ	57.7	50.1	重点維持	×
		その他	チ	41.0	60.2	現状維持	×
問36	養育中の子どもの内訳	いる	ツ	60.0	37.9	重点化	◇
		いない	テ	43.6	55.8	現状維持	◇
問36-1	養育中の子どもの年代	就学前（0～5歳）	ト	82.7	22.2	重点化	◇
		小学生	ナ	63.8	31.8	重点化	◇
		中学生	ニ	55.2	48.6	重点化	◇
		それ以外（高校生や大学生）	ヌ	43.0	54.2	現状維持	◇
問37	65歳以上の高齢者との同居の有無	いる	ネ	42.0	56.9	現状維持	*
		いない	ノ	51.3	48.0	重点化	*



第8章 子育て世代の意向分析

第8章 子育て世代の意向分析

8-1. 意向分析の方法

ここでは、子育て世代に焦点をあて、これらの世代の意向についてやや詳しく分析することとします。

具体的には、子育て世代に関係の深い項目を問 27-1、問 27-2 及び問 28 から抽出し、年齢区分「15～49 歳」（子育て世代と定義）の年齢層と「50 歳以上」の年齢層の 2 区分に分けて比較分析します。抽出した項目は以下の通りです。

- (1) 問 27-1-ウ 岸和田は、子ども生み育てやすい
- (2) 問 27-2-タ 子育てに関する不安を相談できる機会や場がある
- (3) 問 27-2-チ 働きながら子育てができる環境が整っている
- (4) 問 27-2-ツ 子どもが安全に遊ぶことができる
- (5) 問 27-2-テ 子どもの固性や能力にあった教育が行われている
- (6) 問 27-2-ヒ 困ったときに近くに相談できる人や場所がある
- (7) 問 28-3 保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくり
- (8) 問 28-6 登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくり
- (9) 問 28-10 子ども一人ひとりが輝くための適切な教育支援

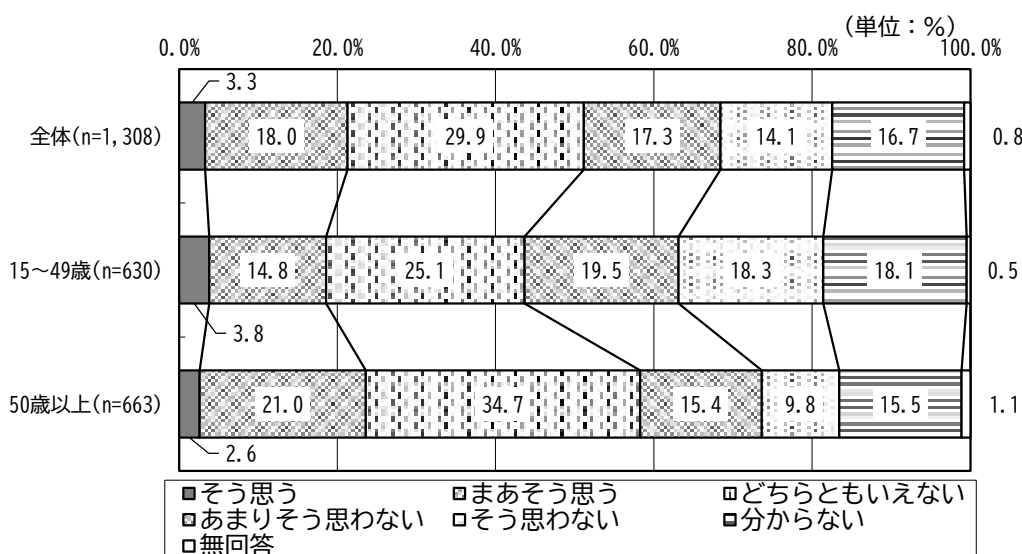
8-2. 意向分析の結果

(1) 「岸和田は、子どもを生み育てやすい」の意向

〔問 27-1-ウ〕の『岸和田は、子どもを生み育てやすい』についてみると、“思う”（「思う」「まあ思う」の合計）は、「15～49 歳（子育て世代）」（18.6%）、「50 歳以上」（23.6%）と「50 歳以上」が 5.0 ポイント高くなっています。

一方、“思わない”（「そう思わない」「あまりそう思わない」の合計）は、「15～49 歳（子育て世代）」（37.8%）、「50 歳以上」（25.2%）と「15～49 歳（子育て世代）」が 12.6 ポイント高くなっています。

■年齢2区分「岸和田は、子どもを生み育てやすい」の意向

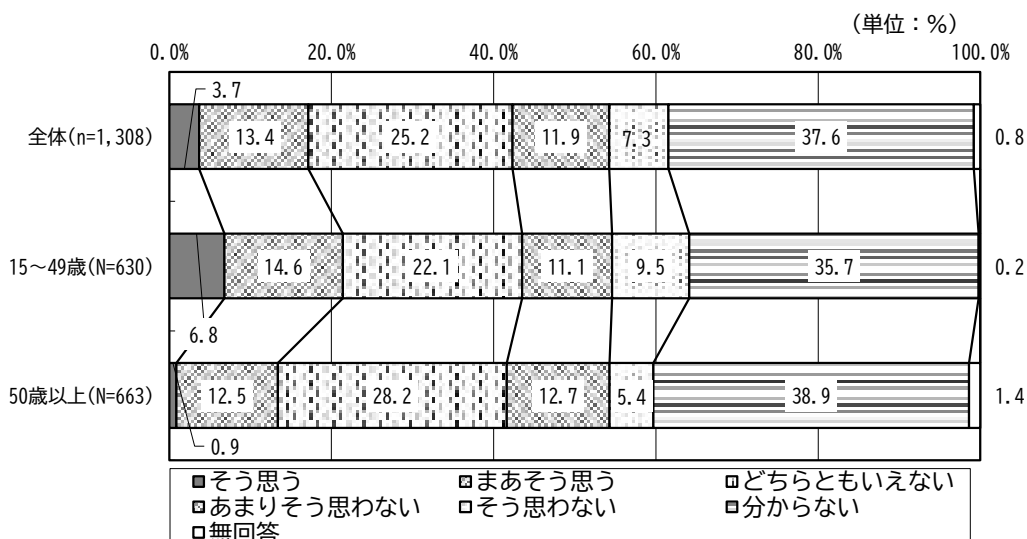


(2) 「子育てに関する不安を相談できる機会や場がある」の意向

〔問 27-2-タ〕の『子育てに関する不安を相談できる機会や場がある』についてみると、“思う”（「思う」「まあ思う」の合計）は、「15～49 歳（子育て世代）」（21.4%）、「50 歳以上」（13.4%）と「15～49 歳（子育て世代）」が 8.0 ポイント高くなっています。

一方、“思わない”（「そう思わない」「あまりそう思わない」の合計）は、「15～49 歳（子育て世代）」（20.6%）、「50 歳以上」（18.1%）と「15～49 歳（子育て世代）」が 2.5 ポイント高くなっています。

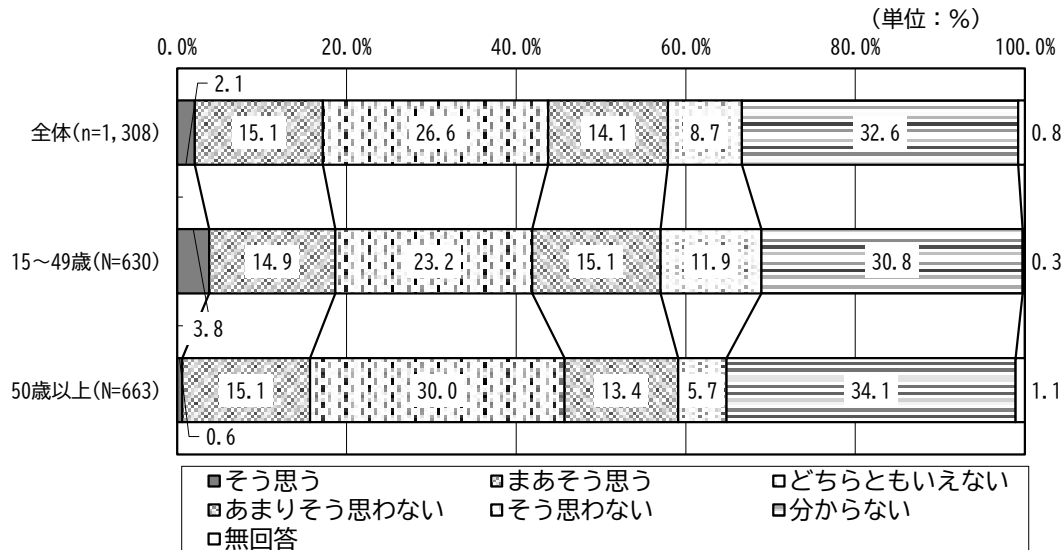
■年齢2区分「子育てに関する不安を相談できる機会や場がある」の意向



(3) 「働きながら子育てができる環境が整っている」の意向

〔問 27-2-チ〕の『働きながら子育てができる環境が整っている』についてみると、“思う”（「そう思う」「まあそう思う」の合計）は、「15～49 歳（子育て世代）」（18.7%）、「50 歳以上」（15.7%）と「15～49 歳（子育て世代）」が 3.0 ポイント高くなっています。一方、“思わない”（「そう思わない」「あまりそう思わない」の合計）は、「15～49 歳（子育て世代）」（27.0%）、「50 歳以上」（19.1%）と「15～49 歳（子育て世代）」が 7.9 ポイント高くなっています。

■年齢2区分「働きながら子育てができる環境が整っている」の意向

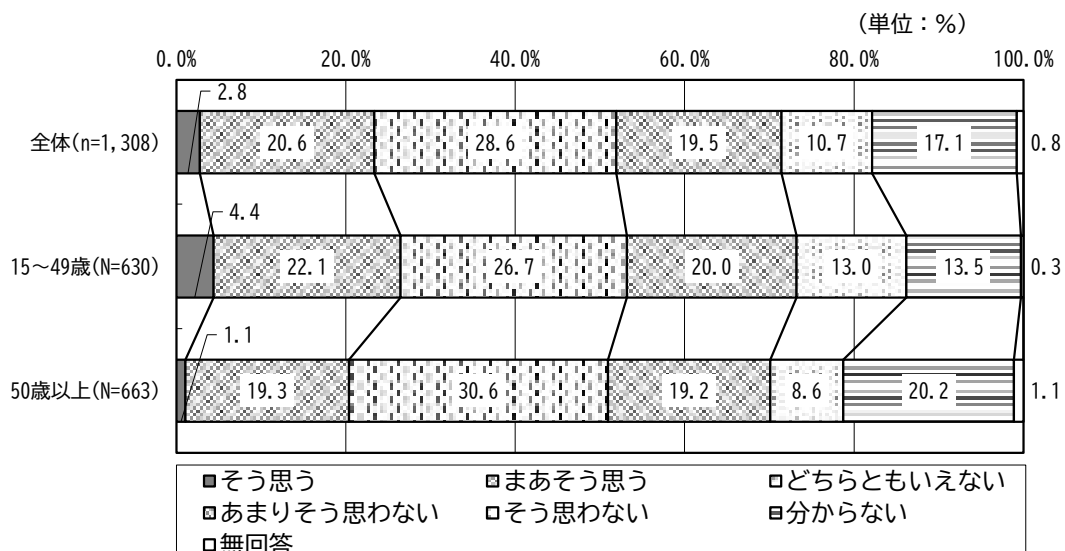


(4) 「子どもが安全に遊ぶことができる」の意向

〔問 27-2-ツ〕の『子どもが安全に遊ぶことができる』についてみると、“思う”（「そう思う」「まあそう思う」の合計）は、「15～49 歳（子育て世代）」（26.5%）、「50 歳以上」（20.4%）と「50 歳以上」が 6.1 ポイント高くなっています。

一方、“思わない”（「そう思わない」「あまりそう思わない」の合計）は、「15～49 歳（子育て世代）」（33.0%）、「50 歳以上」（27.8%）と「15～49 歳（子育て世代）」が 5.2 ポイント高くなっています。

■年齢2区分「子どもが安全に遊ぶことができる」の意向

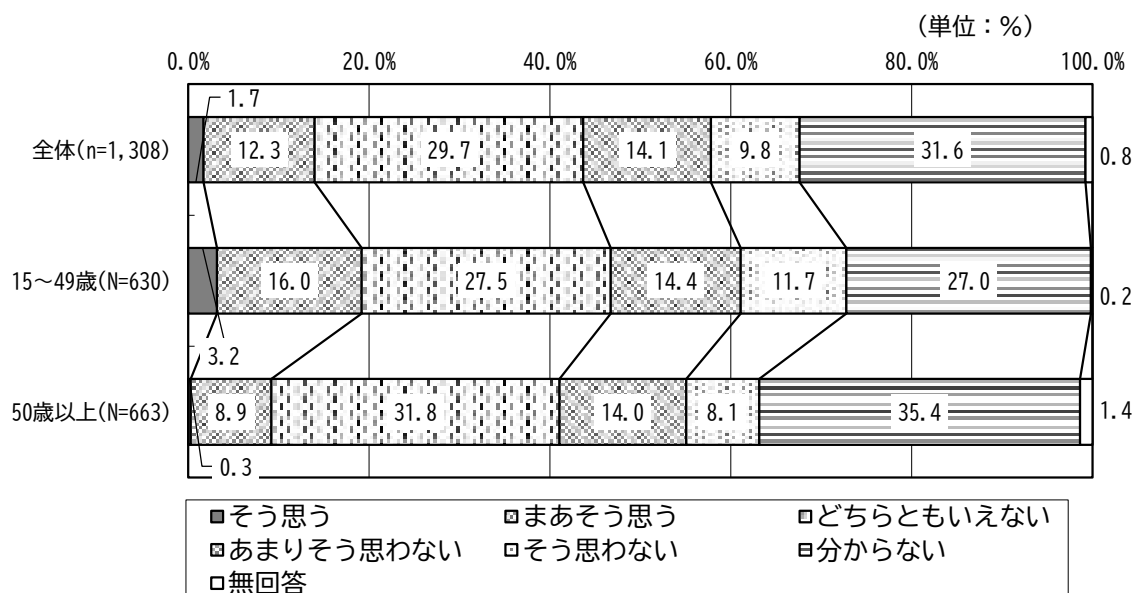


(5) 「子どもの個性や能力にあった教育が行われている」の意向

〔問 27-2-テ〕の『子どもの個性や能力にあった教育が行われている』についてみると、“思う”（「そう思う」「まあそう思う」の合計）は、「15～49 歳（子育て世代）」（19.2%）、「50 歳以上」（9.2%）と「15～49 歳（子育て世代）」が 10.0 ポイント高くなっています。

一方、“思わない”（「そう思わない」「あまりそう思わない」の合計）は、「15～49 歳（子育て世代）」（26.1%）、「50 歳以上」（22.1%）と「15～49 歳（子育て世代）」が 4.0 ポイント高くなっています。

■年齢2区分「子どもの個性や能力にあった教育が行われている」の意向

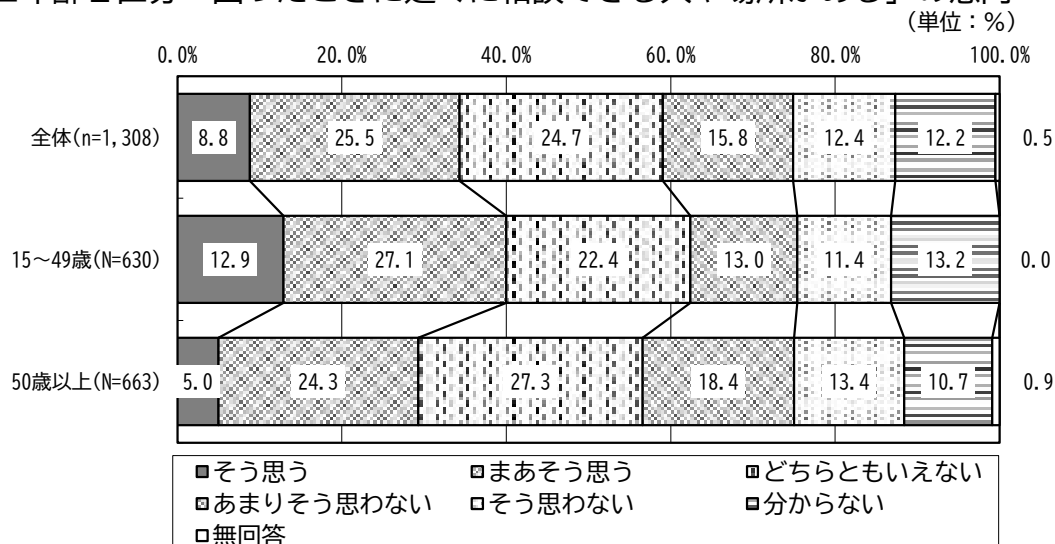


(6) 「困ったときに近くに相談できる人や場所がある」の意向

〔問 27-2-ヒ〕の『困ったときに近くに相談できる人や場所がある』についてみると、“思う”（「そう思う」「まあそう思う」の合計）は、「15～49 歳（子育て世代）」（40.0%）、「50 歳以上」（29.3%）と「15～49 歳（子育て世代）」が 10.7 ポイント高くなっています。

一方、“思わない”（「そう思わない」「あまりそう思わない」の合計）は、「15～49 歳（子育て世代）」（24.4%）、「50 歳以上」（31.8%）と「50 歳以上」が 7.4 ポイント高くなっています。

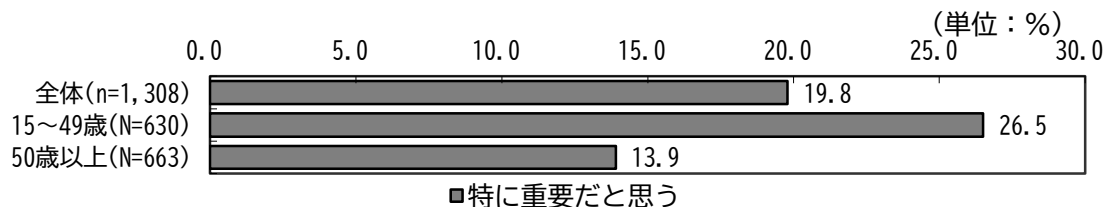
■年齢2区分「困ったときに近くに相談できる人や場所がある」の意向



(7)「保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくり」の意向

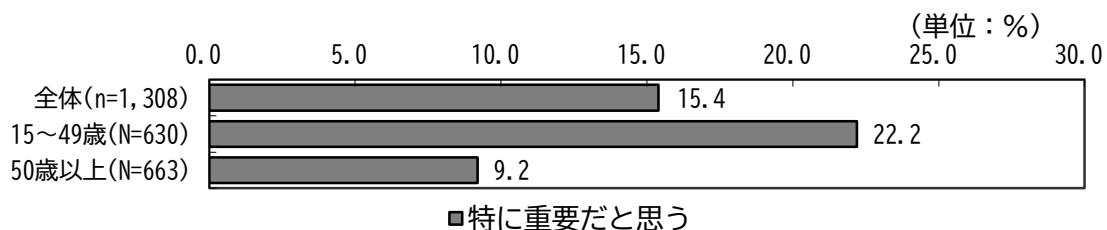
〔問 28-3〕の『保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくり』についてみると、“特に重要だと思う”は、「15～49 歳（子育て世代）」（26.5%）、「50 歳以上」（13.9%）と「15～49 歳（子育て世代）」が12.6 ポイント高くなっています。

■年齢2区分「保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくり」の意向

**(8)「登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくり」の意向**

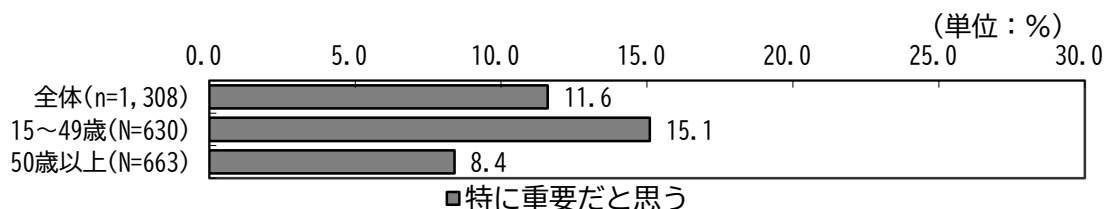
〔問 28-6〕の『登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくり』についてみると、“特に重要だと思う”は、「15～49 歳（子育て世代）」（22.2%）、「50 歳以上」（9.2%）と「15～49 歳（子育て世代）」が13.0 ポイント高くなっています。

■年齢2区分「登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくり」の意向

**(9)「子ども一人ひとりが輝くための適切な教育支援」の意向**

〔問 28-10〕の『子ども一人ひとりが輝くための適切な教育支援』についてみると、“特に重要だと思う”は、「15～49 歳（子育て世代）」（15.1%）、「50 歳以上」（8.4%）と「15～49 歳（子育て世代）」が6.7 ポイント高くなっています。

■年齢2区分「子ども一人ひとりが輝くための適切な教育支援」の意向



第9章 自由意見のまとめ

第9章 自由意見のまとめ

9-1. 自由意見のまとめ方

自由意見については、総合計画「将来ビジョン岸和田」の個別目標の方向性（65 目標）別に分類し、意見の要約及び意見数をまとめました。

この際、1つの意見が複数の内容にわたるものについては最も関係が深いと思われるものを抽出しています。

その結果を見ると、「63 安定的な歳入確保と適切な歳出管理を求める」（36 件）、「54 岸和田市の魅力を活用し、まちのイメージの向上を進める」（32 件）、「36 交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくりを進める」（32 件）などが多くなっています。

(1) 岸和田の次世代を育むまち

個別目標	個別目標の方向性	件数
育安心して子どもを 育てられている	1. 妊産婦や乳幼児の切れ目のない健康づくりを進める	3
	・ 出産や不妊治療の助成金を増やしてほしい	2
	・ 子どもをつくりたいと思える環境を作してほしい	1
	2. 妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減を進める	24
	・ 子育て支援を充実させてほしい	15
	・ 子育て世代が住みやすいまちにしてほしい	9
働きながら子育てが できている	3. 保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくりを進める	8
	・ 仕事と育児を両立できる環境をつくってほしい	2
	・ チビッコホームの利用料金、利用方法を検討してほしい	2
	・ 保育料を見直してほしい	2
	・ 幼保の再編（こども園への移行）を適切に進めてほしい	1
	・ 待機児童の解消をしてほしい	1
子どもの健康と安全が 保たれている	4. 健診などによる疾病の早期発見・予防など子どもの健康づくりを進める	0
	・ 該当なし	0
	5. 食育や体力づくりなど子どもの健康な身体づくりを進める	1
	・ 安全な学校給食運営に努めてほしい	1
	6. 登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくりを進める	9
	・ 安全に遊べるよう公園を維持管理してほしい	4
	・ 安全に通学できる歩道を整備してほしい	2
	・ 身近にボール遊びができる公園を整備してほしい	1
	・ 子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境をつくってほしい	1
	・ 通学路巡回パトロールを強化してほしい	1
	7. 障害のある子どもの発達支援とともに、家庭生活での負担軽減を進める	3
	・ 障害児への支援を充実させてほしい	3
かに育まれている 子どもの個性や能力が豊	8. 育てにくさを感じる親への支援や、児童虐待に関する相談の充実、早期発見・早期対応を進める	2
	・ 不登校児童への支援を充実させてほしい	2
	9. 適正な就学・就園や経済的な支援により教育機会を確保する	2
	・ 高校・大学まで経済的支援を充実させてほしい	1
	・ 学校統廃合は慎重に考えてほしい	1
	10. 子ども一人ひとりが輝くための適切な教育支援を行う	10
	・ 子どもの教育に力を入れてほしい	7
	・ 学力向上対策を検討してほしい	2
	・ 少人数学級の実現に向けた取組を進めてほしい	1

個別 目標	個別目標の方向性	件数
育 子 ま ども れ て の い る 個 性 や 能 力 が 豊 か に	11. 学校園の適切な維持管理や魅力ある運営を行う	8
	・ 小・中学校の校舎が古すぎる	5
	・ 学校の設備を充実させてほしい	3
	12. 地域と連携し、子どもの社会的な心を育む	8
	・ 青少年の育成に力を入れてほしい	5
	・ 未成年者の飲酒、喫煙を取り締まってほしい	3
	13. 地域の産業を担う人材育成を進める	0
進 め め ら れ た 生 れ わ に 涯 た に る わ た る 能 力 づ く り が	14. 様々な学びの活動や知識、経験の活用を進めるとともに、コミュニティのつながりを創出する	3
	・ 図書館をもっと活用できるようにしてほしい	3
	15. スポーツへの親しみや参画の向上を図るとともに、スポーツができる環境づくりを進める	1
	・ 人工芝のグラウンドを整備してほしい	1
	16. 芸術や文化への親しみや参画の機会を通して、心の豊かさの醸成を図る	0
	・ 該当なし	0
	17. 働きたい人の就労機会の確保を進める	0
場 誰 が も つ く が ら れ 社 て る 会 参 加 し 、 活 躍 で き る	・ 該当なし	0
	18. 市内事業所の労働環境の向上を進める	0
	・ 該当なし	0
	19. 障害者の就労支援の充実と生きがいづくりを進める	0
	・ 該当なし	0
	20. 高齢者の雇用促進と生きがいづくりを進める	0
	・ 該当なし	0
が 文 れ 化 い が る が 引 郷 き 土 継 の 歴 史 や	21. 郷土の歴史や文化に触れる機会をつくる	0
	・ 該当なし	0
	22. 岸和田の歴史や文化財の保存・活用を進める	3
	・ 歴史的・文化的に価値のある施設は包括的に整備してほしい	3

第9章 自由意見のまとめ

(2) 健康で自分らしく生きられるまち

個別目標	個別目標の方向性	件数
健康意識の向上とともに、介護予防の心身が健康増進している	23. 健康意識の向上や重症化予防など疾病予防を進める	2
	・ 市民健康診断を充実させてほしい	2
医療サービスを受ける緊急時にも医療が受けられる状態になっている	24. 医療体制の充実により、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくりを進める	4
	・ 市民病院を続けてほしい	2
	・ 医療体制や福祉サービスを改善してほしい	1
	・ 市民病院の救急・救命を充実してほしい	1
平和で、多様な価値観が尊重され、他者への理解が促進し、自分らしく生活できる環境が整っている	25. 個々の人権や多様な価値観の尊重意識を広げるとともに、多文化に触れる機会を創出し、他者理解を促進する	0
	・ 該当なし	0
	26. 男女共同参画の取組を進める	0
	・ 該当なし	0
	27. みんなが使いやすいデザインに配慮した施設環境をつくる	1
	・ 庁舎は障がい者のことも考えて施設設計してほしい	1
	28. 平和への意識向上を進める	0
	・ 該当なし	0
地域で支えあい、助けあえる関係が築けている	29. 常日頃から、地域の中でお互いに助けあえる地域共生社会の関係づくりを進める	3
	・ 各個人の事情も考慮したコミュニティづくりを支援してほしい	3
介護や医療保険、障害者支援の福祉サービスなど、誰もが必要な支援を受け安心して生活している	30. その人らしい自立した生活につながる介護サービスを提供する	3
	・ 介護サービスを充実させてほしい	2
	・ 介護認定制度について見直してほしい	1
	31. 医療保険制度を適切に運営する	2
	・ 国民健康保険料の負担を軽減してほしい	1
	・ 高齢者に対する独自の医療補助制度を考えてほしい	1
	32. 高齢者が自分らしく生活できる環境づくりを進める	2
	・ 老後の不安を解消できる対策をしてほしい	1
	・ 高齢者への支援を充実させてほしい	1
	33. 障害者が自分らしく生活できる環境づくりを進める	2
	・ 障害者への支援を充実させてほしい	2
	34. 生活困窮者などに必要な支援を行う	2
	・ 物価高騰に対し生活支援対策を実施してほしい	2
	35. 住宅困窮者に居住支援を行う	0
	該当なし	0

(3) 安全で安心して暮らせるまち

個別目標	個別目標の方向性	件数
事故や犯罪などに巻き込まれない生活が送れている	36. 交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくりを進める	32
	・道路を適切に維持管理してほしい	12
	・市民の交通ルールを守る意識を向上させてほしい	7
	・安全に通行できる歩道の整備をしてほしい	7
	・安全に通行できる設備を整備してほしい	3
	・駐車違反に対する対策をしてほしい	2
	・交通違反对応、防犯対策をしっかりしてほしい	1
	37. 空き家対策や建築物の安全性の確保を行うとともに、良好な住環境の創出を進める	3
	・空き家の売却や有効活用を進めてほしい	2
	・倒壊しそうな空き家は解体・整備してほしい	1
	38. 防犯意識の向上とともに、犯罪防止につながる環境づくりを進める	2
災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている	・外国人の増加による生活上の不安を解消してほしい	2
	39. 安心してサービスや物の購入などの消費行動が行える環境づくりを進める	0
	・該当なし	0
	40. 災害被害を最小限にする強靱な基盤の整備を計画的に進める	6
	・災害に強い市庁舎の建て替えなど具体策を早急に進めてほしい	4
	・防災対策を強化してほしい	2
	41. 発災時にみんなが迅速かつ柔軟に対応できる環境づくりを進める	5
	・市庁舎の建設地は災害に強い場所を選んでほしい	4
	・市民の災害対応力を高めてほしい	1
	42. 火災予防や火災被害を最小限にする取組を進める	0
	・該当なし	0

(4) 人と自然が共生した住みよいまち

個別目標	個別目標の方向性	件数
良好な生活環境とともに、まちが美しくなっている	43. 環境汚染などによる健康被害の発生を防ぐ	2
	・生活環境上の騒音対策を強化してほしい	2
	44. 安全安心な水を安定的に供給する	3
	・水道料金の負担を軽減してほしい	2
	・水道の水質をより改善してほしい	1
	45. まちの美化を進める	14
	・落書きの無いまちになってほしい	5
	・川を綺麗にしてほしい	4
	・地域の緑化や景観化を進めてほしい	3
	・不法投棄等の防止をしてほしい	2

第9章 自由意見のまとめ

個別目標	個別目標の方向性	件数
人が緑と触れあっている	46. まちの緑の適正な保全とまちの緑化を進める	0
	・該当なし	0
	47. 貴重な自然環境と生物多様性の保全・活用を進める	1
	・自然環境をこわさないでほしい	1
環境の負荷を減らした循環共生型の地域社会がつけられていく	48. ごみの減量や資源の有効活用など3R+Rを進める	11
	・ごみ回収方法の見直しを行ってほしい	5
	・ごみ袋を無償化してほしい	4
	・ごみの減量化を推進してほしい	2
	49. 省エネルギー化や再生可能エネルギーによる脱炭素を推進し、地球温暖化防止を進める	1
	・省エネルギー対策への支援を充実させてほしい	1

(5) にぎわいと活力を創造するまち

個別目標	個別目標の方向性	件数
活発な経済活動が行われている	50. 地域の事業者や個人事業主が活躍し、事業継続ができる環境づくりを進める	0
	・該当なし	0
	51. 新たに市内で活動する事業者や個人事業主が、活動しやすい環境づくりを進める	4
	・企業やホテル、大学等を誘致してまちを活性化してほしい	4
	52. 農業や水産業など、地域で安全な食が生産され、消費される環境づくりを進める	2
	・地場産業を大事にし、名産品の創出やアピールに力を入れてほしい	2
観光資源が活かされている	53. 関西国際空港とのアクセス性を活かすとともに、観光資源が充実し、観光客が過ごしやすい環境づくりを進める	4
	・だんじり祭を活かして観光振興をしてほしい	3
	・資源をもっと活かして観光誘致をしてほしい	1
岸和田の魅力が伝わっている	54. 岸和田の魅力を活用し、まちのイメージの向上を進める	32
	・だんじり祭だけに頼らない魅力ある市になってほしい	12
	・岸和田市のイメージを良くしてほしい	10
	・古き良き伝統を残しながらも、新たな取組を行ってほしい	4
	・お城や食文化など歴史深い色々な事をもっと発信して地域の活性化にも力を入れてほしい	3
	・だんじり祭を大切に継承してほしい	2
	・シティーセールスを推進してほしい	1

個別目標	個別目標の方向性	件数
整にぎわいや活力を支える基盤が っている	55. 地域の活性化を導く拠点の形成を進める	21
	・駅前や商店街を活性化させてほしい	16
	・まちの開発を進めてほしい	5
	56. 拠点とのアクセス性の向上を図る	23
	・公共交通機関を充実させてほしい	13
	・自家用車が無くても生活できるようにしてほしい	6
	・ローズバスを充実させてほしい	4
	57. 適正な土地利用と景観形成を進める	1
	・古い施設を整備してほしい	1

(6) みんなでつくる持続可能なまち

個別目標	個別目標の方向性	件数
みんなが 主役の 協働・ 連携 した まち づくり が行 われ て い る	58. 地域の担い手が育ち、まちづくり活動が活発に行われている環境づくりを進める	16
	・町会費を祭礼、だんじりに使わないでほしい	4
	・自治会の主体性を高めてほしい	3
	・町会の活動がだんじり中心になっている	3
	・町会に加入するメリットを発信してほしい	2
	・自治会に全員が入るよう啓発してほしい	1
	・自治会と市が連携して負担を軽減してほしい	1
	・だんじり祭での団結力を地域のために活かしてほしい	1
	・町会に加入している人としていない人との公平性を保ってほしい	1
	59. 当事者意識の醸成とともに、様々な主体が力を発揮し、協働・連携できる環境づくりを進める	10
	・岸和田のいいところを市民自身をもっと知るように、外向きにも内向きにもPRしてほしい	4
	・だんじり祭になじみのない人にも住みやすい環境をつくってほしい	3
	・独身の人も住みやすいまちにしたい	2
	・住民と行政で、共に考える機会を増やしてほしい	1

個別 目標	個別目標の方向性	件数
持 続 可 能 で 信 頼 さ れ る 行 政 に な っ て い る	60. 業務の効率的かつ効果的な推進に資する職員の育成を進める	3
	・ 職員の意識向上を図ってほしい	2
	・ 職員の数を見直してほしい	1
	61. 適正で効率的かつ効果的な業務の実施を進める	22
	・ 行政サービスを偏りなく公平に行ってほしい	8
	・ 行政サービスを充実させてほしい	4
	・ 行政活動が見えるように市民に情報発信をしてほしい	4
	・ 市議会議員の定数を見直してほしい	3
	・ 幅広い年代の意見を聞いて市政に活かしてほしい	2
	・ 行政サービスを理解できるように市民に情報発信をしてほしい	1
	62. 行政手続きが便利になる環境づくりを進める	18
	・ 市庁舎の建て替えを早急に進めてほしい	5
	・ 市役所以外にも全般的な手続きができる施設がほしい	3
	・ 月に一度だけでも休日に行行政手続きができるようにしてほしい	2
	・ 行政手続きのオンライン化を進めてほしい	2
	・ 欲しい情報がすぐわかるホームページにしてほしい	2
	・ スマートフォンでの手続きが多くアナログにほしい	1
	・ 行政の認可決定が遅い	1
	・ 庁舎を市の中心に建設してほしい	1
	・ 市役所の待ち時間を軽減してほしい	1
	63. 安定的な歳入確保と適切な歳出管理を進める	36
	・ 生活保護受給が適正かどうか調査してほしい	10
	・ 市民全員に納得のいく税金の使い方をしてほしい	8
	・ 助成金、補助金やサービスを充実させてほしい	6
	・ 助成金、補助金やサービスの偏りをなくしてほしい	5
	・ 税金の負担を減らしてほしい	4
	・ 出費だけが多くなる現状を何とかしてほしい	3
	64. 市独自の歳入確保を進める	0
	・ 該当なし	0
そ の 他	65. その他	61
	・ 前市長について	10
	・ 岸和田市への応援と評価について	8
	・ その他の要望について	17
	・ その他の意見について	26

資料編

資料（１）問４から問２７までの単純集計結果（無回答を除いた集計結果）

問４ スポーツや運動（ウォーキング（散歩）や体操などを
含む。）を定期的（週１回以上）にしていますか？

	回答数	構成比
している	636	48.8
していない	668	51.2
合計	1,304	100.0

問12 省エネルギーの取組や再生可能エネルギー
（太陽光発電など）の活用を行っていますか？

	回答数	構成比
行っている	312	23.9
行っていない	992	76.1
合計	1,304	100.0

問５ この１年間に芸術・文化活動（コンサートや
演劇などの鑑賞を含む。）を行ったことがありますか？

	回答数	構成比
ある	539	41.3
ない	767	58.7
合計	1,306	100.0

問13 かかりつけ医をもっていますか？

	回答数	構成比
もっている	910	69.8
もっていない	394	30.2
合計	1,304	100.0

問６ この１年間に郷土の歴史や文化財に触れる
機会はありましたか？

	回答数	構成比
ある	452	34.7
ない	851	65.3
合計	1,303	100.0

問14 この１年間に健康診断などを受けましたか？

	回答数	構成比
受けた	1,030	78.9
受けていない	275	21.1
合計	1,305	100.0

問７ この１年間に自分の経験や特技を何らかのかたちで
地域に活かしたことがありますか？

	回答数	構成比
ある	198	15.2
ない	1,106	84.8
合計	1,304	100.0

問15 地元の商店や商店街で頻繁（週に１回）に
買い物をしますか？

	回答数	構成比
する	590	45.2
しない	716	54.8
合計	1,306	100.0

問８ この１年間にボランティア活動や地域の
自治活動に参加したことがありますか？

	回答数	構成比
ある	290	22.2
ない	1,014	77.8
合計	1,304	100.0

問16 地元産の食品を優先して買いますか？

	回答数	構成比
買う	462	35.5
買わない	841	64.5
合計	1,303	100.0

問９ 町会・自治会を知っていますか？

	回答数	構成比
知っている	817	62.8
知らない	484	37.2
合計	1,301	100.0

問17 自由に使える余暇時間を確保できていますか？

	回答数	構成比
できている	1,013	77.6
できていない	292	22.4
合計	1,305	100.0

問10 この１年間にごみ拾いや美化活動を行った
ことはありますか？

	回答数	構成比
ある	360	27.6
ない	942	72.4
合計	1,302	100.0

問18 災害の際の非常持出し品や食糧などを
準備していますか？

	回答数	構成比
している	637	49.0
していない	662	51.0
合計	1,299	100.0

問11 ごみの減量化やリサイクルに取り組んでいますか？

	回答数	構成比
いる	934	71.7
いない	368	28.3
合計	1,302	100.0

問19 災害の際の緊急避難場所がどこか知っていますか？

	回答数	構成比
知っている	1,030	78.9
知らない	275	21.1
合計	1,305	100.0

問20 この1年間に何らかの消費者トラブルにあったことがありますか？

	回答数	構成比
ある	72	5.5
ない	1,231	94.5
合計	1,303	100.0

問21 騒音や大気汚染などの公害に悩まされていますか？

	回答数	構成比
いる	233	17.9
いない	1,070	82.1
合計	1,303	100.0

問22 規則正しい食生活を心がけていますか？

	回答数	構成比
いる	1,070	81.9
いない	236	18.1
合計	1,306	100.0

問23 あなたは、地域巡回バス「ローズバス」を知っていますか？

	回答数	構成比
知っている	977	74.9
知らない	329	25.2
合計	1,306	100.1

問24 あなたは、地域巡回バス「ローズバス」を利用したことがありますか？

	回答数	構成比
ある	153	11.7
ない	1,152	88.3
合計	1,305	100.0

問25 地区市民協議会の活動を知っていますか？

	回答数	構成比
知っている	301	23.1
知らない	1,004	76.9
合計	1,305	100.0

問26 この1年間にスマートフォンなどデジタル技術を活用して行政手続き（サービス等の利用を含む。）を行ったことがありますか？

	回答数	構成比
ある	540	42.3
ない	738	57.7
合計	1,278	100.0

問27-1 自身の感じ方

問27-1ア 生きがいを感じることもある

	回答数	構成比
そう思う	237	18.2
まあそう思う	507	39.0
どちらともいえない	338	26.0
あまりそう思わない	127	9.8
そう思わない	68	5.2
分からない	23	1.8
合計	1,300	100.0

問27-1イ 仕事と生活の調和（ライフ・ワーク・バランス）が取れている

	回答数	構成比
そう思う	165	12.8
まあそう思う	504	38.9
どちらともいえない	292	22.6
あまりそう思わない	153	11.8
そう思わない	138	10.7
分からない	42	3.2
合計	1,294	100.0

問27-1ウ 岸和田は、子どもを生み育てやすい

	回答数	構成比
そう思う	43	3.3
まあそう思う	235	18.1
どちらともいえない	391	30.1
あまりそう思わない	226	17.4
そう思わない	184	14.2
分からない	218	16.8
合計	1,297	100.0

問27-1エ 安全な水が安定して供給されている

	回答数	構成比
そう思う	387	29.8
まあそう思う	586	45.1
どちらともいえない	182	14.0
あまりそう思わない	47	3.6
そう思わない	23	1.8
分からない	73	5.6
合計	1,298	100.0

問27-1オ 農業や漁業に魅力がある

	回答数	構成比
そう思う	162	12.5
まあそう思う	374	28.8
どちらともいえない	420	32.3
あまりそう思わない	155	11.9
そう思わない	98	7.5
分からない	90	6.9
合計	1,299	100.0

問27－１カ 岸和田が多く観光客でにぎわい、
観光の振興が十分である

	回答数	構成比
そう思う	47	3.6
まあそう思う	198	15.2
どちらともいえない	366	28.1
あまりそう思わない	357	27.4
そう思わない	255	19.6
分からない	78	6.0
合計	1,301	100.0

問27－１キ 商工業に活気がある

	回答数	構成比
そう思う	22	1.7
まあそう思う	111	8.5
どちらともいえない	397	30.6
あまりそう思わない	348	26.8
そう思わない	264	20.3
分からない	157	12.1
合計	1,299	100.0

問27－１ク 働く意欲のある人に働ける場所が
確保されている

	回答数	構成比
そう思う	28	2.2
まあそう思う	120	9.2
どちらともいえない	439	33.7
あまりそう思わない	277	21.3
そう思わない	192	14.7
分からない	246	18.9
合計	1,302	100.0

問27－１ケ 労働環境に満足している

	回答数	構成比
そう思う	61	4.7
まあそう思う	279	21.6
どちらともいえない	390	30.1
あまりそう思わない	223	17.2
そう思わない	157	12.1
分からない	184	14.2
合計	1,294	100.0

問27－１コ 岸和田の歴史や伝統がしっかりと
引き継がれている

	回答数	構成比
そう思う	196	15.1
まあそう思う	552	42.5
どちらともいえない	289	22.3
あまりそう思わない	96	7.4
そう思わない	56	4.3
分からない	109	8.4
合計	1,298	100.0

問27－１サ 海や川の水がきれいである

	回答数	構成比
そう思う	32	2.5
まあそう思う	192	14.8
どちらともいえない	395	30.4
あまりそう思わない	360	27.7
そう思わない	260	20.0
分からない	60	4.6
合計	1,299	100.0

問27－１シ 平和は大切である

	回答数	構成比
そう思う	1,069	82.5
まあそう思う	186	14.4
どちらともいえない	28	2.2
あまりそう思わない	3	0.2
そう思わない	6	0.5
分からない	3	0.2
合計	1,295	100.0

問27－１ス 人権問題は差別を受けている人の
問題であって自分とは関係がない

	回答数	構成比
そう思う	29	2.2
まあそう思う	54	4.2
どちらともいえない	243	18.7
あまりそう思わない	219	16.9
そう思わない	697	53.7
分からない	57	4.4
合計	1,299	100.0

問27－１セ 男女がそれぞれの能力を十分に発揮しあい、
あらゆる場面で協力し合っている

	回答数	構成比
そう思う	62	4.8
まあそう思う	239	18.3
どちらともいえない	460	35.3
あまりそう思わない	239	18.3
そう思わない	108	8.3
分からない	195	15.0
合計	1,303	100.0

問27－１ソ 市役所から発信された情報（広報きしわだ、
ホームページなど）が分かりやすい

	回答数	構成比
そう思う	80	6.1
まあそう思う	412	31.6
どちらともいえない	405	31.1
あまりそう思わない	157	12.0
そう思わない	109	8.4
分からない	141	10.8
合計	1,304	100.0

問27-2 住んでいる地域（小学校区）の感じ方

問27-2タ 子育てに関する不安を
相談できる機会や場がある

	回答数	構成比
そう思う	49	3.8
まあそう思う	175	13.5
どちらともいえない	330	25.4
あまりそう思わない	155	12.0
そう思わない	96	7.4
分からない	492	37.9
合計	1,297	100.0

問27-2チ 働きながら子育てができる
環境が整っている

	回答数	構成比
そう思う	28	2.2
まあそう思う	197	15.2
どちらともいえない	348	26.8
あまりそう思わない	184	14.2
そう思わない	114	8.8
分からない	427	32.9
合計	1,298	100.0

問27-2ツ 子どもが安全に遊ぶことができる

	回答数	構成比
そう思う	36	2.8
まあそう思う	269	20.7
どちらともいえない	374	28.8
あまりそう思わない	255	19.6
そう思わない	140	10.8
分からない	224	17.3
合計	1,298	100.0

問27-2テ 子どもの個性や能力にあった
教育が行われている

	回答数	構成比
そう思う	22	1.7
まあそう思う	161	12.4
どちらともいえない	388	29.9
あまりそう思わない	185	14.3
そう思わない	128	9.9
分からない	413	31.8
合計	1,297	100.0

問27-2ト 安心して歩道を通行することができる

	回答数	構成比
そう思う	62	4.8
まあそう思う	224	17.3
どちらともいえない	306	23.6
あまりそう思わない	347	26.7
そう思わない	320	24.7
分からない	39	3.0
合計	1,298	100.0

問27-2ナ ユニバーサルデザイン化が進んでいる

	回答数	構成比
そう思う	14	1.1
まあそう思う	100	7.6
どちらともいえない	381	29.1
あまりそう思わない	309	23.6
そう思わない	230	17.6
分からない	264	20.2
無回答	10	0.8
合計	1,308	100.0

問27-2ニ 鉄道駅周辺の市街地に活気がある

	回答数	構成比
そう思う	42	3.2
まあそう思う	174	13.4
どちらともいえない	284	21.8
あまりそう思わない	380	29.2
そう思わない	357	27.4
分からない	64	4.9
合計	1,301	100.0

問27-2ヌ 拠点ににぎわいがある

（拠点とは、臨海部の工業・流通地域、各鉄道駅周辺
（岸和田駅周辺には岸和田城や港緑町を含む）、
ゆめみヶ丘岸和田、山直東交通広場周辺）

	回答数	構成比
そう思う	34	2.6
まあそう思う	175	13.5
どちらともいえない	316	24.3
あまりそう思わない	324	24.9
そう思わない	298	22.9
分からない	154	11.8
合計	1,301	100.0

問27-2ネ 景観がよく保全されている

	回答数	構成比
そう思う	41	3.2
まあそう思う	276	21.3
どちらともいえない	448	34.5
あまりそう思わない	261	20.1
そう思わない	158	12.2
分からない	113	8.7
合計	1,297	100.0

問27-2ノ 市内をスムーズに移動できる

	回答数	構成比
そう思う	77	5.9
まあそう思う	418	32.1
どちらともいえない	340	26.1
あまりそう思わない	242	18.6
そう思わない	174	13.4
分からない	50	3.8
合計	1,301	100.0

問27－２ハ 高齢者が安心して生活できている

	回答数	構成比
そう思う	54	4.1
まあそう思う	264	20.3
どちらともいえない	389	29.9
あまりそう思わない	239	18.3
そう思わない	157	12.0
分からない	200	15.3
合計	1,303	100.0

問27－２ヒ 困ったときに近くに相談できる
人や場所がある

	回答数	構成比
そう思う	115	8.8
まあそう思う	334	25.7
どちらともいえない	323	24.8
あまりそう思わない	207	15.9
そう思わない	162	12.5
分からない	160	12.3
合計	1,301	100.0

問27－２フ 住民が交流する機会が多い

	回答数	構成比
そう思う	65	5.0
まあそう思う	210	16.1
どちらともいえない	383	29.4
あまりそう思わない	269	20.6
そう思わない	195	15.0
分からない	182	14.0
合計	1,304	100.0

問27－２ヘ 行政の手続きが便利になった

	回答数	構成比
そう思う	47	3.6
まあそう思う	273	20.9
どちらともいえない	397	30.4
あまりそう思わない	223	17.1
そう思わない	167	12.8
分からない	198	15.2
合計	1,305	100.0

令和７年度岸和田市市民意識調査

回 答 票

※ 回答後、この回答票のみを返信用
封筒に入れて送付してください。



©岸和田市イメージキャラクター
ちきりくん

I 岸和田のまちについてお聞きます。

問1 あなたは、岸和田市の住みやすさについてどう思いますか？
あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

1. 住みよい	4. どちらかといえば住みにくい
2. どちらかといえば住みよい	5. 住みにくい
3. どちらともいえない	6. 分からない

問2 今後も岸和田市内に住み続けたいと思いますか？
あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

1. いつまでも住み続けたい	3. できれば他市町村へ移転したい
2. 当分住み続けたい	4. すぐにでも他市町村へ移転したい



前問で1、2を選んだ方（問2-1へ）



前問で3、4を選んだ方（問2-2へ）

問2-1 住み続けたいと思う理由は何ですか？
あてはまる番号を3つ選んで○をつけてください。

1. 子育てがしやすい
2. 子どもの教育環境が良い
3. 公民館や運動施設などが充実している
4. 住み慣れていて愛着がある
5. 医療・福祉サービスが充実している
6. 災害に対する不安が小さい
7. 犯罪が少ない
8. 交通の便が良い
9. 買い物や外食が便利
10. 自然・緑が多い
11. まちのイメージが良い
12. 地域での人間関係が良い
13. 学校や仕事、家族、家（家賃など）の都合
14. その他（ ）

問2-2 住み続けたくないと思う理由は何ですか？ あてはまる番号を3つ選んで○をつけてください。

1. 子育てがしにくい
2. 子どもの教育環境が良くない
3. 公民館や運動施設などが充実していない
4. 住み慣れておらず愛着がない
5. 医療・福祉サービスが充実していない
6. 災害に対する不安が大きい
7. 犯罪が多い
8. 交通の便が良くない
9. 買い物や外食が不便
10. 自然・緑が少ない
11. まちのイメージが良くない
12. 地域での人間関係が良くない
13. 学校や仕事、家族、家（家賃など）の都合
14. その他（ ）

問2-3 前問で11を選んだ方にさらにお聞きます。あなたがまちのイメージが良い、もしくは、まちのイメージが良くないと思う理由は何ですか？具体的にご記入ください。

--

問3 あなたは、岸和田のまちを誇りに思いますか？
あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

1. 思う	4. どちらかといえば思わない
2. どちらかといえば思う	5. 思わない
3. どちらともいえない	6. 分からない

Ⅱ 日常生活などについてお聞きます。

問4 あなたは、スポーツや運動（ウォーキング（散歩）や体操などを含む。）を週に1回以上していますか？

1. している	2. していない
---------	----------

問5 あなたは、この1年間に芸術・文化活動（コンサートや演劇などの鑑賞を含む。）を行ったことがありますか？

1. ある	2. ない
-------	-------

問6 あなたは、この1年間に郷土の歴史や文化財に触れる機会がありましたか？

1. ある	2. ない
-------	-------

問7 あなたは、この1年間に自分の経験や特技を何らかのかたちで地域に活かしたことがありますか？

1. ある	2. ない
-------	-------

問8 あなたは、この1年間にボランティア活動や地域の自治活動に参加したことがありますか？

1. ある	2. ない
-------	-------

問9 あなたは、町会・自治会の活動を知っていますか？

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問10 あなたは、この1年間にごみ拾いや美化活動を行ったことはありますか？

1. ある	2. ない
-------	-------

問11 あなたは、ごみの減量化やリサイクルに取り組んでいますか？

1. いる	2. いない
-------	--------

問12 あなたは、省エネルギーの取組や再生可能エネルギー（太陽光発電など）の活用を行っていますか？

1. 行っている	2. 行っていない
----------	-----------

問13 あなたは、かかりつけ医をもちますか？

1. もっている	2. もっていない
----------	-----------

問14 あなたは、この1年間に健康診断などを受けましたか？

1. 受けた	2. 受けていない
--------	-----------

問15 あなたは、地元の商店や商店街で週に1回以上買い物をしますか？

1. する	2. しない
-------	--------

問16 あなたは、地元産の食品を優先して買いますか？

1. 買う	2. 買わない
-------	---------

問17 あなたは、自由に使える余暇時間を確保できていますか？

1. できている	2. できていない
----------	-----------

問18 あなたは、災害の際の非常持出し品や食糧などを準備していますか？

1. している	2. していない
---------	----------

問19 あなたは、災害の際の緊急避難場所がどこか知っていますか？

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問20 あなたは、この1年間に何らかの消費者トラブルにあったことがありますか？

1. ある	2. ない
-------	-------

問21 あなたは、騒音や大気汚染などの公害に悩まされていますか？

1. いる	2. いない
-------	--------

問22 あなたは、規則正しい食生活を心がけていますか？

1. いる	2. いない
-------	--------

問23 あなたは、地域巡回バス「ローズバス」を知っていますか？

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問24 あなたは、地域巡回バス「ローズバス」を利用したことがありますか？

1. ある	2. ない
-------	-------

問25 あなたは、地区市民協議会※の活動を知っていますか？

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

※ 地区市民協議会とは、小学校区毎に組織されているコミュニティ組織で、自らの地域社会をみんなの力で住みよくしていくことを目的に活動しているもの

問26 あなたは、この1年間にスマートフォンなどデジタル技術を活用して行政手続き(サービス等の利用を含む。)を行ったことがありますか？

1. ある	2. ない
-------	-------

Ⅲ あなた自身の感じ方についてお聞きます。

問27-1 あなたは、次の各記述をどう思いますか？ 項目ごとにあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

項 目	その通り 思う	まあその 通り思う	ややその 通りと思う	あまりそう 思わない	その通り はない	分からない
ア 生きがいを感じることがある	5	4	3	2	1	0
イ 仕事と生活の調和（ライフ・ワーク・バランス）が取れている	5	4	3	2	1	0
ウ 岸和田は、子どもを生み育てやすい	5	4	3	2	1	0
エ 安全な水が安定して供給されている	5	4	3	2	1	0
オ 農業や漁業に魅力がある	5	4	3	2	1	0
カ 岸和田が多く観光客でにぎわい、観光の振興が十分である	5	4	3	2	1	0
キ 商工業に活気がある	5	4	3	2	1	0
ク 働く意欲のある人に働ける場所が確保されている	5	4	3	2	1	0
ケ 労働環境に満足している	5	4	3	2	1	0
コ 岸和田の歴史や伝統がしっかりと引き継がれている	5	4	3	2	1	0
サ 海や川の水がきれいである	5	4	3	2	1	0
シ 平和は大切である	5	4	3	2	1	0
ス 人権問題は差別を受けている人の問題であって自分とは関係がない	5	4	3	2	1	0
セ 男女がそれぞれの能力を十分に発揮しあい、あらゆる場面で協力し合っている	5	4	3	2	1	0
ソ 市役所から発信された情報（広報さしわた、ホームページなど）が分かりやすい	5	4	3	2	1	0

問27-2 続いて、住んでいる地域（小学校区）について、どう思いますか？
項目ごとにあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

タ 子育てに関する不安を相談できる機会や場がある	5	4	3	2	1	0
チ 働きながら子育てができる環境が整っている	5	4	3	2	1	0
ツ 子どもが安全に遊ぶことができる	5	4	3	2	1	0
テ 子どもの個性や能力にあった教育が行われている	5	4	3	2	1	0
ト 安心して歩道を通行することができる	5	4	3	2	1	0
ナ ユニバーサルデザイン※化が進んでいる	5	4	3	2	1	0
ニ 鉄道駅周辺の市街地に活気がある	5	4	3	2	1	0
ヌ 拠点ににぎわいがある（拠点とは、臨海部の工業・流通地域、各鉄道駅周辺（岸和田駅周辺には岸和田城や港緑町を含む）、ゆめみヶ丘岸和田、山直東交通広場周辺）	5	4	3	2	1	0
ネ 景観がよく保全されている	5	4	3	2	1	0
ノ 市内をスムーズに移動できる	5	4	3	2	1	0
ハ 高齢者が安心して生活できている	5	4	3	2	1	0
ヒ 困ったときに近くに相談できる人や場所がある	5	4	3	2	1	0
フ 住民が交流する機会が多い	5	4	3	2	1	0
ヘ 行政の手続きが便利になった	5	4	3	2	1	0

※ユニバーサルデザインとは、すべての人が使いやすいように製品・建物・環境などをデザインすること

Ⅳ 市の取組に対する満足度についてお聞きします。

問 28 下記に示した 58 個の岸和田市の取組について、どの程度満足していますか？ 各項目に当てはまる番号を一つずつ選んで○をつけてください。

項目（具体的な取組例）		満 足	まあ満足	どちらでもない ない	やや不満	不 満	分からない・意見なし
例	子ども一人ひとりが輝くための適切な教育支援 （学力向上支援、特別支援教育など）		○				
1	妊産婦や乳幼児の切れ目のない健康づくり （妊産婦健康診査、乳幼児全戸訪問、出産応援金など）						
2	妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、経済的負担の軽減 （発達相談、各種医療費助成など）						
3	保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくり （市立幼稚園及び保育所再編、民間認定こども園誘致、保育士応援金など）						
4	健診などによる疾病の早期発見・予防など子どもの健康づくり （園児・児童・生徒の健康診断など）						
5	食育や体力づくりなど、子どもの健康な身体づくり （学校給食運営、学校体育振興など）						
6	登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくり （通学路巡回パトロール、児童遊園整備など）						
7	障害のある子どもの発達支援と家庭生活での負担軽減 （障害児通所支援、総合通園センター運営など）						
8	育てにくさを感じる親への支援、児童虐待に関する相談の充実や早期発見・早期対応 （児童虐待相談など）						
9	適正な就学・就園や経済的な支援による教育機会の確保 （学校適正配置の推進、就学奨励、通学区調整など）						
10	子ども一人ひとりが輝くための適切な教育支援 （学力向上支援、特別支援教育など）						
11	学校園の適切な施設整備や魅力ある運営 （学校園の施設管理や整備など）						
12	地域と連携した子どもの社会的な心の醸成 （青少年育成、いじめ問題対策など）						
13	地域の産業を担う人材育成 （市立産業高校の運営など）						
14	様々な学びの活動や知識・経験の活用と、それによるコミュニティのつながりの創出 （学習講座等の開催、図書館運営、生涯学習活動推進など）						

項目（具体的な取組例）		満 足	まあ満足	どちらでもない でもない	やや不満	不 満	分からない・意見なし
15	スポーツへの親しみや参画の向上と、スポーツができる環境づくり （スポーツ推進、総合体育館の管理など）						
16	芸術や文化への親しみや参画の機会を通した、心の豊かさの醸成 （芸術文化普及、浪切ホールの運営など）						
17	働きたい人の就労機会の確保 （地域就労支援など）						
18	市内事業所における労働環境の向上 （勤労者互助会支援、労働相談など）						
19	障害者の就労支援の充実と生きがいづくり （障害者福祉団体支援など）						
20	高齢者の雇用促進と生きがいづくり （老人クラブ運営助成など）						
21	郷土の歴史や文化に触れる機会の創出 （郷土資料等展示、郷土文化普及、濱田青陵賞など）						
22	岸和田の歴史や文化財の保存・活用 （文化財保護、発掘調査など）						
23	健康意識の向上や重症化予防などの疾病予防 （ウエルエーシング推進、介護予防など）						
24	医療体制の充実による、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくり （救急・救命、市民病院など）						
25	平和への意識向上 （平和推進など）						
26	個々の人権や多様な価値観の尊重意識の向上と、多文化に触れる機会の創出による他者理解の促進（人権啓発、障害者差別解消、国際化推進（多文化共生）など）						
27	男女共同参画の取組 （男女共同参画、DV対策など）						
28	みんなが使いやすいデザインに配慮した施設環境づくり （バリアフリー化、住宅改造助成など）						
29	常日頃から、地域の中でお互いに助け合える地域共生社会の関係づくり （地域支え合い体制づくり、日本赤十字支援、地域包括支援など）						
30	その人らしい自立した生活につながる介護サービスの提供 （介護認定、サービス費給付など）						
31	医療保険制度の適切な運営 （国民健康保険、後期高齢者医療など）						

	項目（具体的な取組例）	満 足	まあ満足	まあ不満	不 満	分からない・意見なし
32	高齢者が自分らしく生活できる環境づくり （高齢者支援、認知症ケアなど）					
33	障害者が自分らしく生活できる環境づくり （障害者歯科診療、医療助成など）					
34	住宅困窮者への居住支援 （市営住宅整備など）					
35	生活困窮者などへの必要な支援 （生活保護、生活困窮者支援相談など）					
36	戦争被害者などが安心して生活できる環境づくり （戦没者家族支援など）					
37	交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくり （交通安全対策、駐車対策など）					
38	空き家の適正な管理や、建築物の安全性の確保 （空家等対策の推進、建築指導など）					
39	防犯意識の向上や、犯罪防止につながる環境づくり （防犯活動、地域防犯活動支援など）					
40	安心してサービスや物の購入などの消費行動が行える環境 づくり （消費者相談など）					
41	災害被害を最小限にする強靱な基盤の計画的な整備 （地域防災計画の推進、耐震化の推進など）					
42	発災時にみんなが迅速かつ柔軟に対応できる環境づくり （避難行動要支援者支援プランの推進、避難所施設など）					
43	火災予防や火災被害を最小限にする取組 （消防、火災予防など）					
44	環境汚染などによる健康被害の発生の防止 （公害対策など）					
45	安全安心な水の安定的な供給 （上水道の運営など）					
46	まちの美化 （地域美化、不法投棄防止、墓苑の運営、下水道整備な ど）					
47	まちの緑の適正な保全とまちの緑化 （緑化の推進、公園整備など）					
48	貴重な自然環境と生物多様性の保全・活用 （自然環境の保全、自然資料館など）					
49	ごみの減量と資源の有効活用など 3R+R*の推進 （ごみの減量化、リサイクルなど）					

※3R+Rは、これまでの3R（リデュース、リユース、リサイクル）に、新たなR（リフューズやリニューアブル）を追加したもので、ごみの減量に向けた取組のこと

項目（具体的な取組例）		満 足	ま め 満 足	や り あ い う ま い	や や 不 満	不 満	分 か ら な い ・ 意 見 な し
50	省エネルギー化や再生可能エネルギーによる脱炭素の推進と地球温暖化防止 （地球温暖化対策、気候変動への適応策など）						
51	地域の事業者や個人事業主が活躍し、事業継続ができる環境づくり （企業経営支援、岸和田ブランド、商工業振興など）						
52	新たに市内で創業する事業者や個人事業主が活動しやすい環境づくり （企業立地促進など）						
53	農業や水産業など、地域で安全な食が生産され、消費される環境づくり （農業振興、水産業振興など）						
54	関西国際空港とのアクセス性の活用や、観光資源が充実し、観光客が過ごしやすい環境づくり （観光振興、広域観光、城周辺整備、関西国際空港の活用など）						
55	岸和田の魅力の活用によるまちのイメージの向上 （シティーセールスの推進など）						
56	地域の活性化を導く拠点の形成 （駅周辺整備、中心市街地活性化、拠点整備など）						
57	拠点とのアクセス性の向上 （広域幹線計画、道路整備、バス交通、交通政策など）						
58	適正な土地利用と景観形成 （都市計画、景観形成など）						

V 今後のまちづくりについてお聞きします。

問 29 あなたは、前問に示した 58 個の岸和田市の取組のうち、どの取組が今後のまちづくりにとって特に重要だと思いますか？特に重要だと思うものを5つまで選んで、番号を記入してください。

特に重要だと思うもの（5つまで）				

VI あなたのことについてお聞します。

問30 あなたの性別は？

1. 男性 2. 女性 3. 無回答

問31 あなたの年齢(令和7年5月1日現在の満年齢)は？

1. 15～19歳	5. 50～59歳
2. 20～29歳	6. 60～64歳
3. 30～39歳	7. 65～69歳
4. 40～49歳	8. 70歳以上

問32 あなたがお住まいの小学校区は？(校区名が分からない場合は、町丁名を記入してください。)

1. 中央	9. 修齊	17. 八木南
2. 城内	10. 東葛城	18. 山直北
3. 浜	11. 春木	19. 城東
4. 朝陽	12. 大芝	20. 山直南
5. 東光	13. 城北	21. 大宮
6. 旭	14. 新条	22. 光明
7. 太田	15. 八木	23. 常盤
8. 天神山	16. 八木北	24. 山滝

※小学校区が分からない場合

⇒ 町 丁目

問33 あなたの職業は？

1. 農林漁業	6. 専業主婦(夫)
2. 自営業	7. 無職
3. 会社員・公務員、役員	
4. パート・アルバイト・契約、派遣社員	
5. 学生	8. その他 ()

問34 前問で1から5及び8とお答えの方にお聞します。あなたの勤務地・通学地は？

1. 岸和田市
2. 大阪府内(岸和田市を除く。)
3. 大阪府外

問35 あなたの出生地(お生まれ)は？

1. 岸和田市
2. 大阪府内(岸和田市を除く。)
3. 大阪府外

問36 岸和田市に住んでいる年数は？

1. 20年以上	3. 5～9年
2. 10～19年	4. 5年未満

問37 あなたの(同居している)家族構成は？

1. 単身
2. 夫婦
3. 親子(2世代)
4. 親・子・孫(3世代)
5. その他()

問37-1 前問で3、4、5とお答えの方にお聞します。あなたを含む同居の家族は何人ですか？

1. 2人	3. 4人
2. 3人	4. 5人以上

問38 あなたには、現在、養育中の子どもがいますか？

1. いる
2. いない

問38-1 前問で1とお答えの方にお聞します。養育中のお子さんは、次のどれに該当しますか？(該当する欄に、人数を記入してください。)

	人数
1. 就学前(0～5歳)	
2. 小学生	
3. 中学生	
4. それ以外(高校生や大学生)	

問39 あなたの同居の家族(あなた以外)に、65歳以上の高齢者がいますか？

1. いる	2. いない
-------	--------

問40 あなたは、現在、長期的な病気や障害を抱えていますか？

1. 抱えている
2. 抱えていない

問40-1 前問で1とお答えの方にお聞します。あなたは、長期的な病気や障害が原因で日常生活に支障をきたしていますか？

1. 支障がある
2. やや支障がある
3. あまり支障はない
4. 支障はない

問41 あなたは、町会・自治会に加入していますか？

1. している	2. していない
---------	----------

VI 最後に

その他市政に関するご意見等がありましたら、自由にご記入ください。

--

＜追加調査＞地域コミュニティの活動の活性化に向けたアンケート

本市自治振興課では、地域コミュニティの活動の活性化について様々な取組を行っています。今年度は市民意識調査とは別に、町会活動・コミュニティ活動についての調査も行っておりますので、回答にご協力くださいますようお願いいたします。

問A 「岸和田市市民意識調査 問41」で、「町会・自治会に加入していない」と回答した方におたずねします。
町会・自治会に加入していない理由を教えてください。あてはまる番号を3つまで選んで○をつけてください。

1. 町会から勧誘されたことがない。
2. 加入方法が分からない。
3. 町会・自治会が何をしている組織なのかわからない。
4. 加入しなくても困らない、加入するメリットがない。
5. 町会・自治会の活動に関心がない。
6. 役員（班長など）をやりたくない。
7. 会費を払いたくない。会費が高い。
8. 自分の時間を大切にしたい。
9. 活動に参加できない。（高齢のため・仕事をしているため）
10. 短期の居住であるため。
11. その他（

問B 全ての方におたすねします。
岸和田のまちが自分や家族にとって住みやすくなるよう、どのような活動なら参加できると思いますか。
あてはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

1. 自分の得意な分野に関する活動
2. 都合がつかうときだけ（短時間で）参加できる活動
3. 町会に加入しなくてもできる活動
4. 風通しの良い組織（自由に意見が言える組織）の活動
5. どんな活動にも参加したくない。
6. その他（

ご回答ありがとうございました。

令和7年度 市民意識調査 結果報告書

2025（令和7年）年12月 発行

発 行：岸和田市総合政策部企画課

所 在 地：〒596 - 8510 大阪府岸和田市岸城町7番1号

電 話：072 - 423 - 9492（直通）

F A X：072 - 423 - 6749